

**二宮町男女共同参画に関する町民意識調査
結果報告書
(完成版)**

(令和4年3月)

調査結果の概要

1. 調査の目的

本調査は、町民が日頃感じている男女共同参画に関する考え方やその現状、また、プラン推進の成果や意識の浸透度を把握し、次期「男女共同参画プラン」策定の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ① 男女共同参画（社会）に関する意識について
- ② 出産・育児に関する意識について
- ③ 女性の活躍推進に関する意識について
- ④ DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する意識について
- ⑤ 防災に関する意識について
- ⑥ 「性の多様性」について
- ⑦ 男女共同参画に関する取組について
- ⑧ 基本属性
- ⑨ 自由記述

3. 調査の方法

- ① 調査地域：二宮町
- ② 調査対象：二宮町在住（令和3年6月1日現在）の満18歳以上の男女
- ③ 標本数：1,000人 世代別(18~20、30、40、50、60代以上)の各世代200人ずつ(各世代男女同数)
- ④ 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- ⑤ 調査方法：郵送配布、郵送回収
- ⑥ 調査期間：令和3年7月26日（月）～ 8月16日（月）の3週間

4. 総回収率

配布件数	回収件数	回収率
1,000	300	30.0%

5. 有効回答回収率

配布件数	回収件数	回収率
1,000	297	29.7%

有効回答調査票枚数	無効回答調査票枚数
300	3

※無効内訳（無回答者・集計後の回答者）

6. 報告書の見方

- ① 百分率は小数第3位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 複数回答の場合には、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ③ 複数回答のグラフは、「全体」の割合の高い順に選択肢を並べ替えている。
(ただし、「その他」と「無回答」は最後尾に記載)
- ④ 図表中の「無回答」は、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものを指す。
- ⑤ 「調査結果」内の「SA」「MA」「FA」は以下を指す。

SA：単一回答(ひとつに○)

MA：複数回答

FA：自由回答

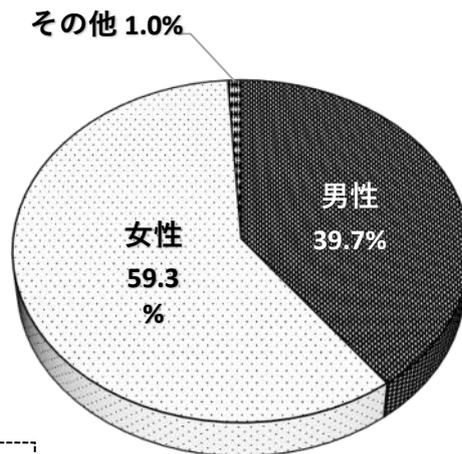
1 回答者の属性

① 性別

性別については、「女性」が59.3%、「男性」が39.7%と、女性が19.6ポイント上回っている。

全体	男性	女性	その他
297	118	176	3

※「その他」：セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の方を考慮した選択肢



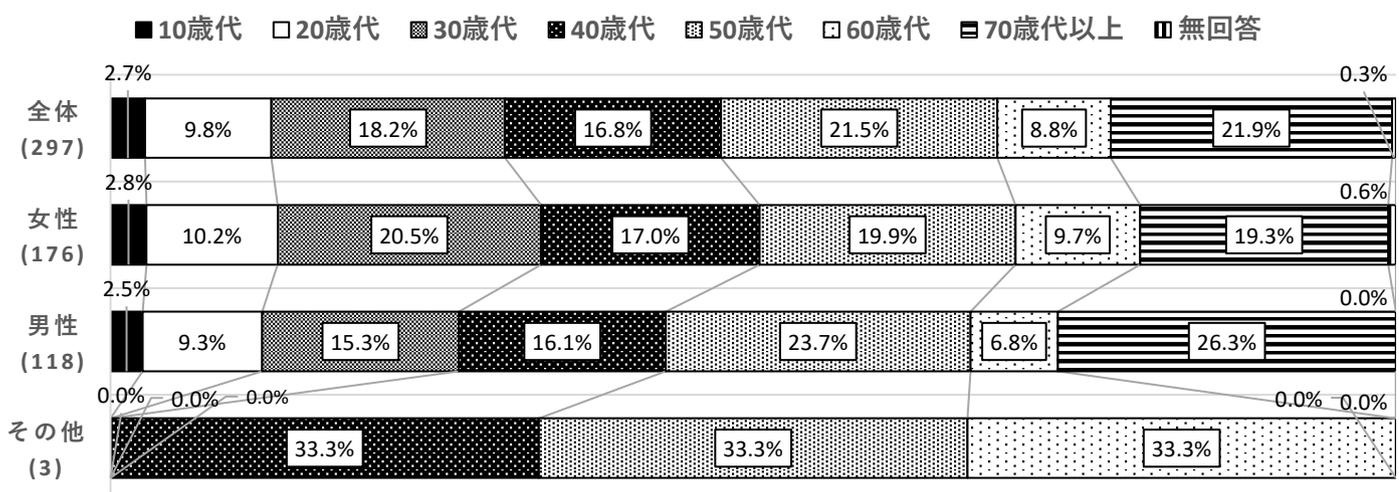
【参考：経年比較（平成23年実施調査）】

男性	女性	その他
38%	62%	—

② 年齢

年齢については、「70歳代以上」が21.9%と最も多く、次いで「50歳代」が21.5%、「30歳代」が18.2%と続き、全体の47.5%を「40歳代以下」の世代が占めている。

性別にみても、年代別の構成比は全体的な傾向と同様となっている。



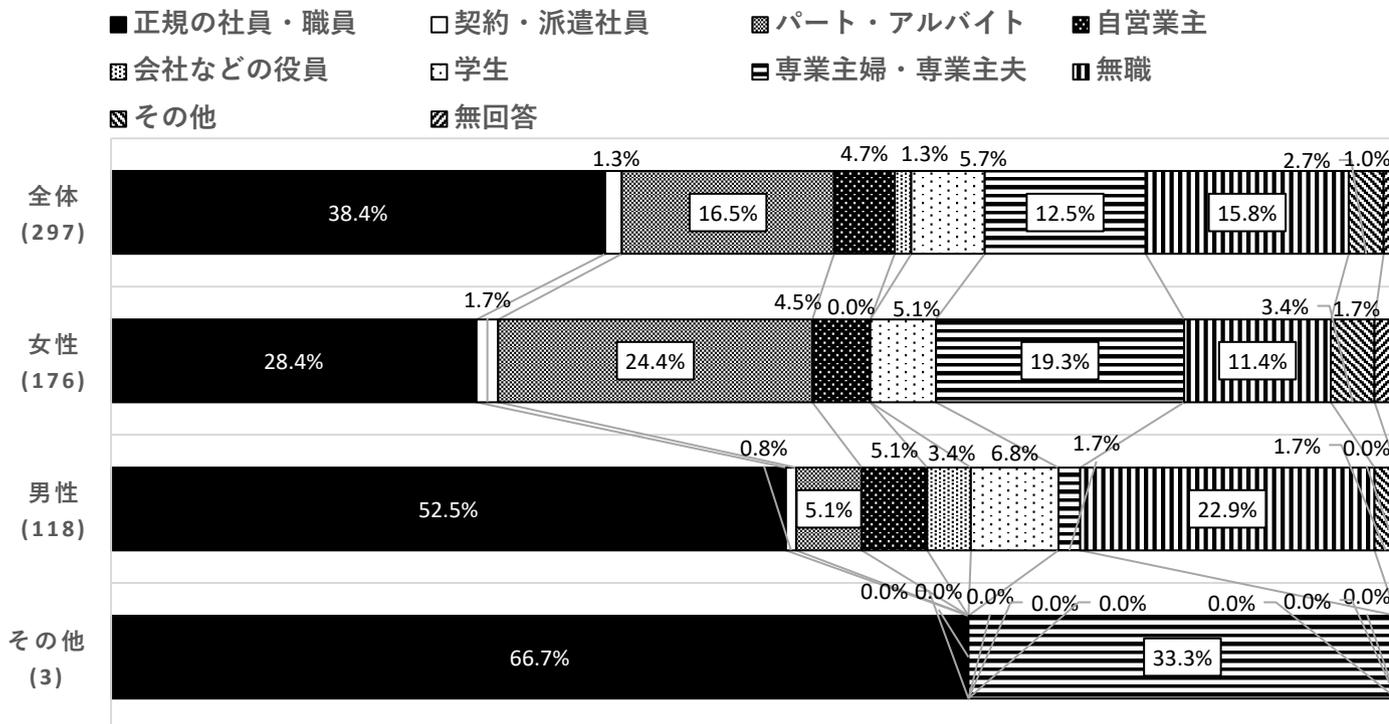
【参考：経年比較（平成23年実施調査）】



③ 就業

就業については、「正規の社員・職員」が38.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が16.5%、「無職」が15.8%と続いている。

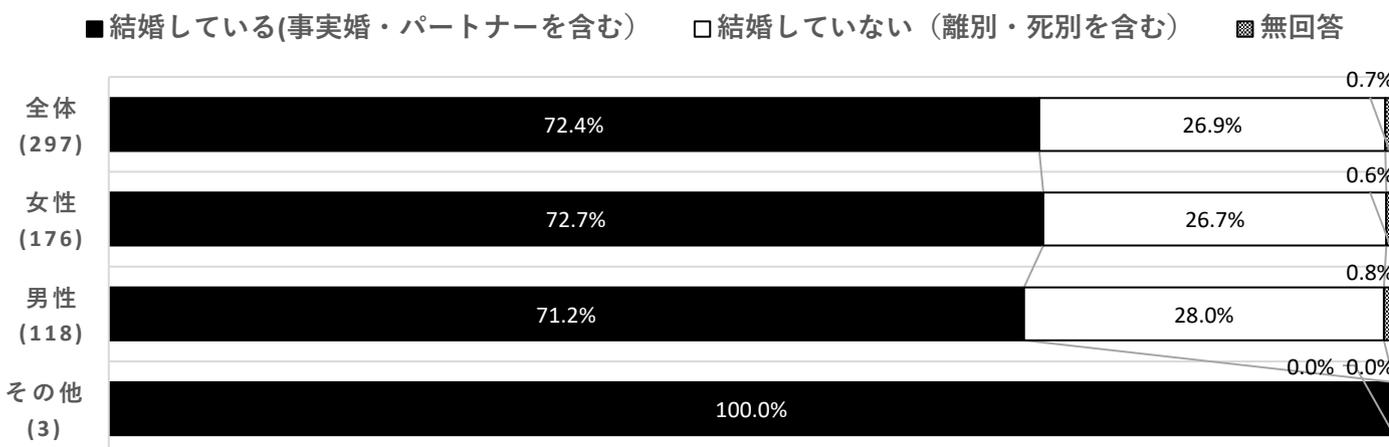
性別にみると、女性と男性ともに「正規の社員・職員」の割合が最も高く、次いで女性は「パート・アルバイト」が24.4%となるところ、一方、男性においては「無職」が22.9%となっている。



④ 結婚

結婚の状況については、「している（事実婚・パートナーを含む）」が72.4%、「していない（離別・死別を含む）」が26.9%と続いている。

性別にみても、全体的な傾向と同様となっている。



【参考：経年比較（平成23年実施調査）】



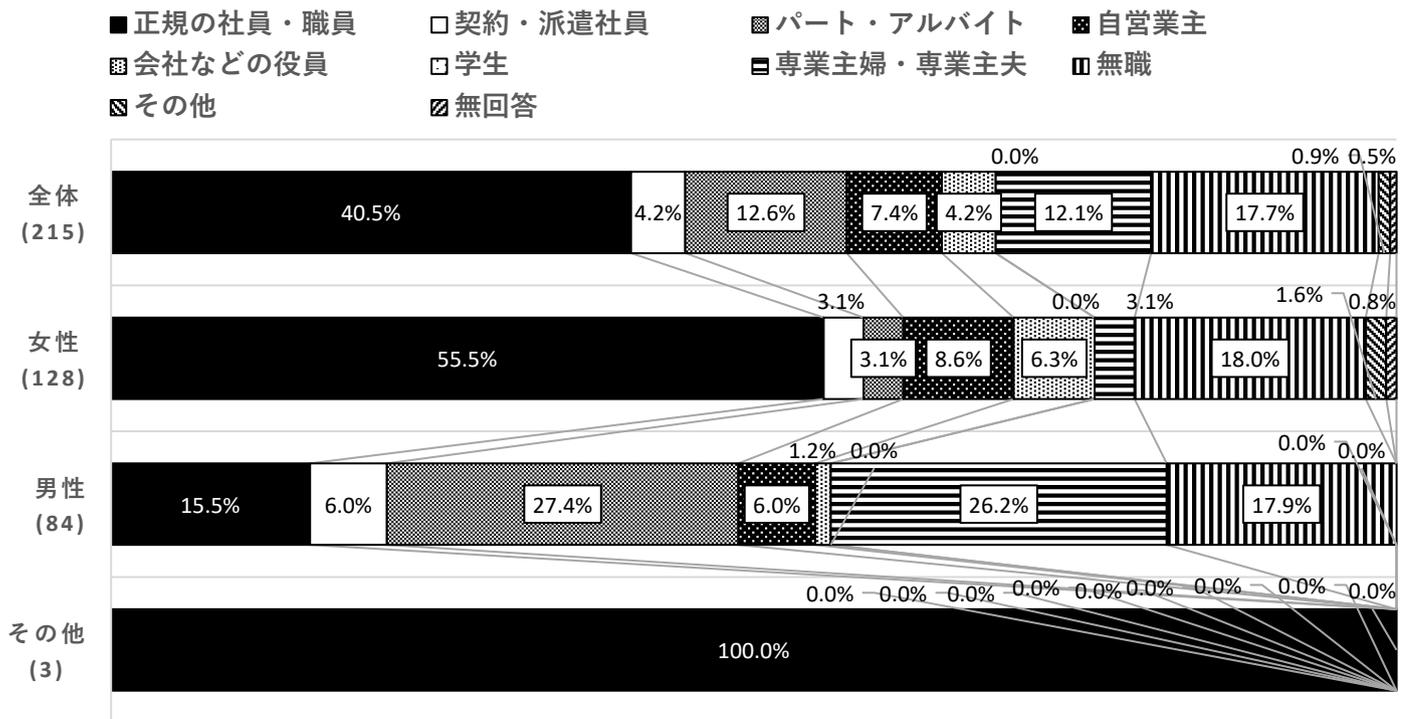
⑤ 配偶者・パートナーの方の就業形態

配偶者・パートナーの就業形態については、「正規の社員・職員」が40.5%と最も多く、次いで「無職」が17.7%、「パート・アルバイト」が12.6%と続いている。

女性の配偶者・パートナーの就業形態は、「正規の社員・職員」の割合が最も多く、一方、男性の配偶者・パートナーの就業形態は「パート・アルバイト」となっている。

また、配偶者・パートナーが就業している「共働き」世帯の状況は、全体の79.1%となっている。

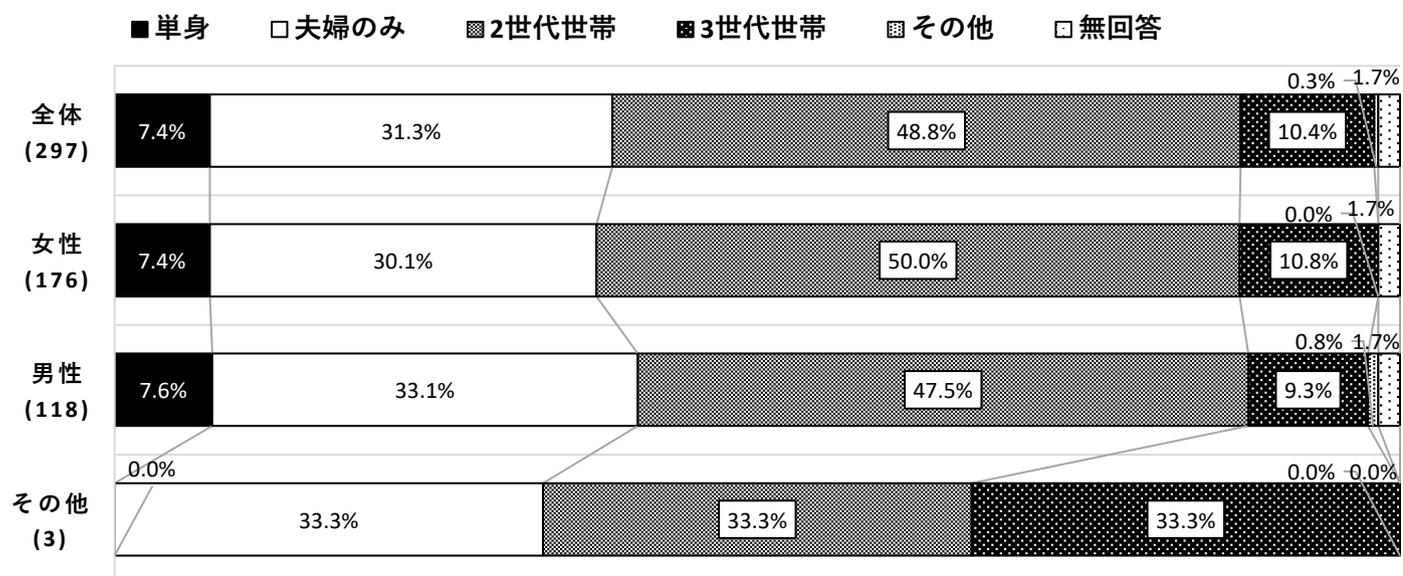
【参考：経年比較（平成23年実施調査）「共働き」世帯状況 60.0%】



⑥ 世帯の構成

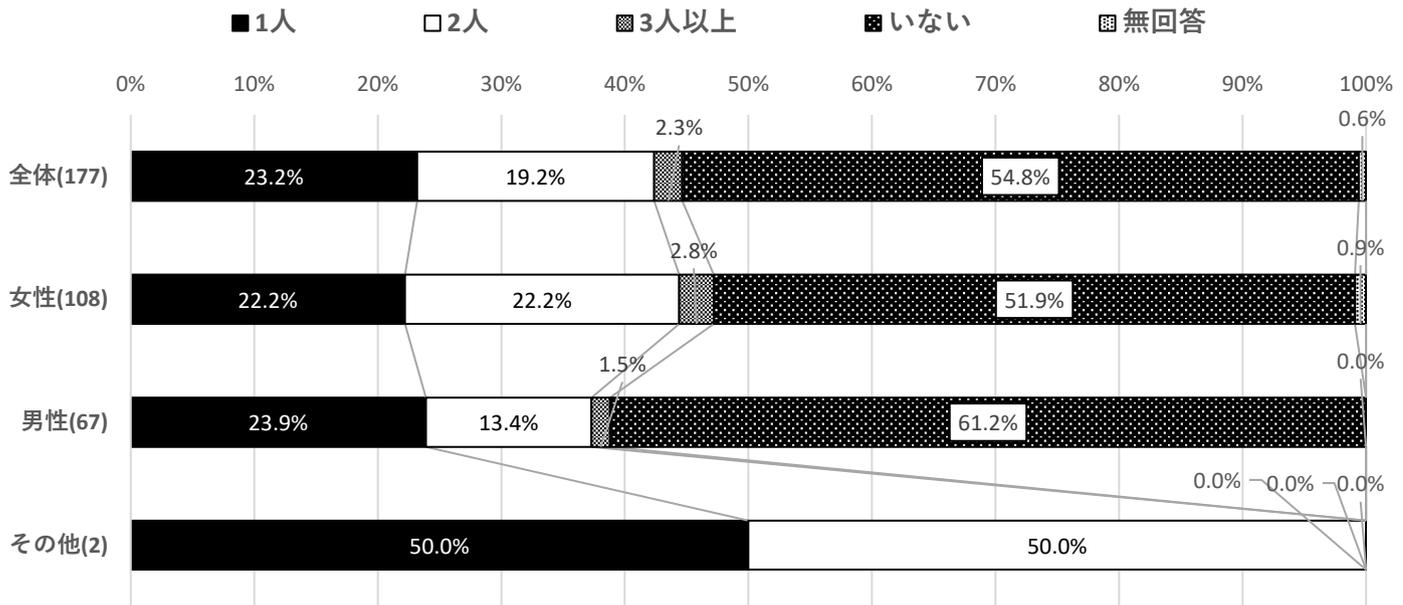
現在一緒に住んでいる世帯の構成をみると、「2世代世帯（親と子ども、夫婦と親など）」が48.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ（事実婚・パートナーを含む）」が31.3%、「3世代世帯（祖父母と親と子ども）」が10.4%と続いている。

性別にみても、全体的な傾向と同様となっている。



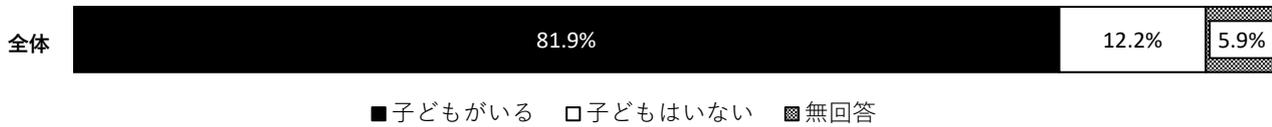
⑦ 中学生以下の子どもの人数

現在一緒に住んでいる中学生以下の子どもの人数については、「いない」が54.8%と最も多く、次いで「1人」が23.2%となり、「いる」世帯より「いない」世帯が10.1ポイント上回っている。



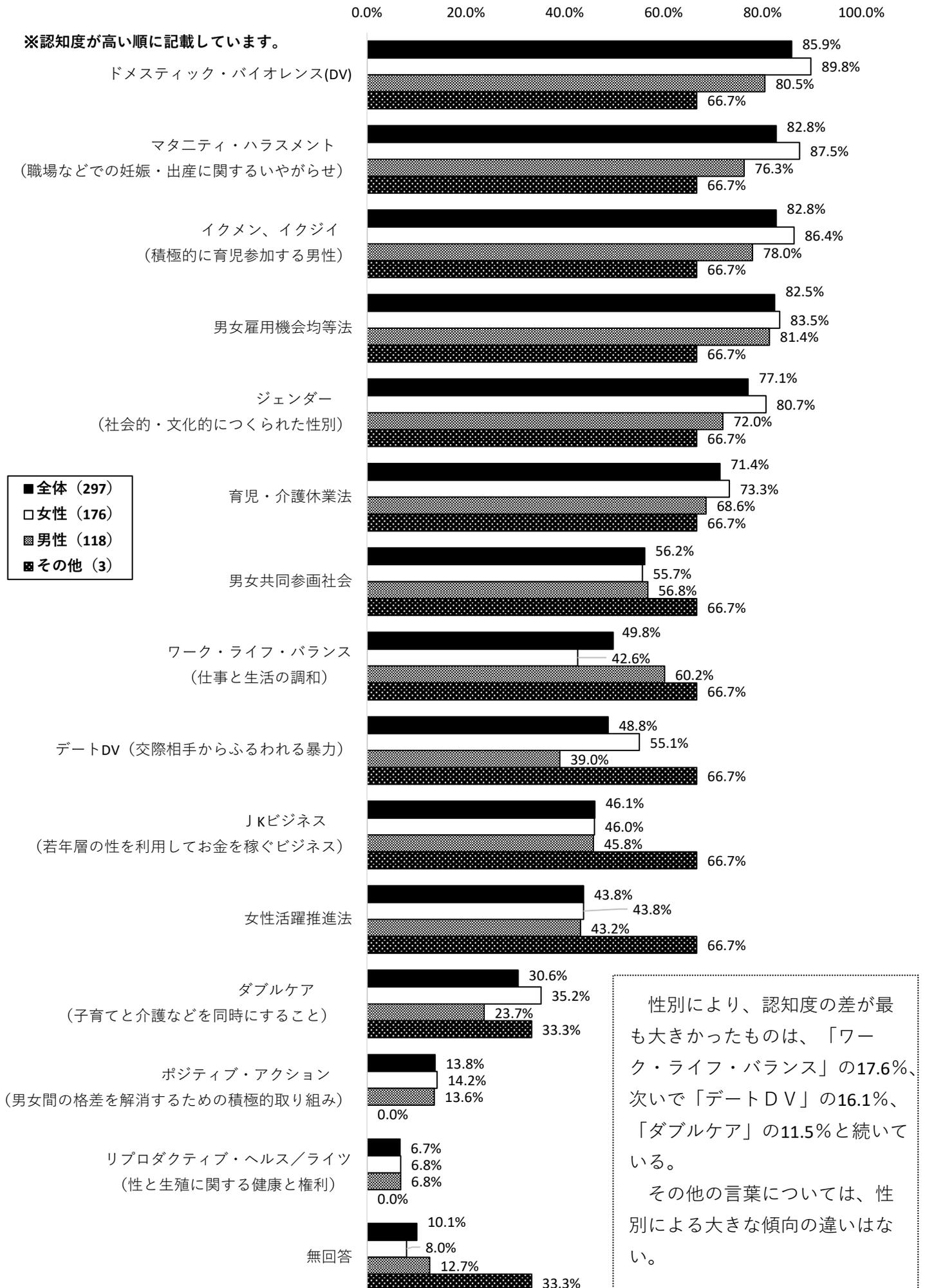
【参考：経年比較（平成23年実施調査）】

「現在、子育てをしている方だけの回答（子どもの年齢は不問）」



2 男女共同参画（社会）に関する意識について

問1 男女共同参画に関する次の言葉のうち、あなたが知っている、または聞いたことがある言葉はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（MA）

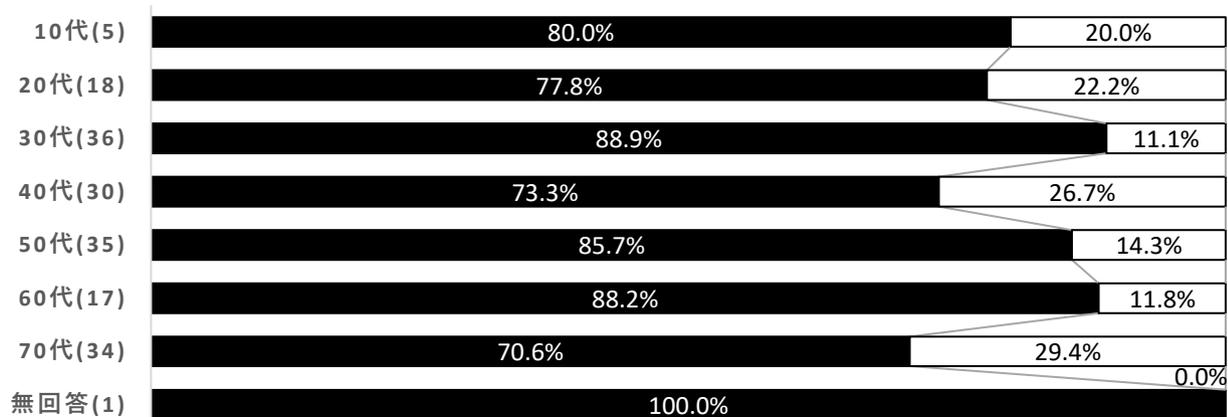


「ジェンダー（社会的・文化的に作られた性別）」の認知度

【女性・年代別】

■知っている、聞いたことがある

□知らない、聞いたことがない



【男性・年代別】

■知っている、聞いたことがある

□知らない、聞いたことがない

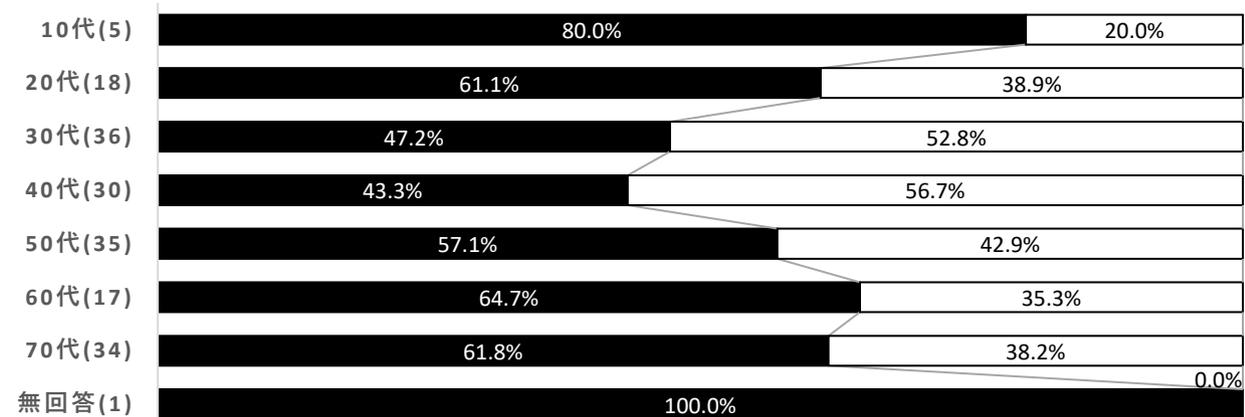


「男女共同参画社会」の認知度

【女性・年代別】

■知っている、聞いたことがある

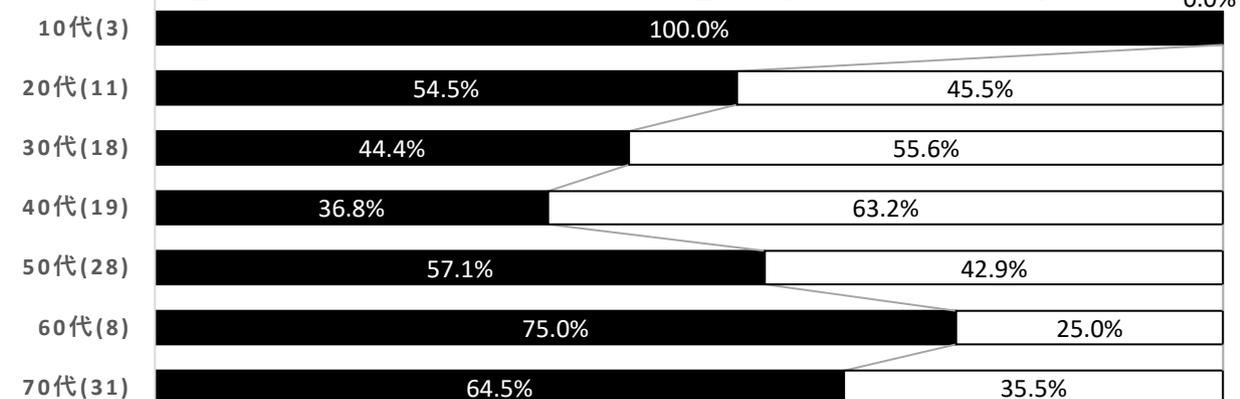
□知らない、聞いたことがない



【男性・年代別】

■知っている、聞いたことがある

□知らない、聞いたことがない



問2 次の①から⑧の各分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。（各SA）

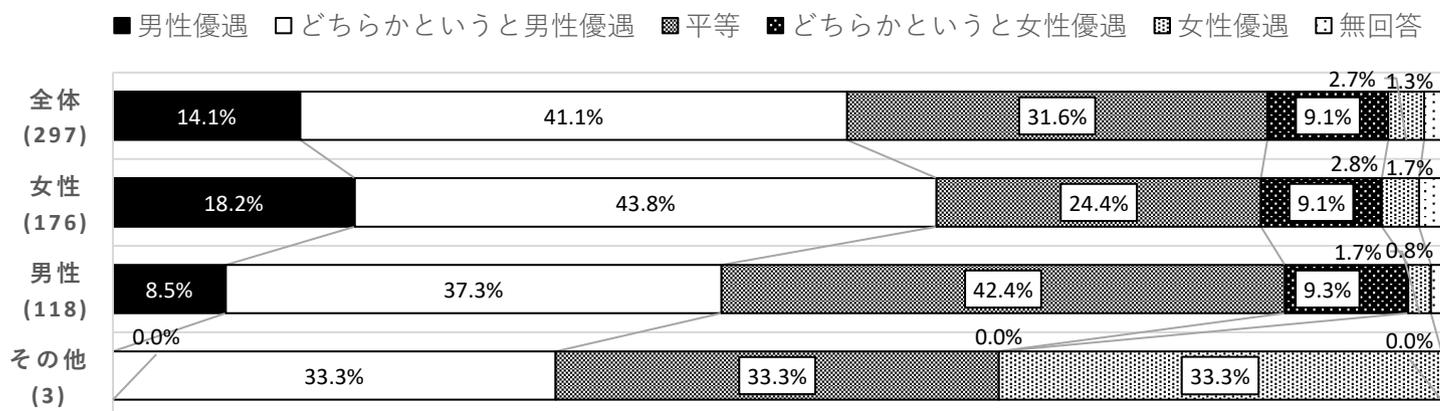
全体として、「男性優遇」（「男性優遇、どちらかというとも男性優遇」）の割合が最も多いのは、「④政治の場」の87.9%で、次いで「⑥社会通念・慣習・しきたり」の85.6%、「⑧社会全体」の77.1%、「②職場」の71.3%と続いている。

一方、「平等」の割合が最も多いのは、「③学校教育」の72.4%で、次いで「⑦地域活動（自治会、PTA、ボランティア活動など）」の44.1%、「⑤法律や制度」の37.4%、「①家庭生活」の31.6%と続いている。

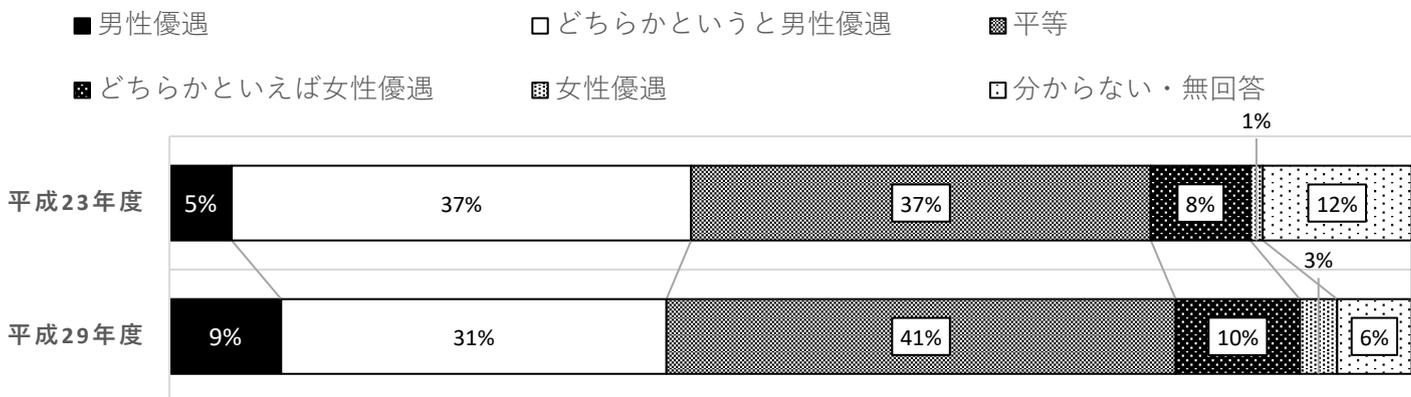
性別にみると、全ての分野において、「男性優遇」（「男性優遇、どちらかというとも男性優遇」）の割合は、男性より女性が上回っており、最も差が大きいのは「⑤法律や制度」の34.0ポイント、次いで「⑧社会全体」の27.1ポイントとなり、一方で最も差が少ないのは「⑥社会通念・慣習・しきたり」の11.6ポイント、次いで「④政治の場」の14.0ポイントと続いている。

また、全ての分野において、男性の「平等」の割合は女性より上回っており、「⑤法律や制度」は31.8ポイントと最も大きく、次いで「⑧社会全体」の22.9ポイント、「⑦地域活動（自治会、PTA、ボランティア活動など）」の21.8ポイントと続いている。

① 家庭生活

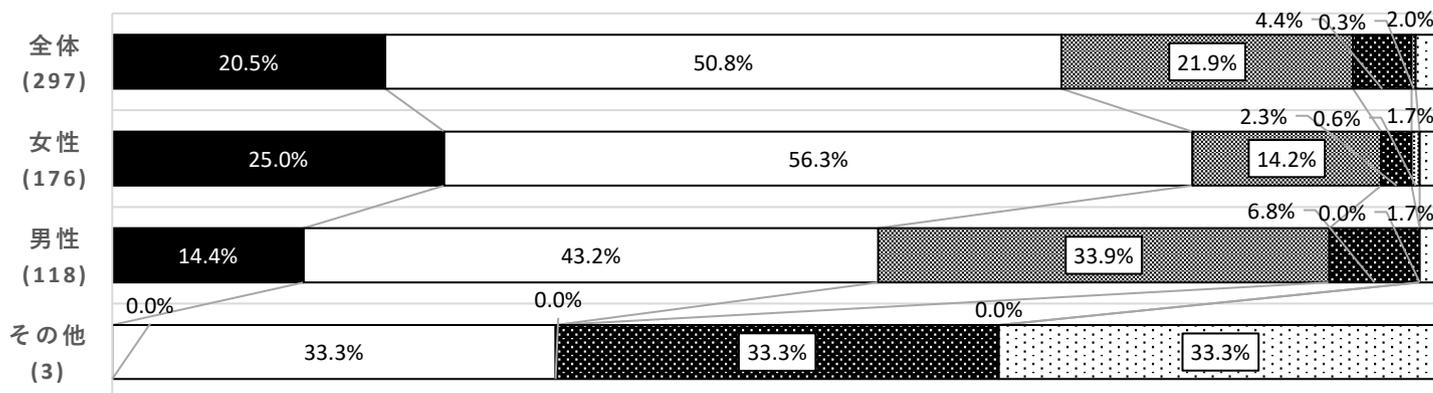


【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】



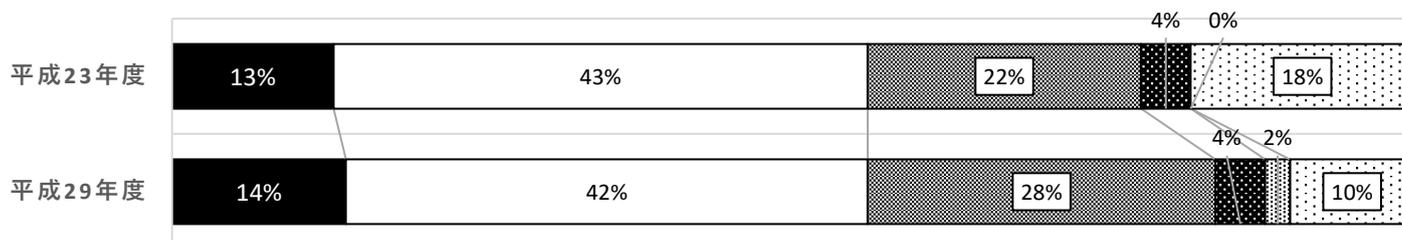
② 職場

■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかという女性優遇 ■ 女性優遇 □ 無回答



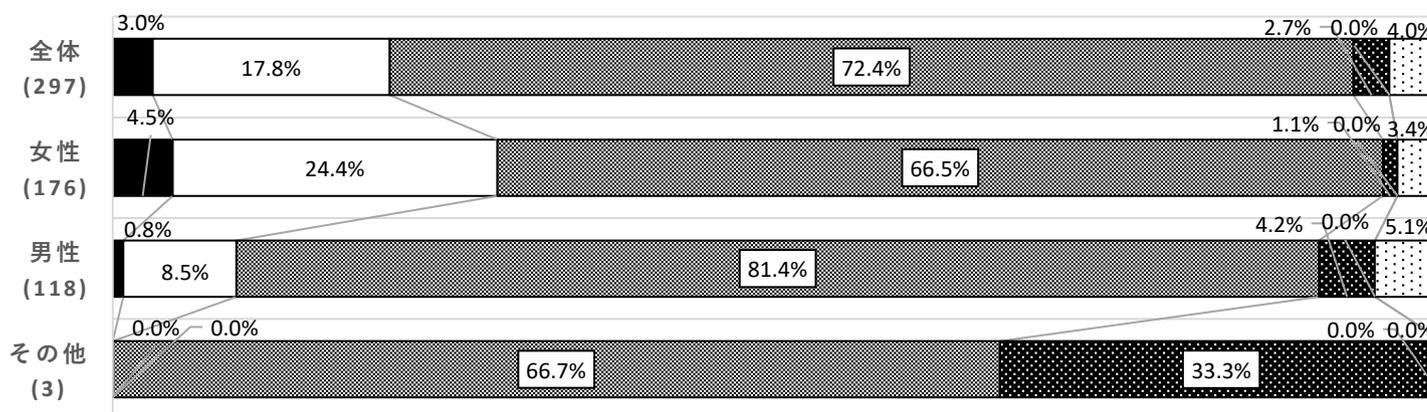
【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】

■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかといえば女性優遇 ■ 女性優遇 □ 分からない・無回答



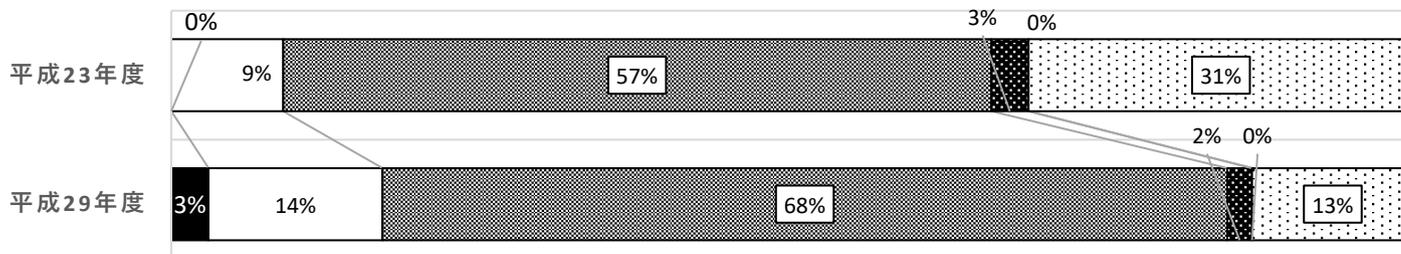
③ 学校教育

■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかという女性優遇 ■ 女性優遇 □ 無回答



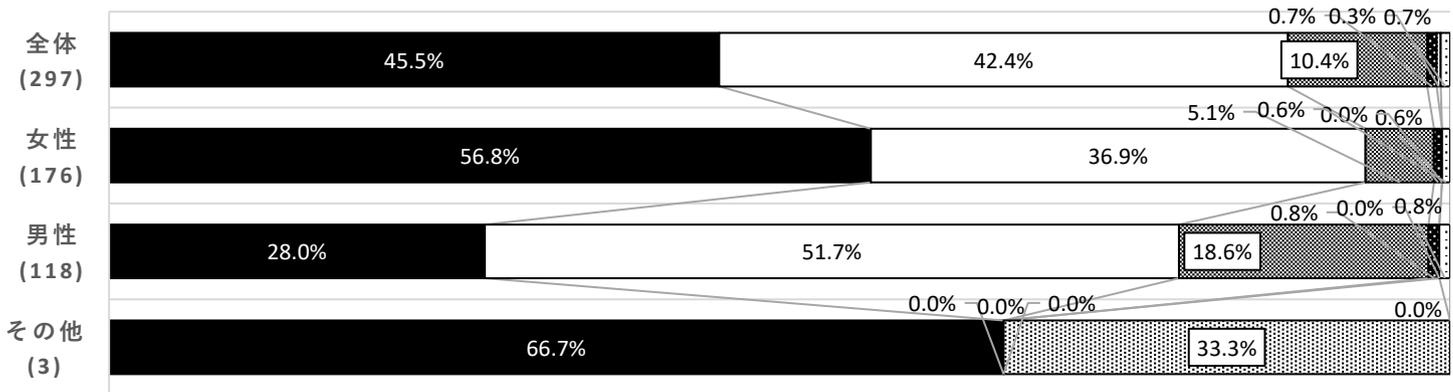
【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】

■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかといえば女性優遇 ■ 女性優遇 □ 分からない・無回答



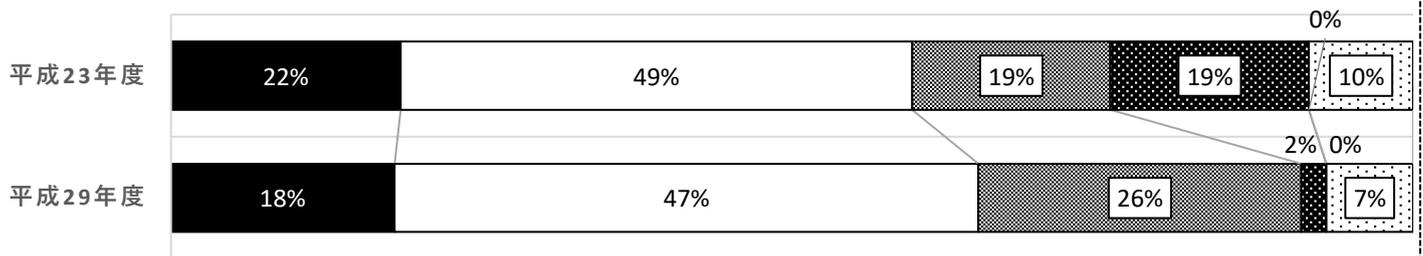
④ 政治の場

■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ▨ 平等 ■ どちらかという女性優遇 ▩ 女性優遇 □ 無回答



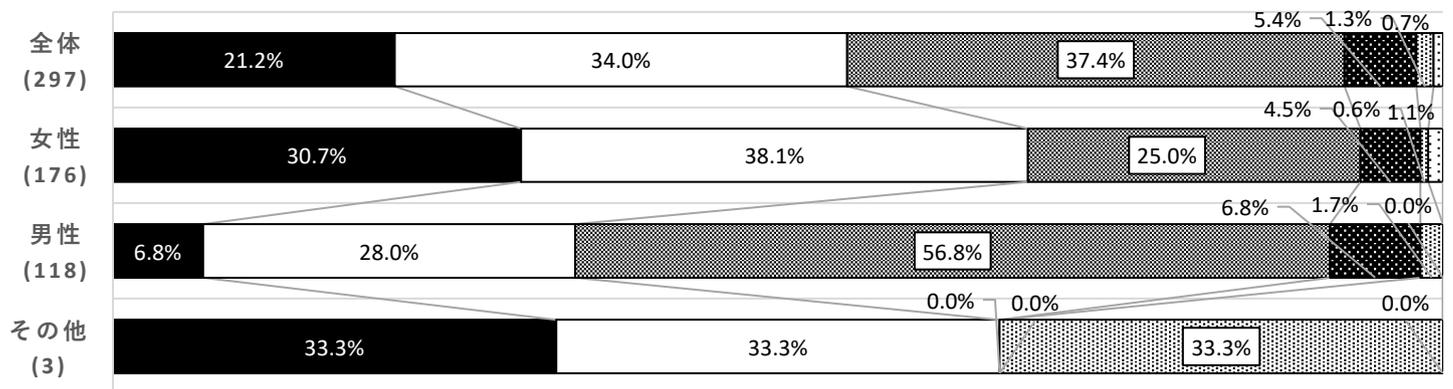
【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】

■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ▨ 平等 ■ どちらかといえ女性優遇 ▩ 女性優遇 □ 分からない・無回答



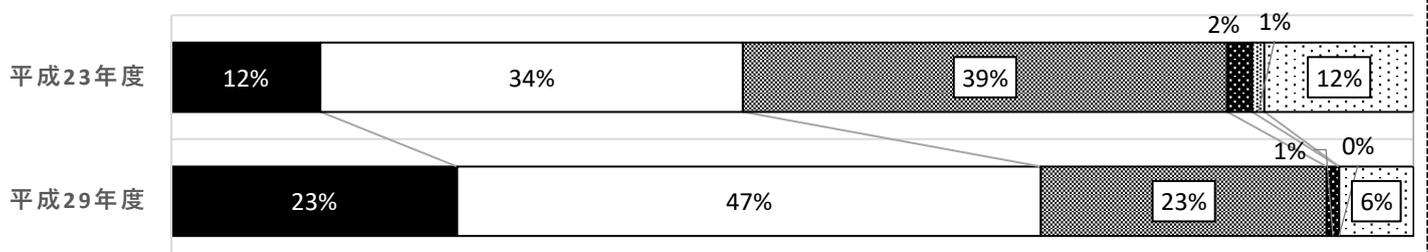
⑤ 法律や制度

■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ▨ 平等 ■ どちらかという女性優遇 ▩ 女性優遇 □ 無回答

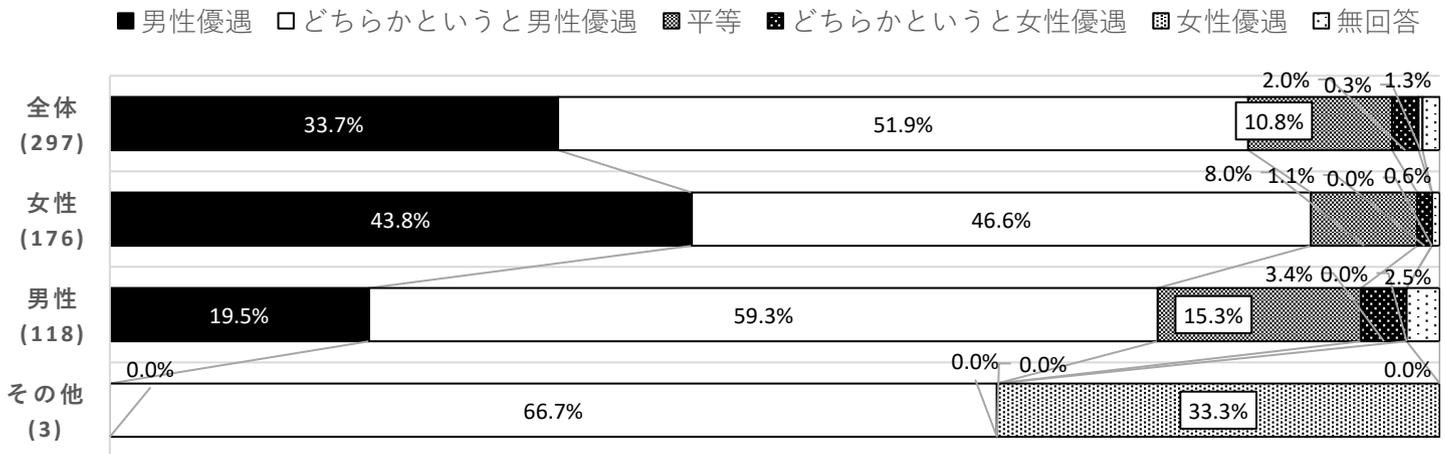


【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】

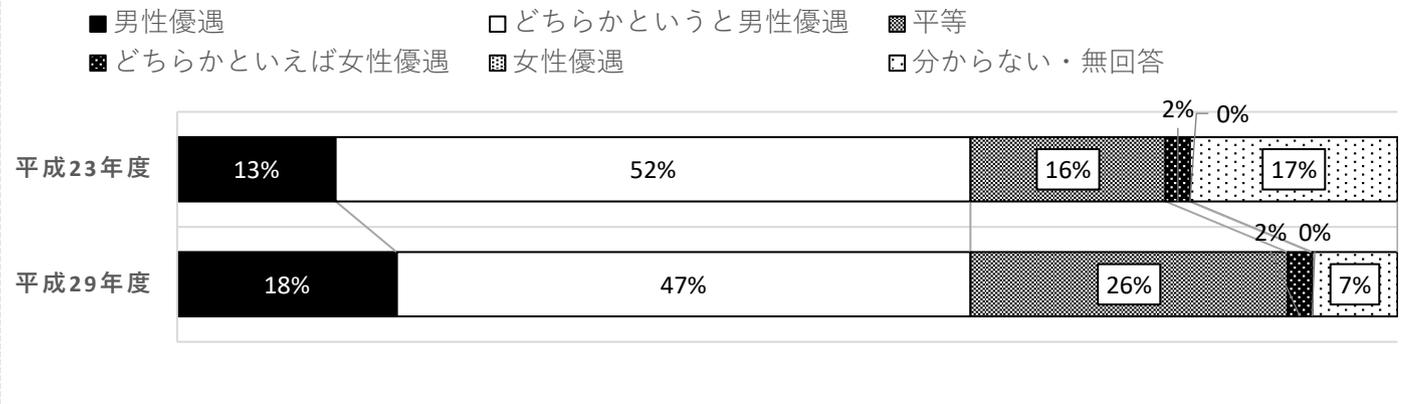
■ 男性優遇 □ どちらかという男性優遇 ▨ 平等 ■ どちらかといえ女性優遇 ▩ 女性優遇 □ 分からない・無回答



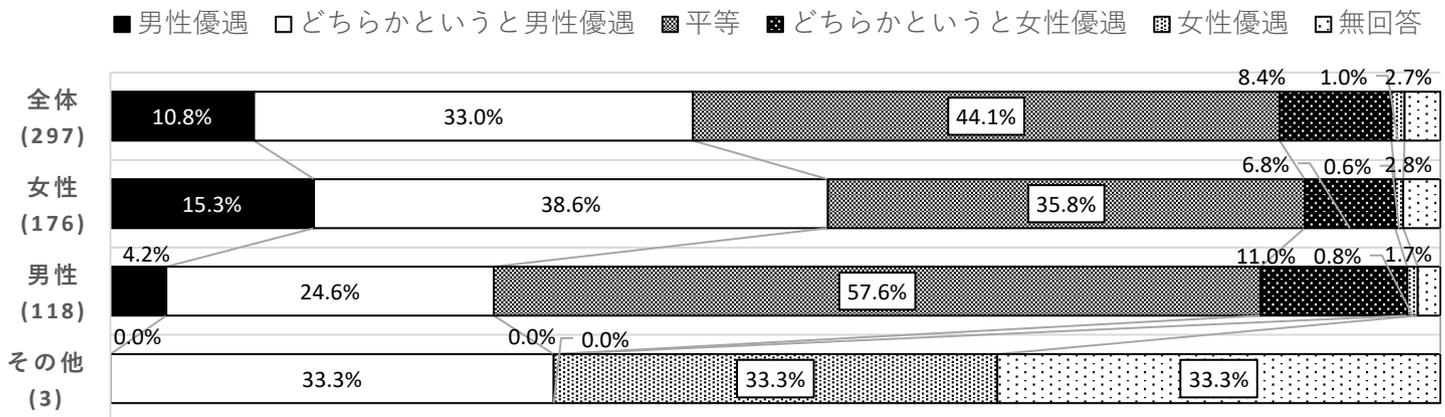
⑥ 社会通念・慣習・しきたり



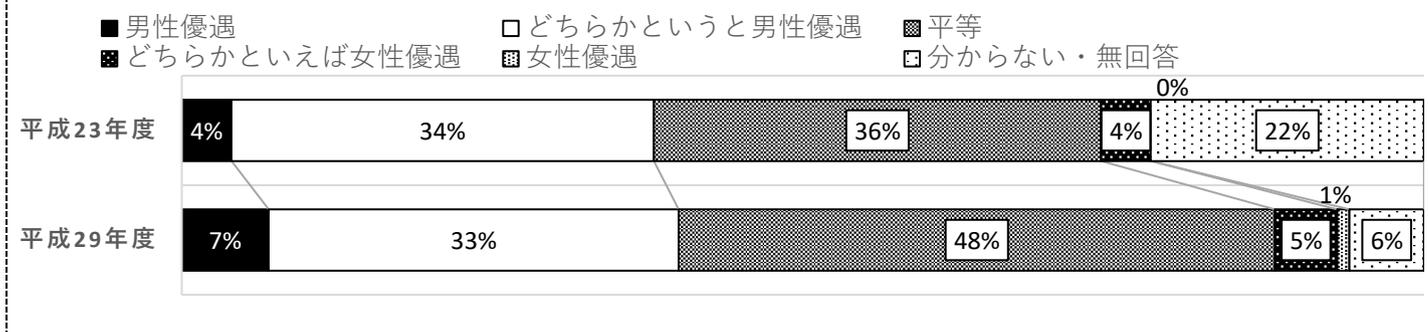
【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】



⑦ 地域活動（自治会、PTA、ボランティア活動など）

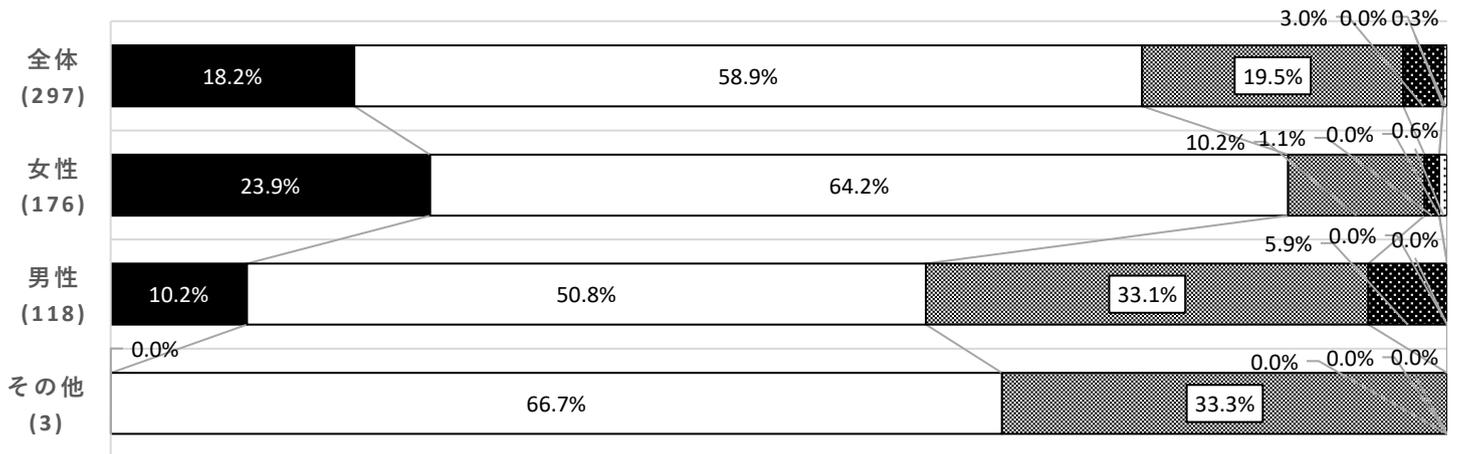


【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】



⑧ 社会全体

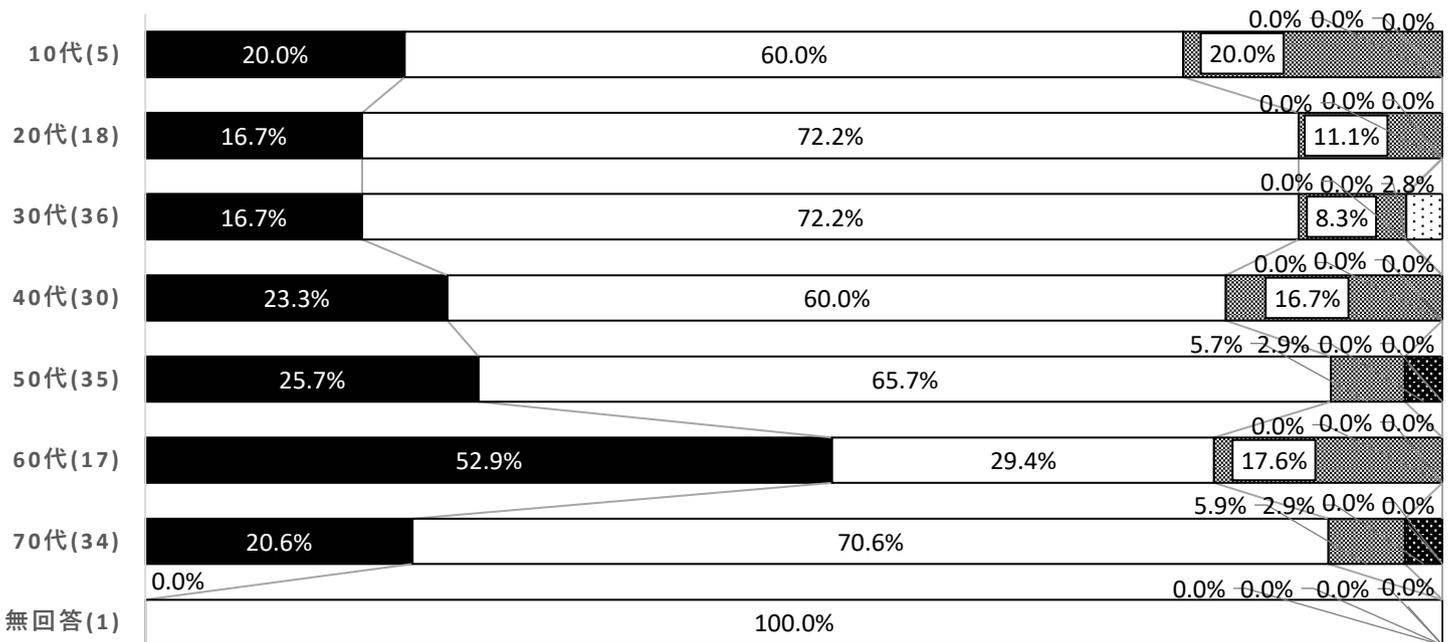
■ 男性優遇 □ どちらかというとも男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかというとも女性優遇 ■ 女性優遇 □ 無回答



【⑧社会全体：性別・年代別集計】

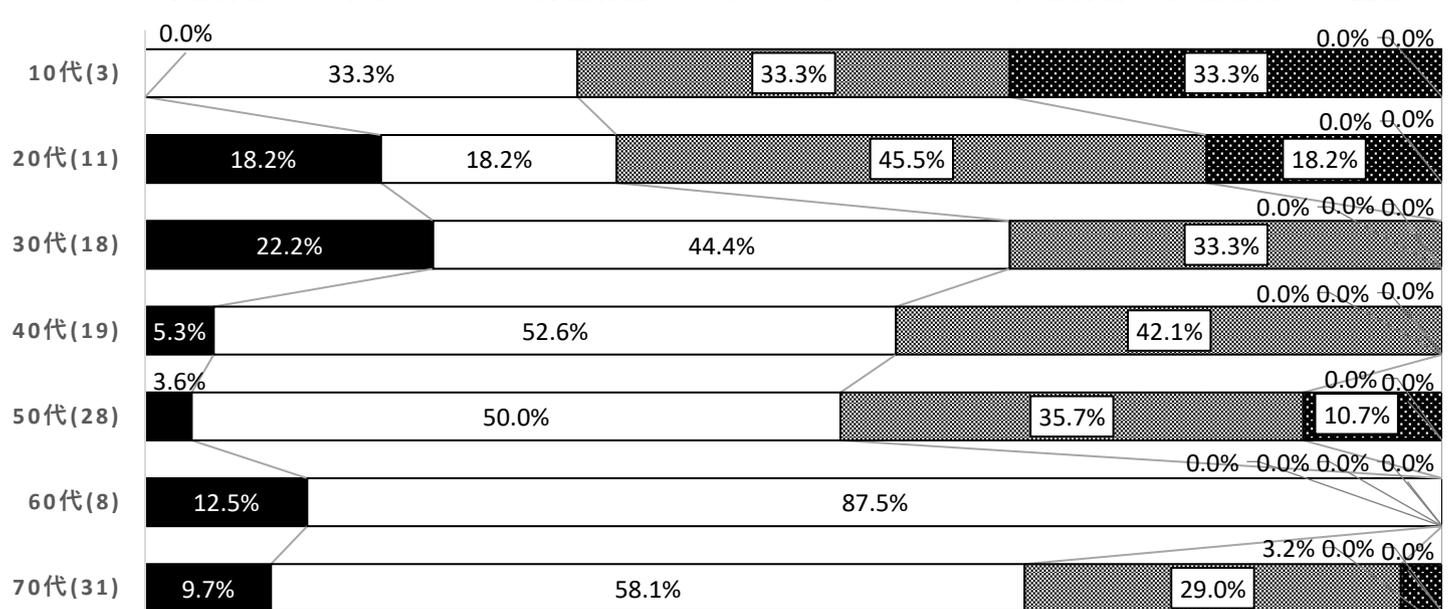
【女性・年代別】

■ 男性優遇 □ どちらかというとも男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかというとも女性優遇 ■ 女性優遇 □ 無回答

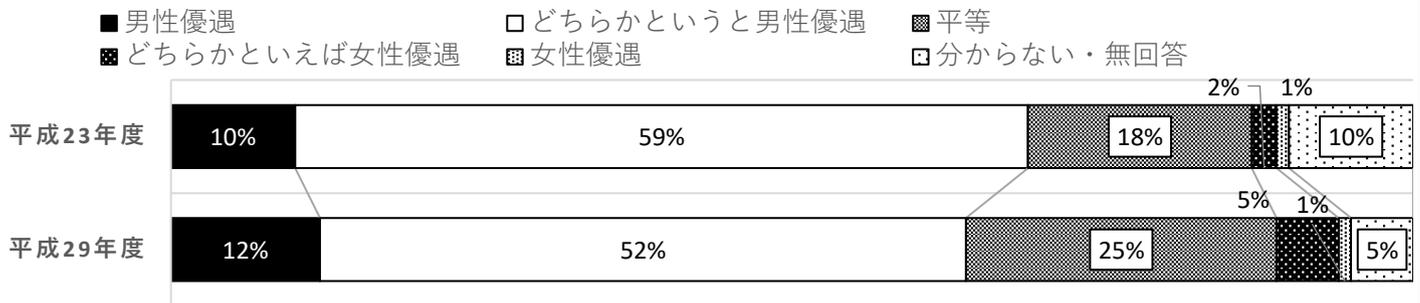


【男性・年代別】

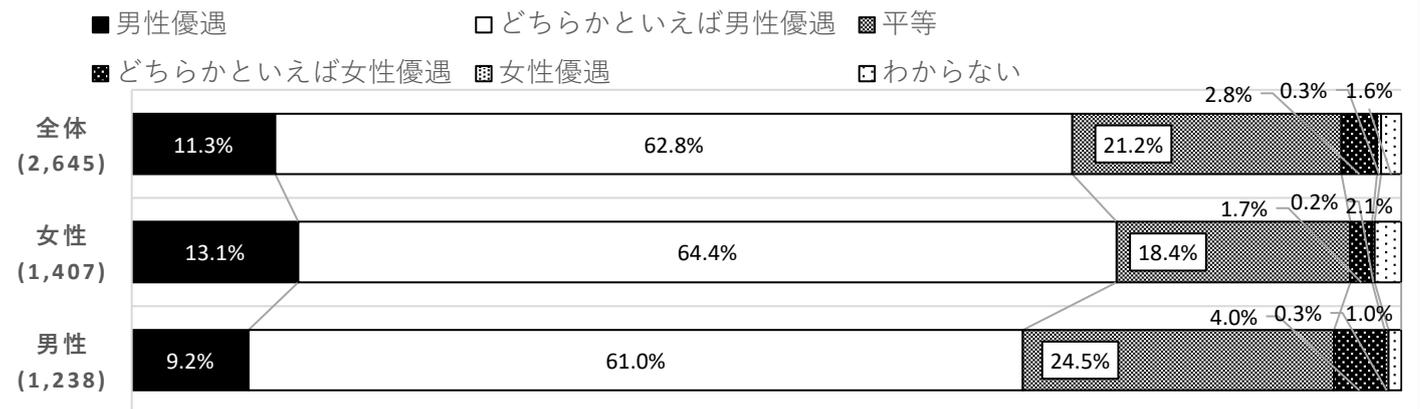
■ 男性優遇 □ どちらかというとも男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかというとも女性優遇 ■ 女性優遇 □ 無回答



【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】



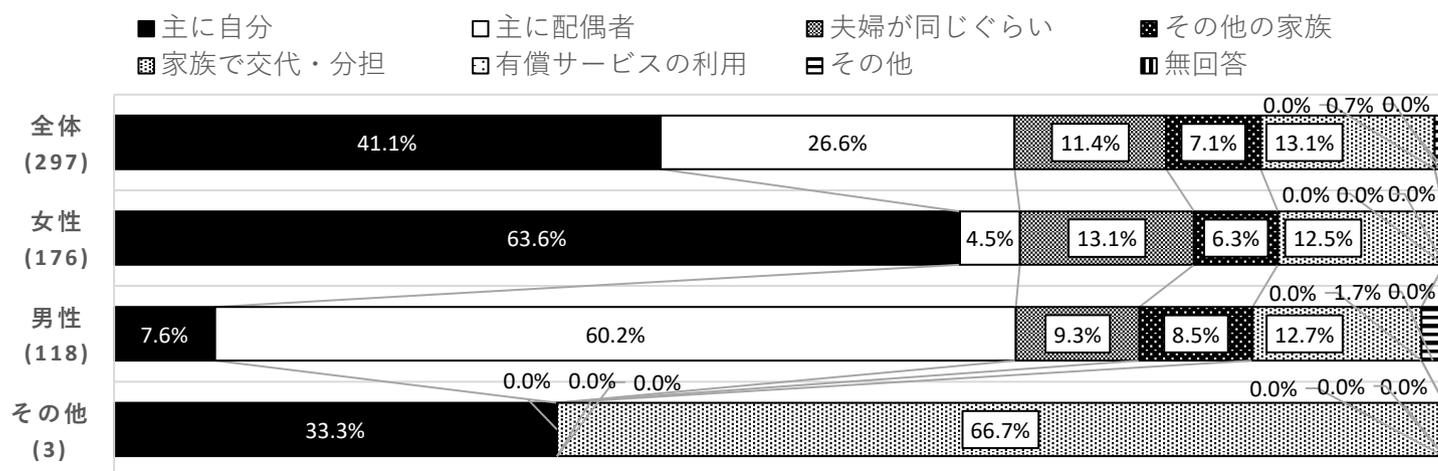
【参考：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）】



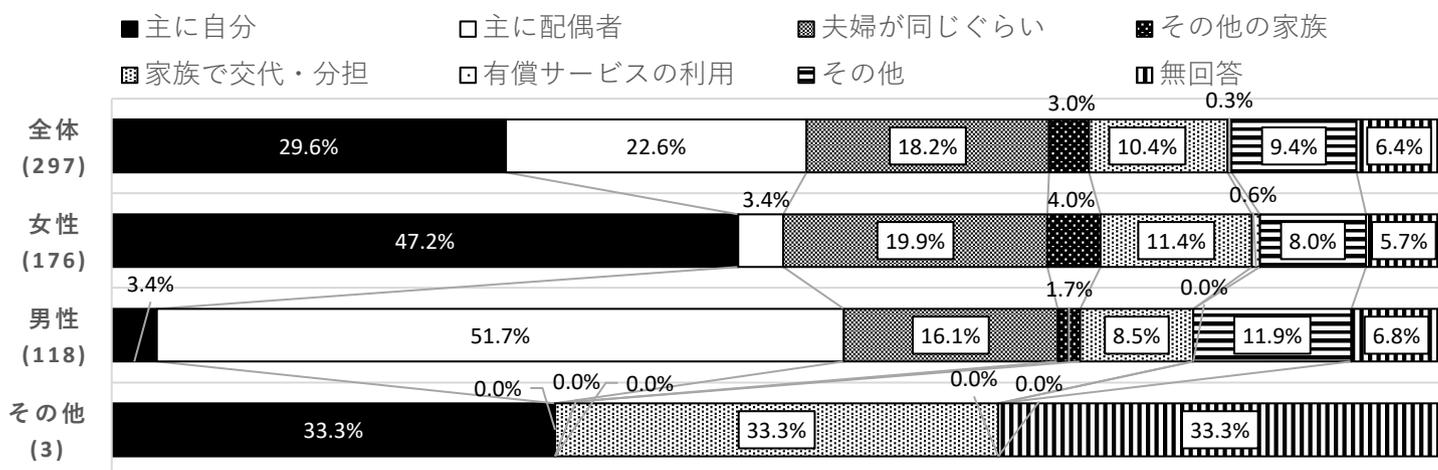
問3 あなたの家庭では、次の①～④のことを誰が主に担っていますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。該当しない場合は、あなたならどうするか想定してお答えください。なお、配偶者には事実婚などのパートナーも含まれます。（各SA）

全ての項目において、女性が「主に自分」の割合が最も多く、特に「家事」の項目においては、63.6%となっている。一方、男性においては、「主に自分」の割合の多くは10%以下となっているが、「地域活動」の項目においてのみ、23.7%となっている。

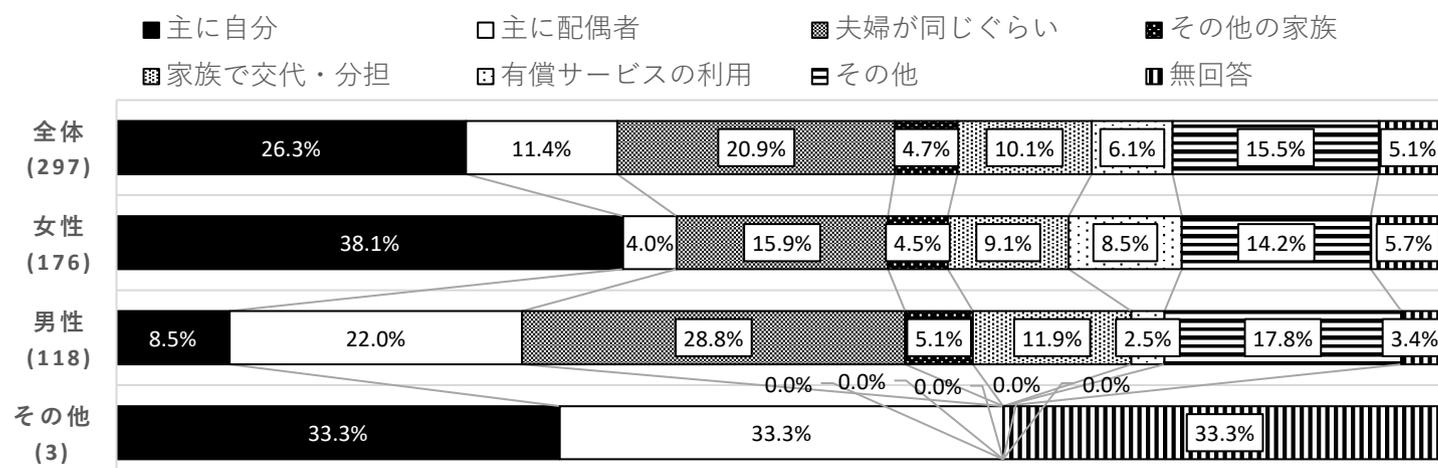
① 家事



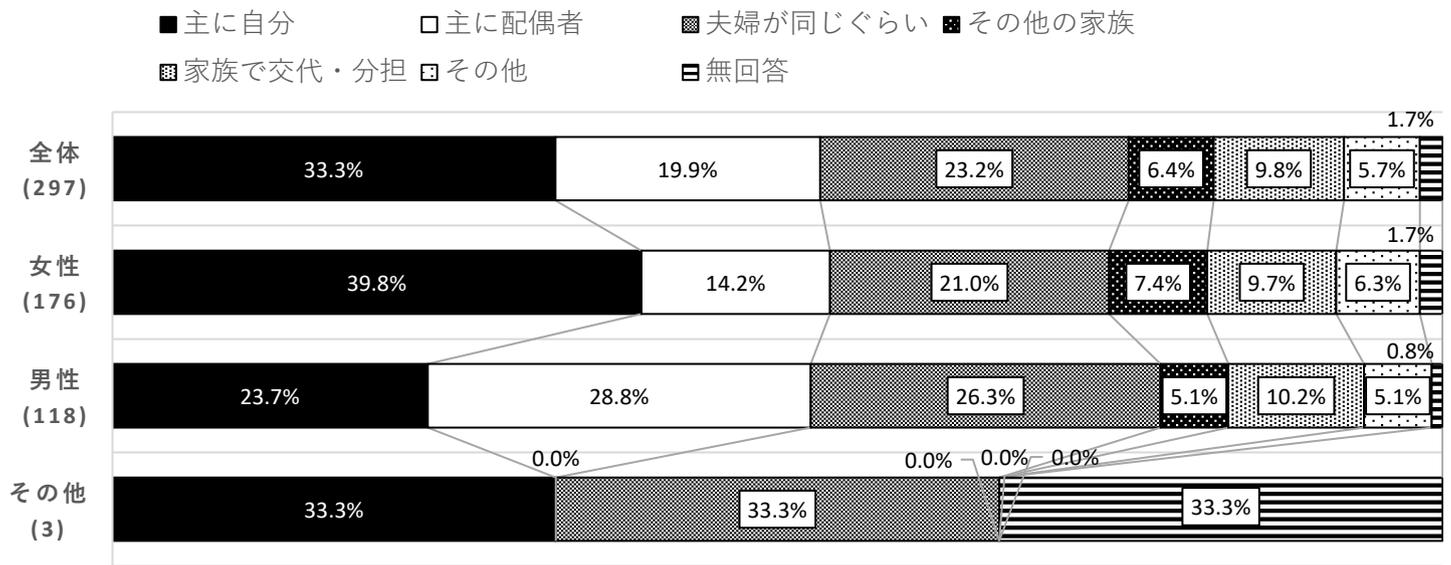
② 育児・子育て



③ 介護・看護



④ 地域活動

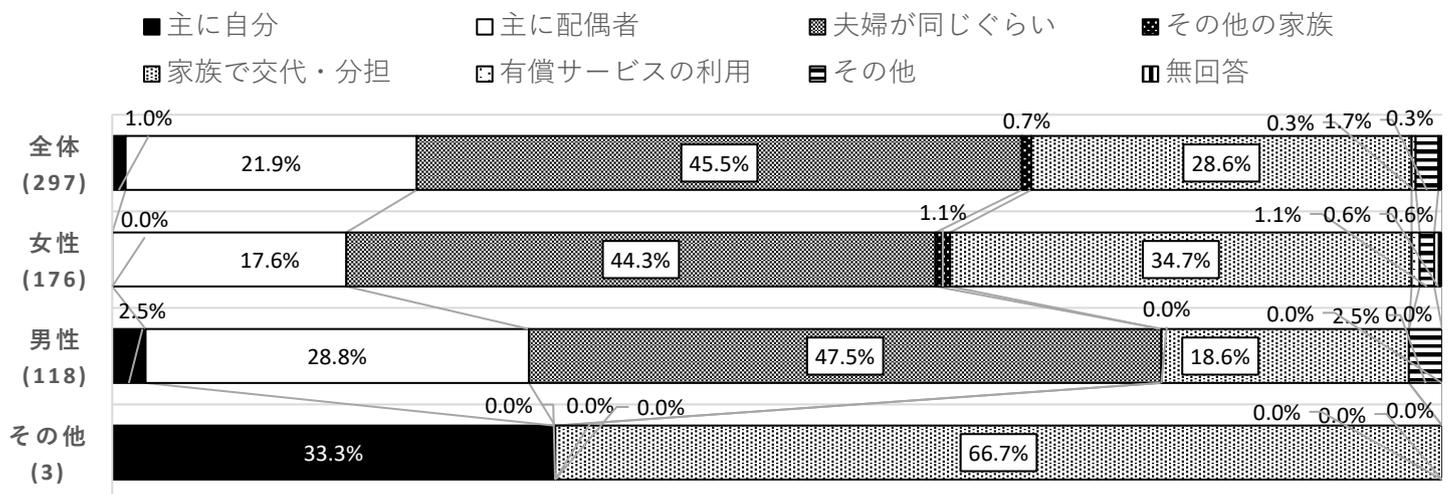


問4 次の①～④について、家庭における役割は誰が望ましいと思いますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。(各SA)

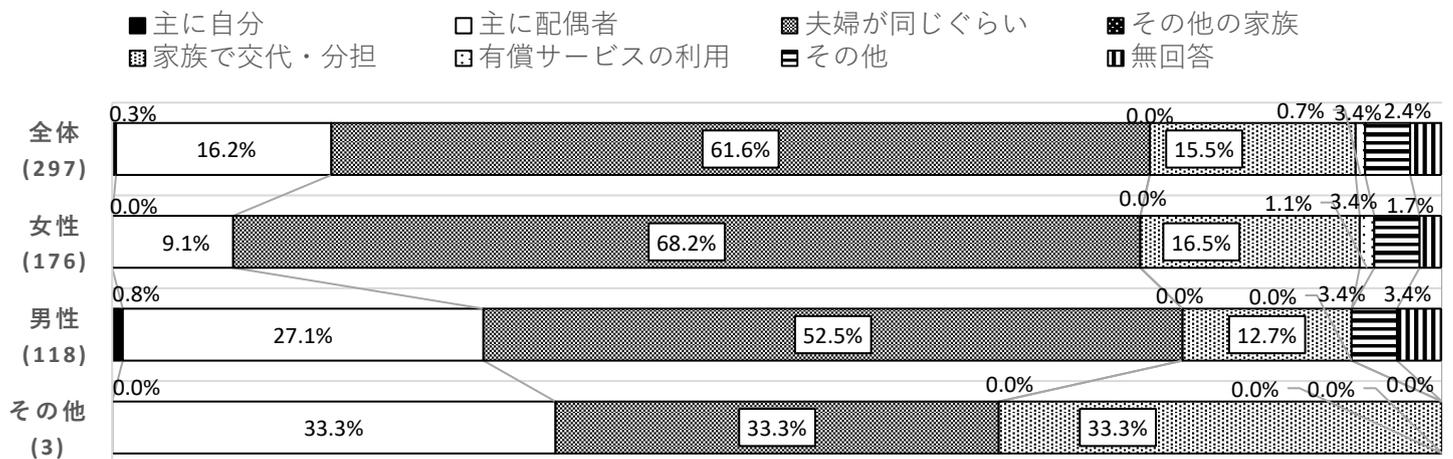
全ての項目において、「夫婦が同じぐらい」の割合が最も多く、次いで「家族で交代・分担」の割合が多い傾向となっている。

「地域活動」については、男女ともに「主に自分」の割合が、他の項目より多い傾向となっている。

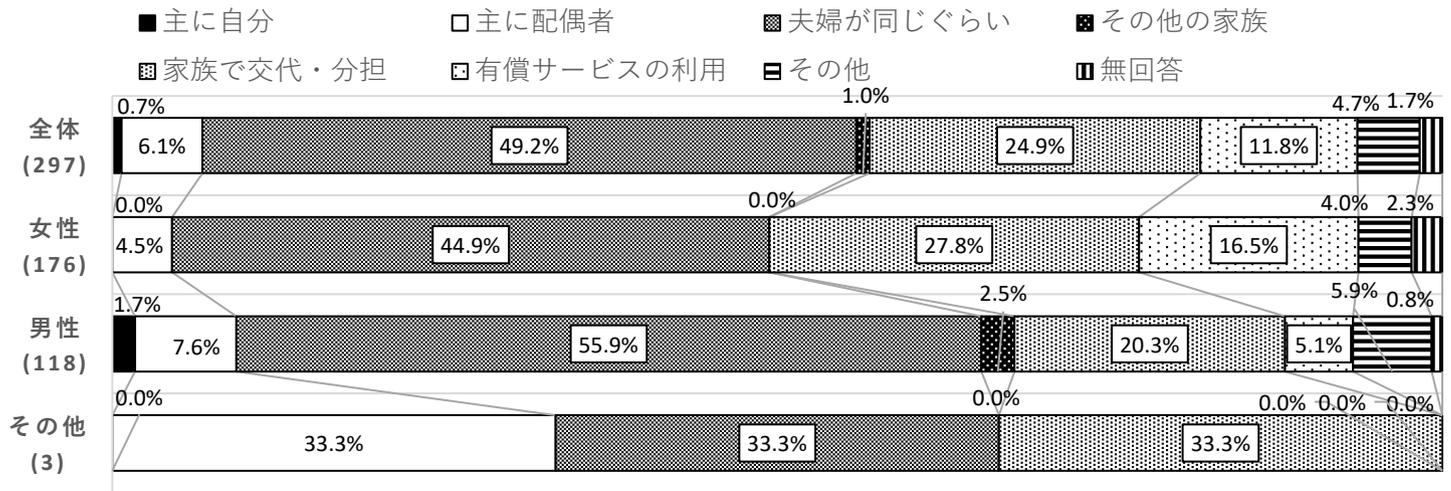
① 家事



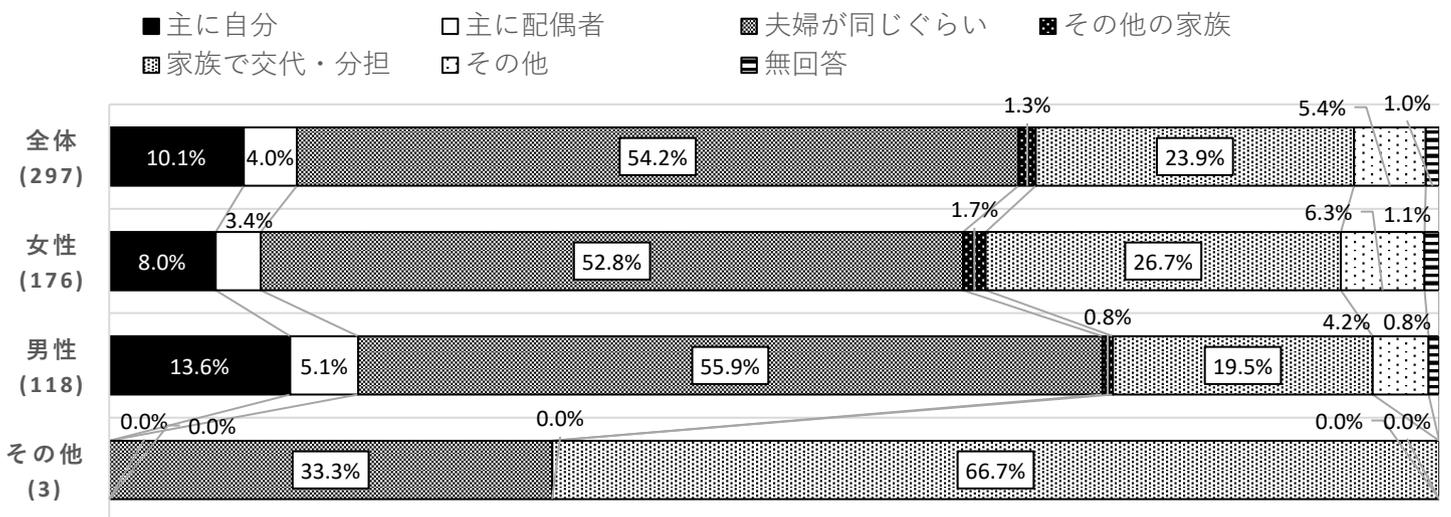
② 育児・子育て



③ 介護・看護



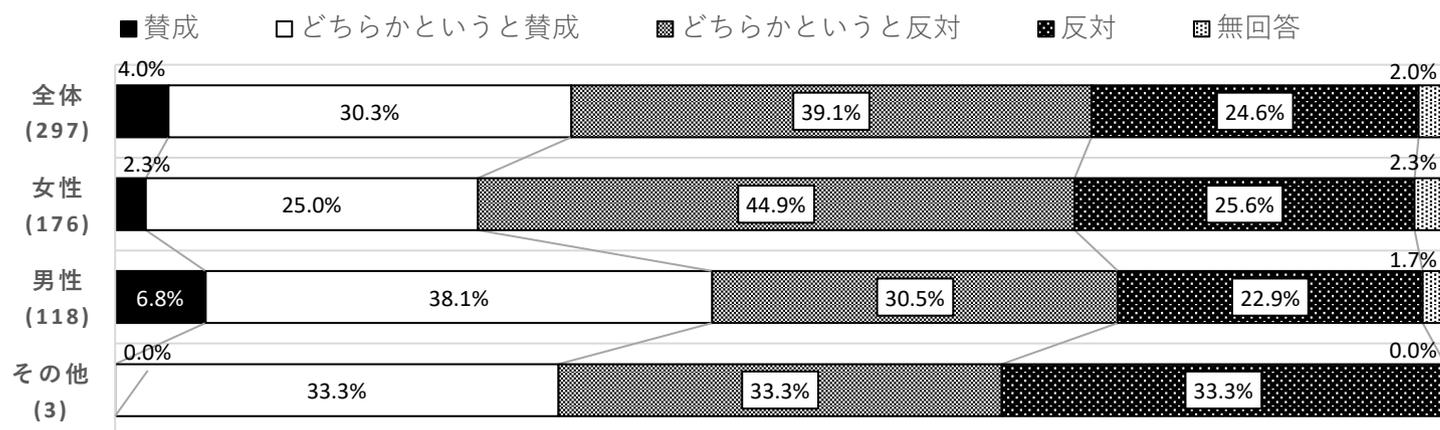
④ 地域活動



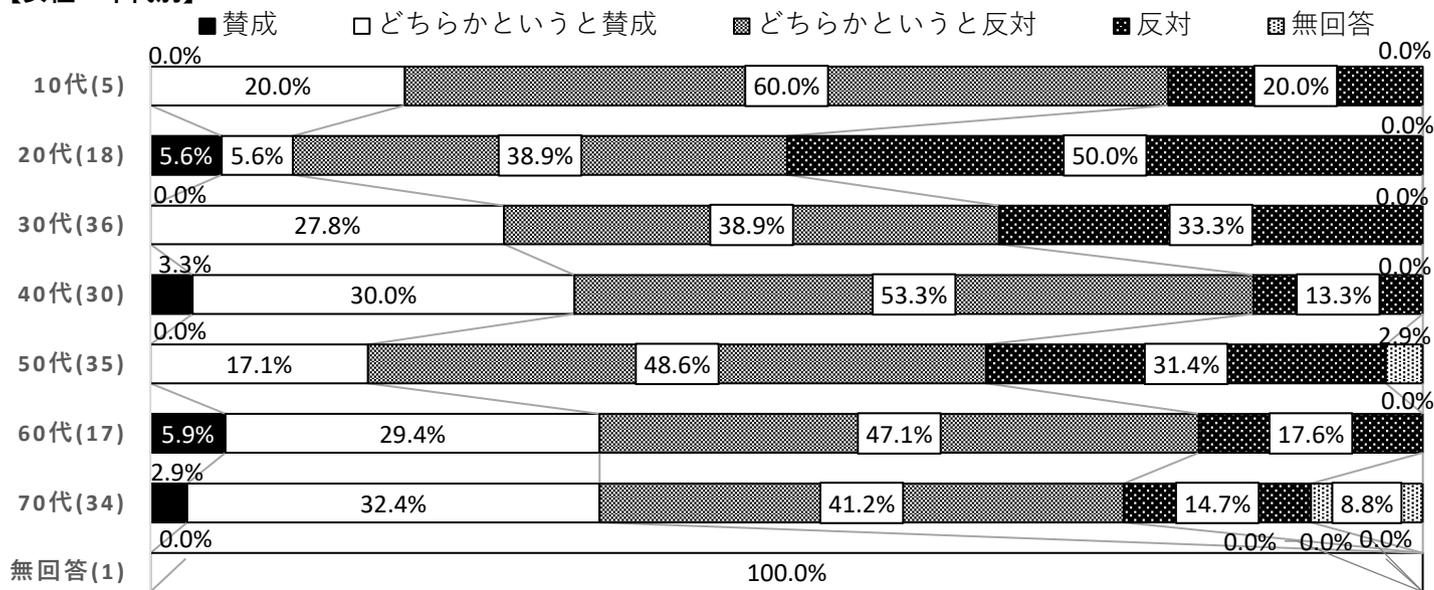
問5 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

「どちらかというとは反対」が39.1%と最も多く、次いで、「どちらかというとは賛成」が30.3%、「反対」が24.6%と続いている。”反対”(「反対、どちらかというとは反対」)の割合は63.7%となり、“賛成”(「賛成、どちらかというとは賛成」)を29.4ポイント上回っている。

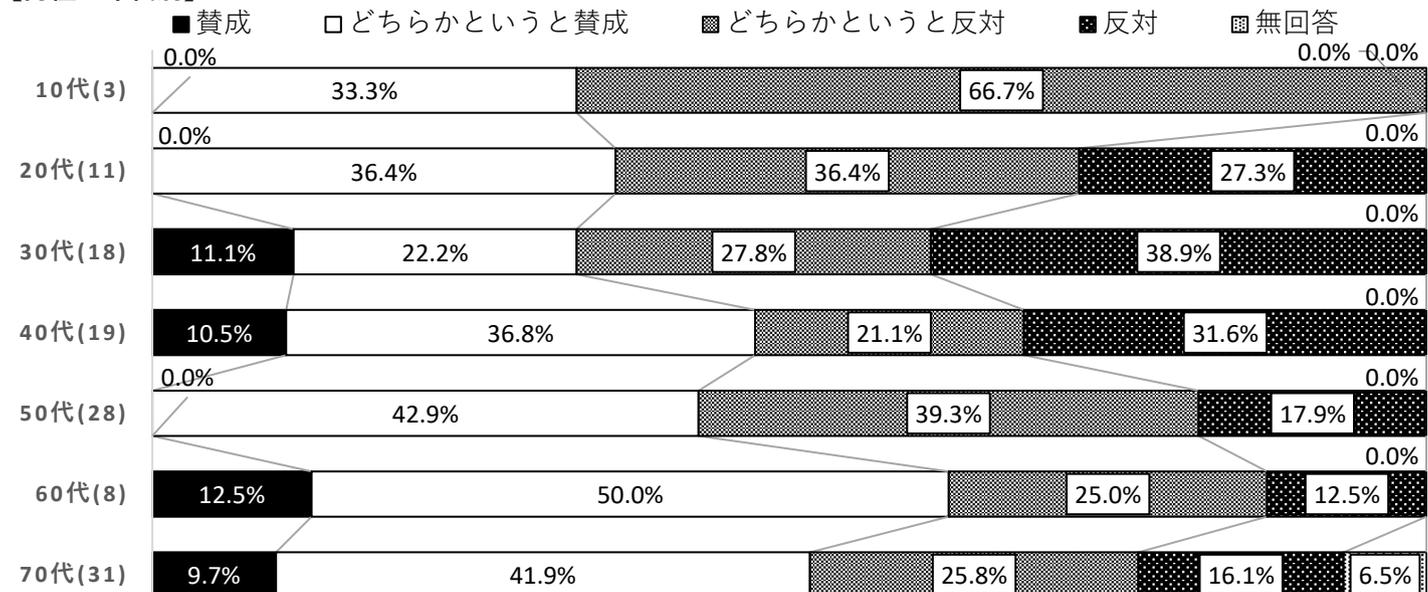
性別にみると、“賛成”の割合は男性が44.9%と、女性より17.6ポイント上回っている。一方、女性は”反対”(「反対、どちらかというとは反対」)の割合が70.5%となり、男性より17.1ポイント上回っている。



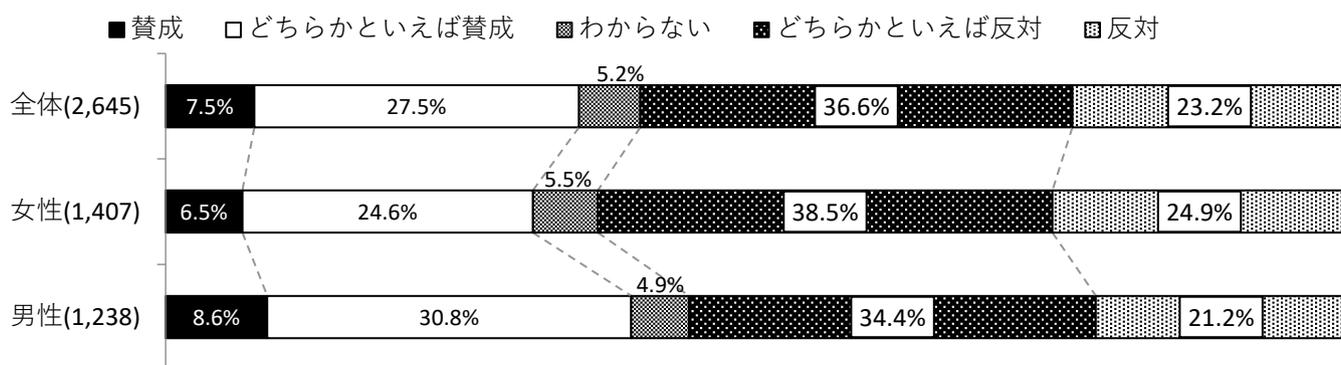
【女性・年代別】



【男性・年代別】

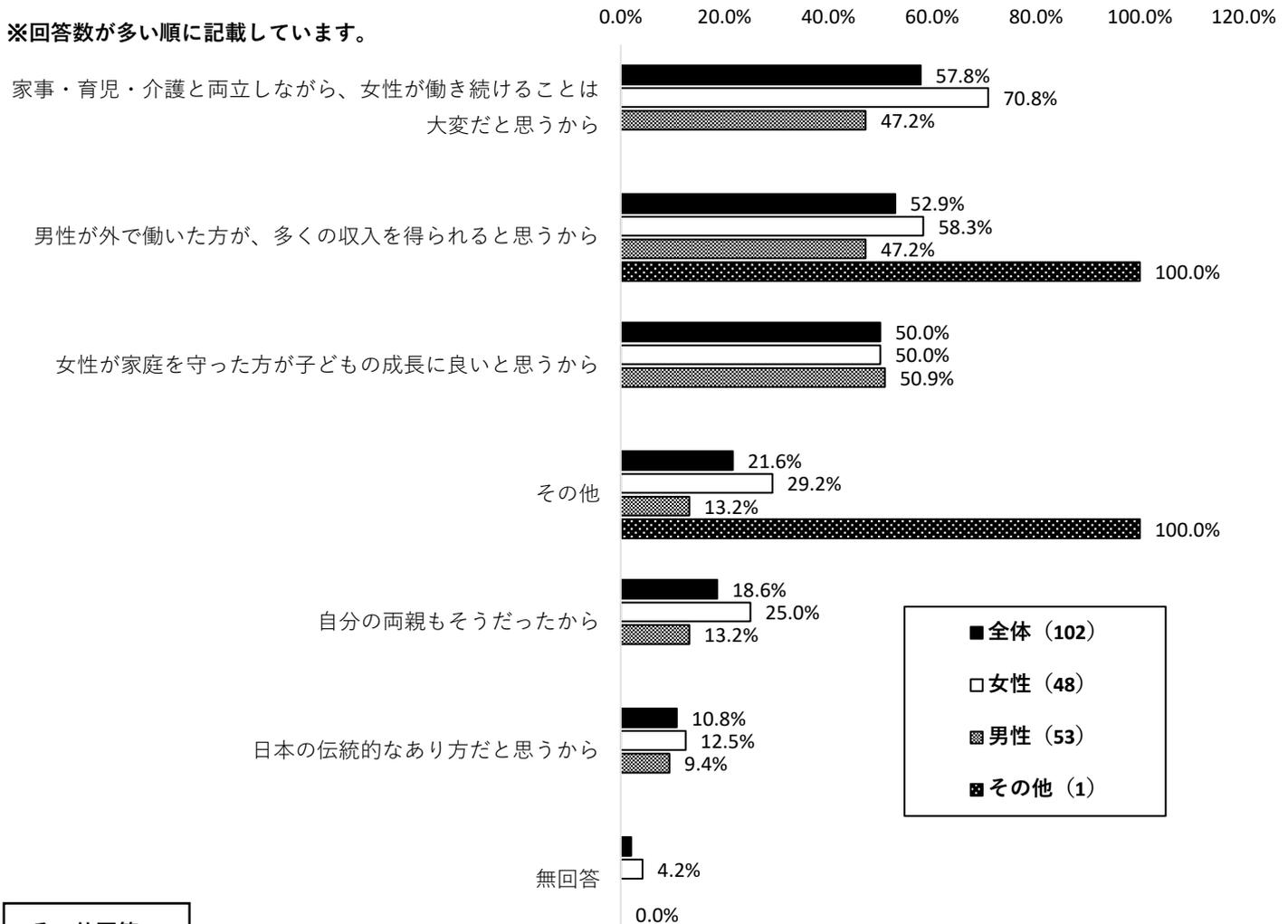


【参考：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）】



問5-1 (賛成、どちらかといえば賛成) そのように思った理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください (MA)

※回答数が多い順に記載しています。



その他回答

【女性】

- ・性別に関係なく個人として考えるべき。
- ・女性も社会参加をして、家とは別な喜びを味わえる。
- ・人間には差がなく、自分の意志が大切と思うから。
- ・女性が仕事を持ち、その実力があっても、男性の方が優遇されていると感じるから。
- ・出産があるため。
- ・自分の家にとって、最善な形を考えたときに当てはまるから。
- ・私は上記の時代に育った。母の育児を見習った。
- ・どちらかがやるべきと限定することはないと思うが、出産は女性にしかできないので、守られるべきところはあると思う。
- ・男女で賃金差があり、どちらかといえば男性の方が高額な賃金だから。それが望ましいとは思っていないが。
- ・どちらかという母親の方が子どもを育てるのに力を入れているから。
- ・家庭を作るということに女性の方が向いていると思うから。
- ・母親がどうしても仕事をしたいのならば、せめて子どもが小学校か中学校を卒業してからの方が良いと思う。乳飲み子や幼い子どもが保育園に朝早くから預けられるのは、とてもかわいそうです。もっと小さい時は親のそばで面倒を見てあげべきです。

【男性】

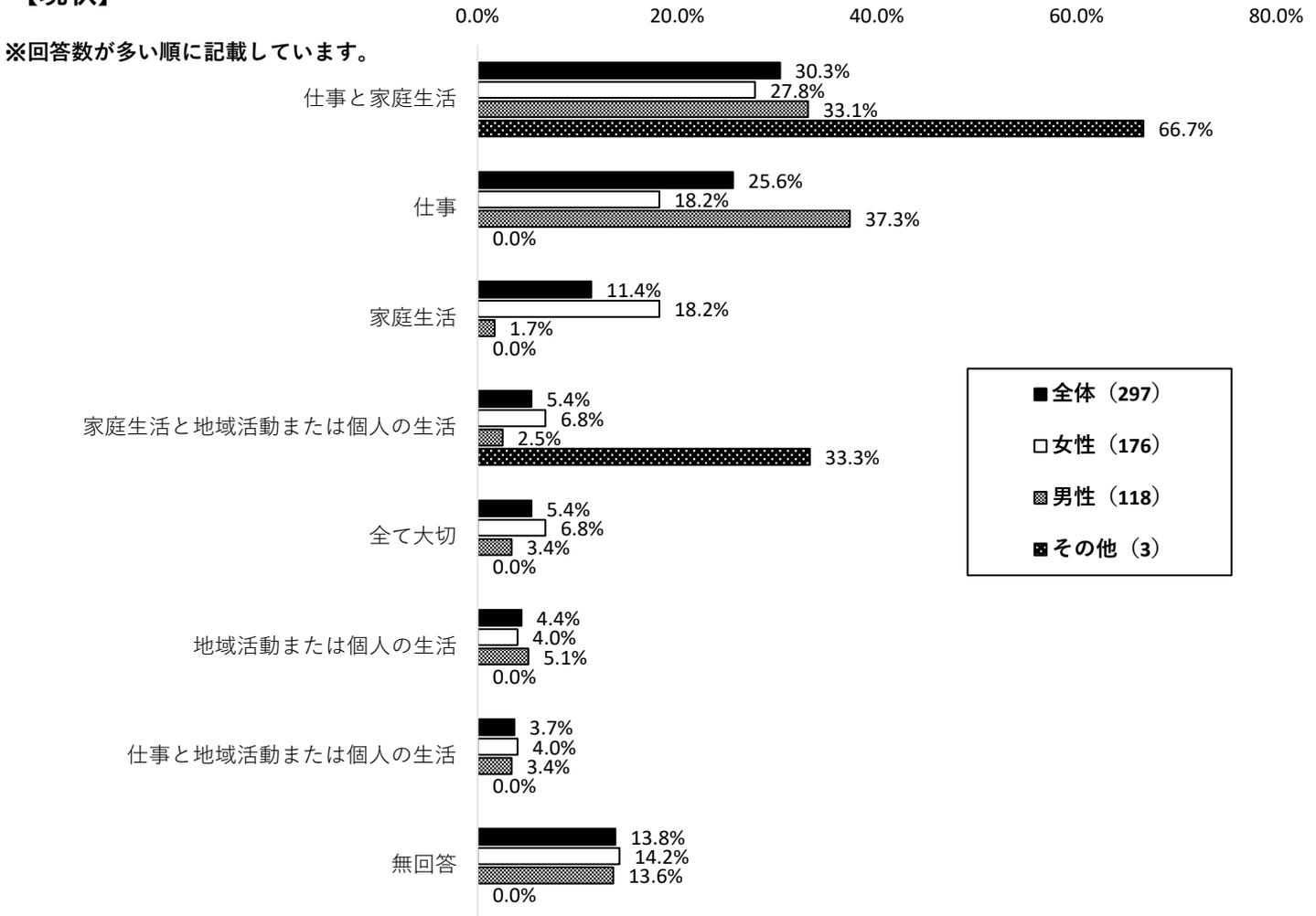
- ・近年はテレワーク化も進み、在宅しながら家事も出来ている。よって、なんとも答えにくい設問。
- ・ジェンダーではなくセックスとしての特性差がある。
- ・グローバルな社会を実現させるのであれば、これは男性がやるべきこと、あれは女性がすべきことと分けること自体が無意味。社会の価値感を変えてSDGsとは？と考えるべき。
- ・肉体的に男の方が労働に向いているから。
- ・家族の環境によって違う。
- ・妻の稼ぎが少ないから。
- ・妻が家を守ってくれているから、外で仕事を頑張れる。

【その他】

- ・生活の安定。

問6 あなたは、自らの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域活動または個人の生活」をどのように位置づけることが望ましいと思いますか。また、望ましいと思う位置づけを実現できていますか。①～⑦のうち、「現状」「理想」それぞれ当てはまる箇所1つに○を入れてください。（各SA）

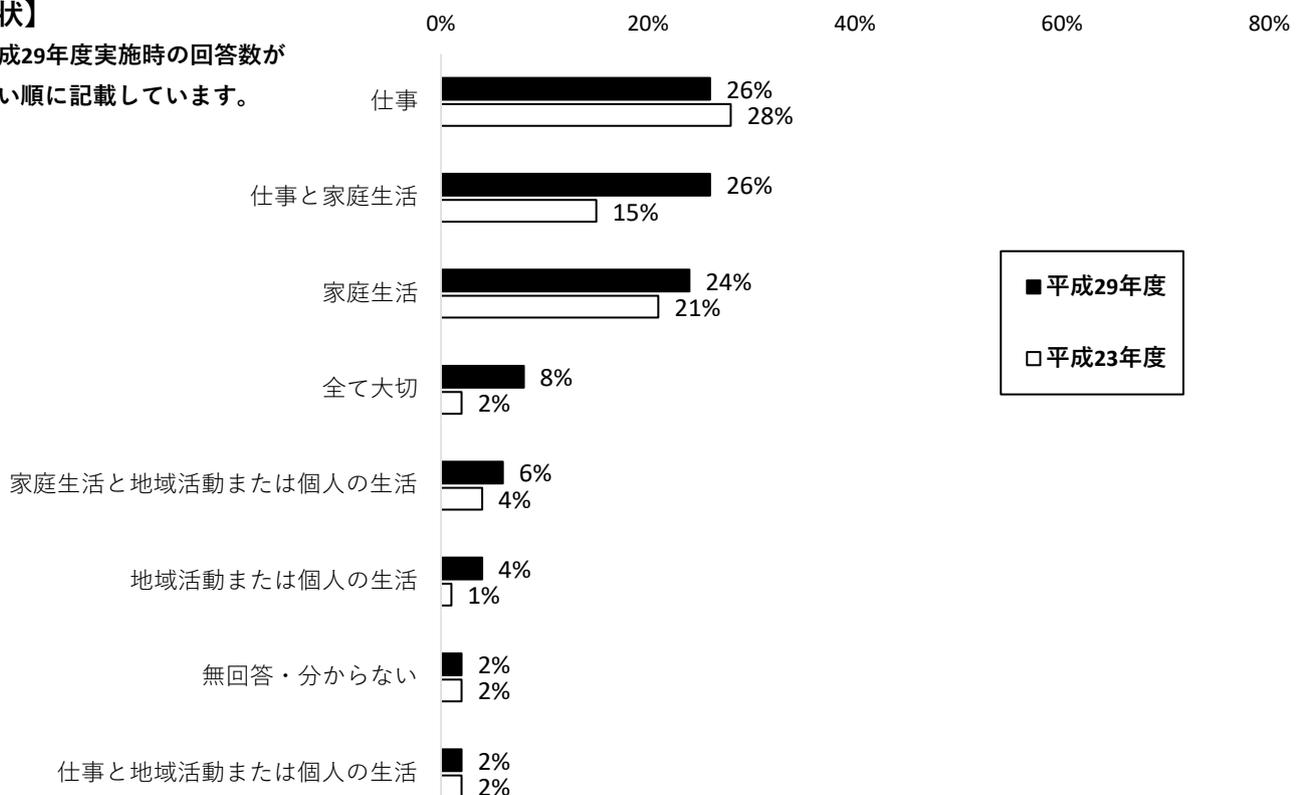
【現状】



【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】

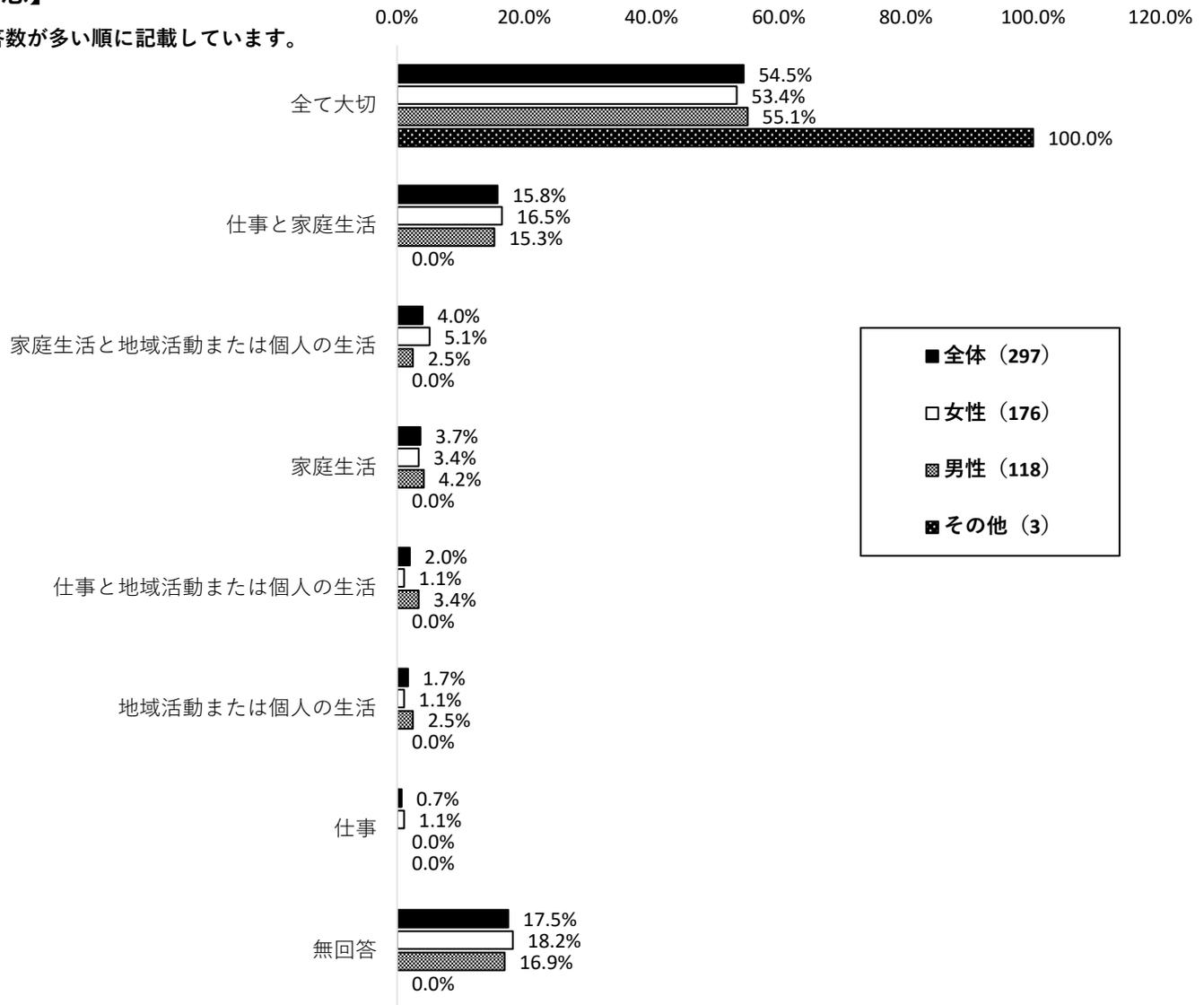
【現状】

※平成29年度実施時の回答数が多い順に記載しています。



【理想】

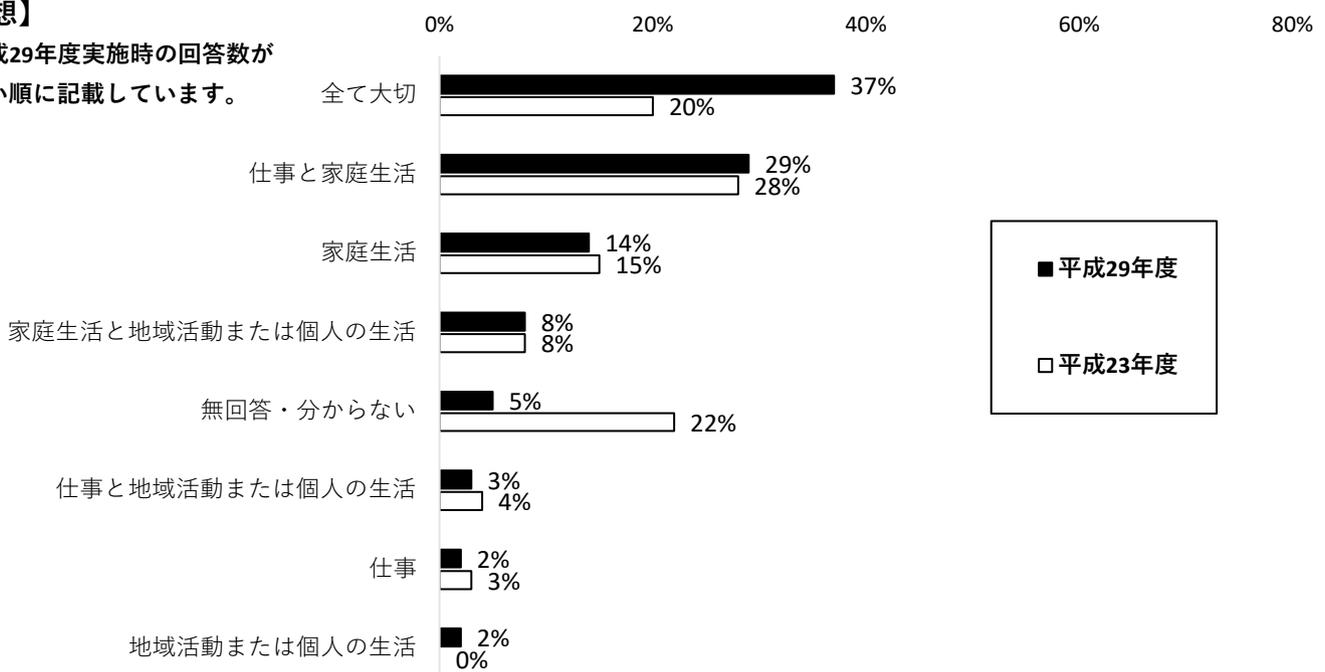
※回答数が多い順に記載しています。



【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】

【理想】

※平成29年度実施時の回答数が多い順に記載しています。

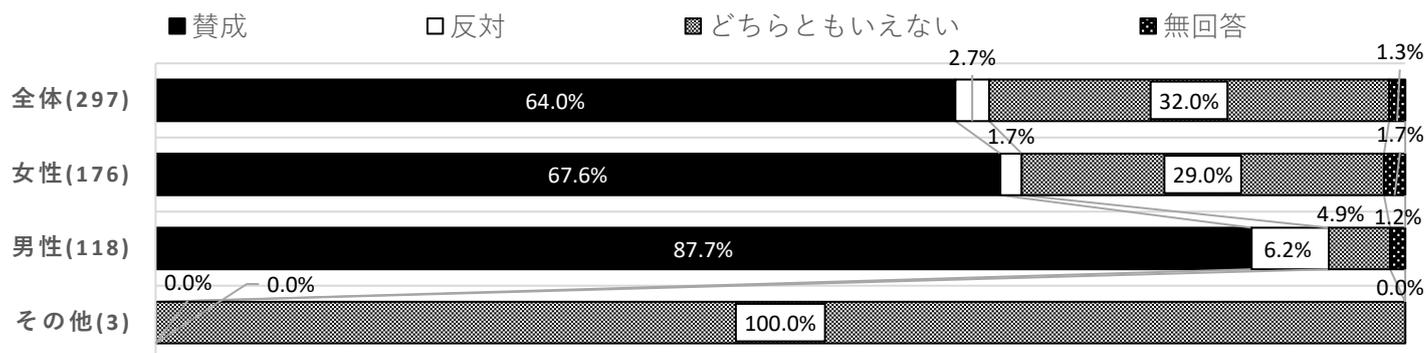


3 出産・育児に関する意識について

問7 出産・育児についてどのようにお考えですか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。(各SA)

① 子どもを産む、産まない、いつ何人を産むかは女性本人の意思を尊重した方がよい

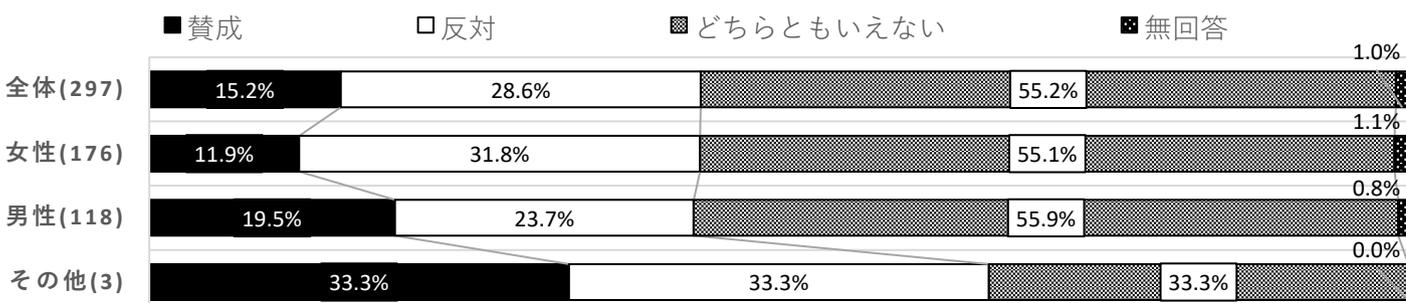
「賛成」が64.0%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」が32.0%、「反対」は2.7%と続いている。性別にみると、「賛成」の割合については、男性が女性を20.1ポイント上回った一方で、「どちらともいえない」の割合は女性が男性を24.1ポイント上回っている。



② 子どもの保育を人に任せてまで仕事はしない方がよい

「どちらともいえない」が55.2%と最も多く、次いで、「反対」が28.6%、「賛成」は15.2%と続いている。

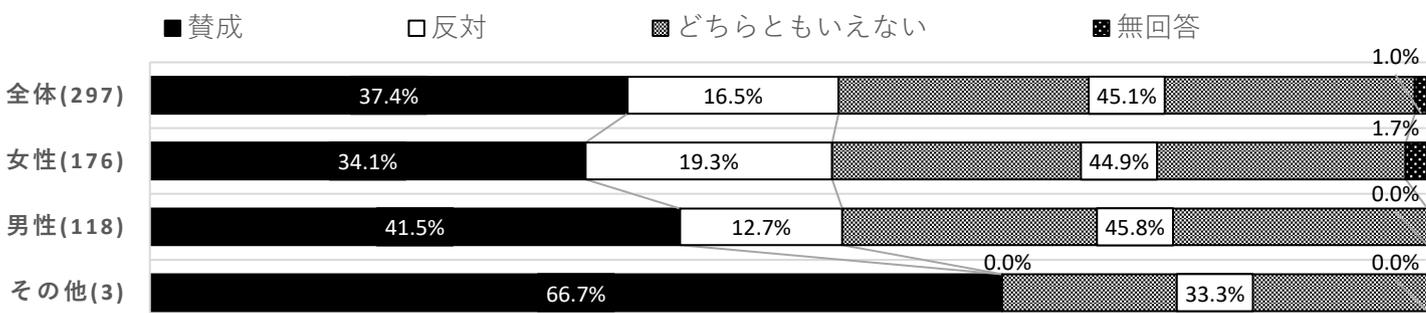
性別ごとの構成比は、全体的な傾向と同様となっているが、「賛成」の割合は男性が女性より7.6ポイント上回っている。



③ 3才までは母親の手で育てた方がよい(3才児神話)

「どちらともいえない」が45.1%と最も多く、次いで、「賛成」は37.4%、「反対」は16.5%と続いている。

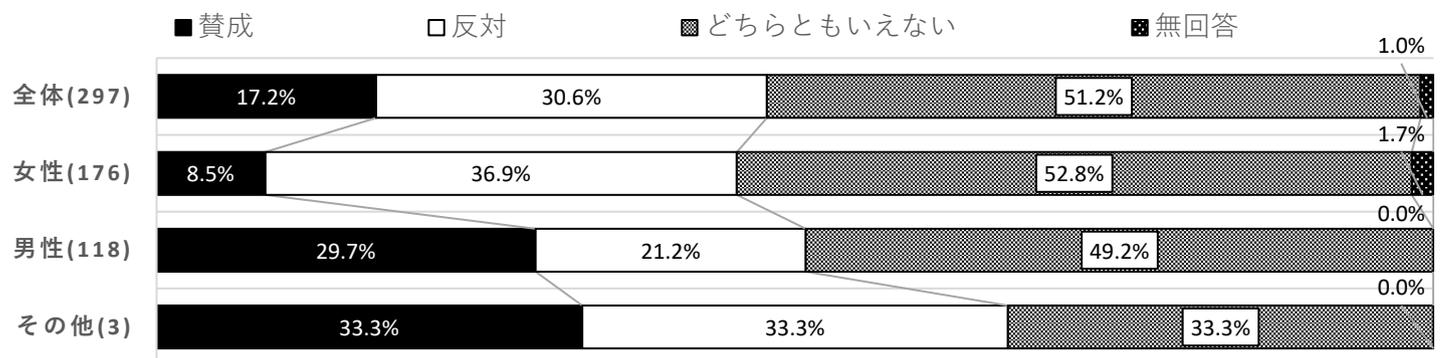
性別ごとの構成比は、全体的な傾向と同様となっているが、「賛成」の割合は男性が女性より7.4ポイント上回っている。



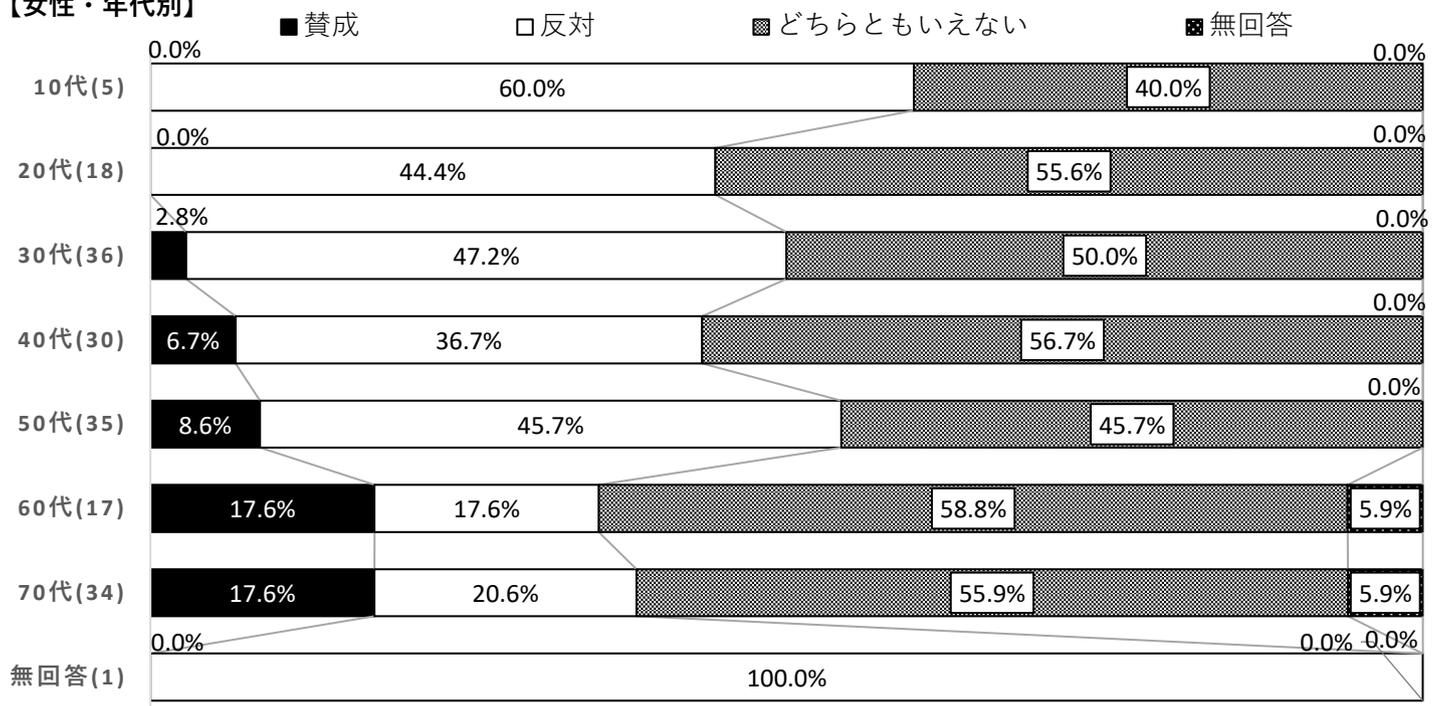
④ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい

「どちらともいえない」が51.2%と最も多く、次いで、「反対」は30.6%、「賛成」は17.2%と続いている。

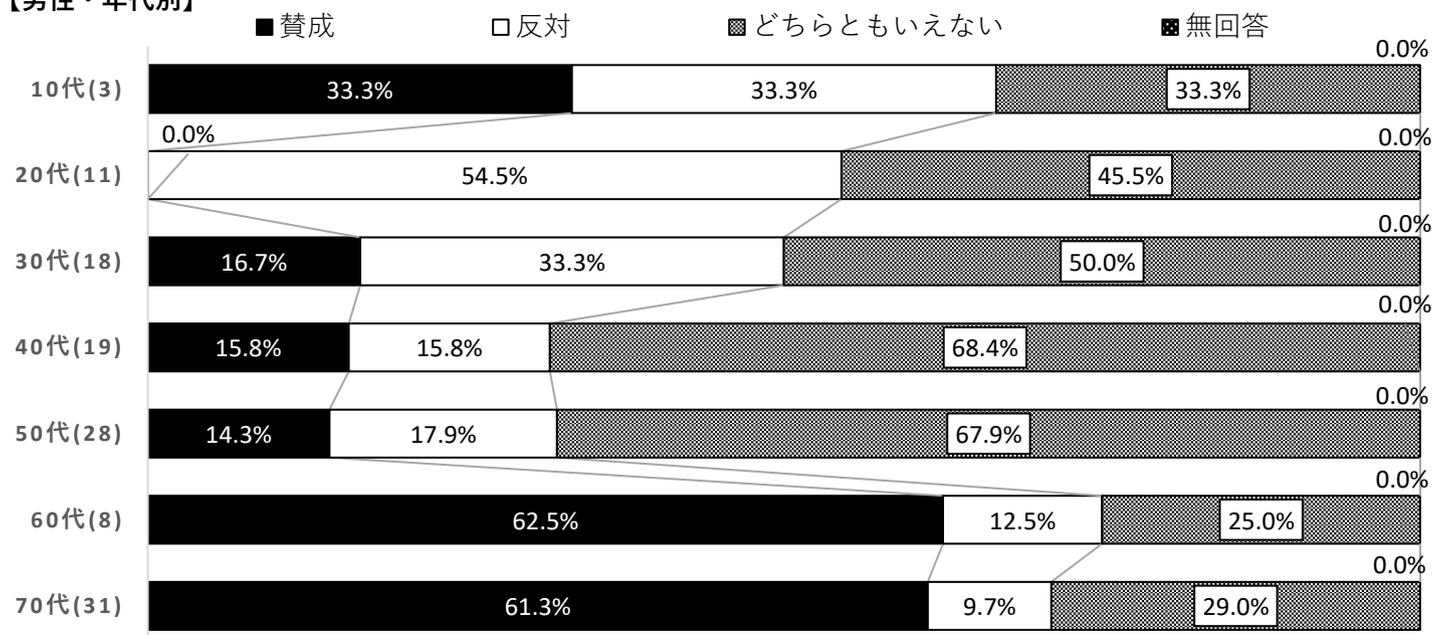
性別にみると、女性は「どちらともいえない」が52.8%、「反対」が36.9%と続く一方で、男性では「どちらともいえない」49.2%、「賛成」が29.7%と続いている。



【女性・年代別】



【男性・年代別】



問8 現在、仕事をされている方にお聞きします。

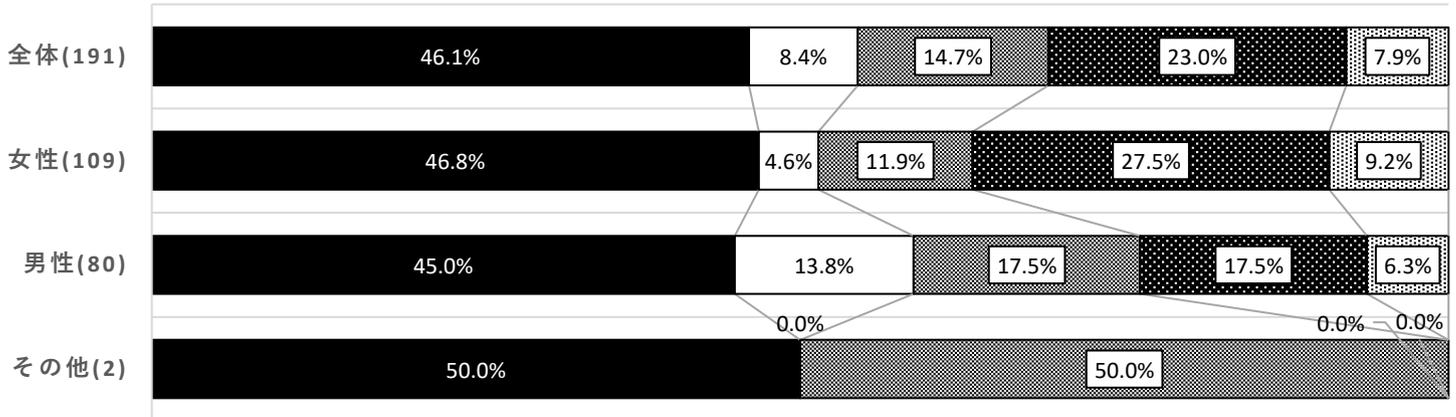
あなたの職場では、育児休業・介護休業を実際に取得できそうですか。または、取得できましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。(各SA)

育児休業、介護休業ともに、「取得できる・できた」の割合が最も多く、次いで、「わからない」、「取得できない・できなかった」が続いている。

育児休業については、性別による構成比に大きな違いは無いが、介護休業については、性別により構成比が異なる結果となっている。

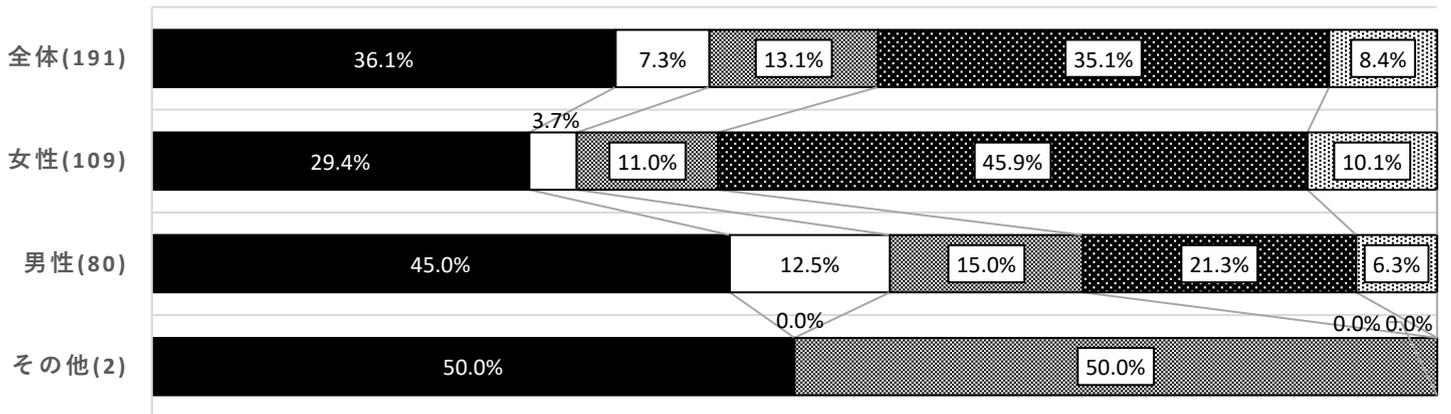
【育児休業】

- 取得できる・できた
- 取得できるが、取得しなかった
- ▨ 取得できない・できなかった
- わからない
- ▨ 無回答



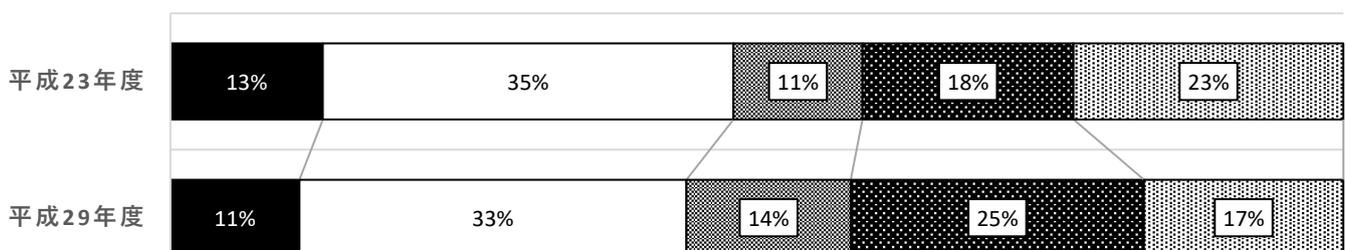
【介護休業】

- 取得できる・できた
- 取得できるが、取得しなかった
- ▨ 取得できない・できなかった
- わからない
- ▨ 無回答



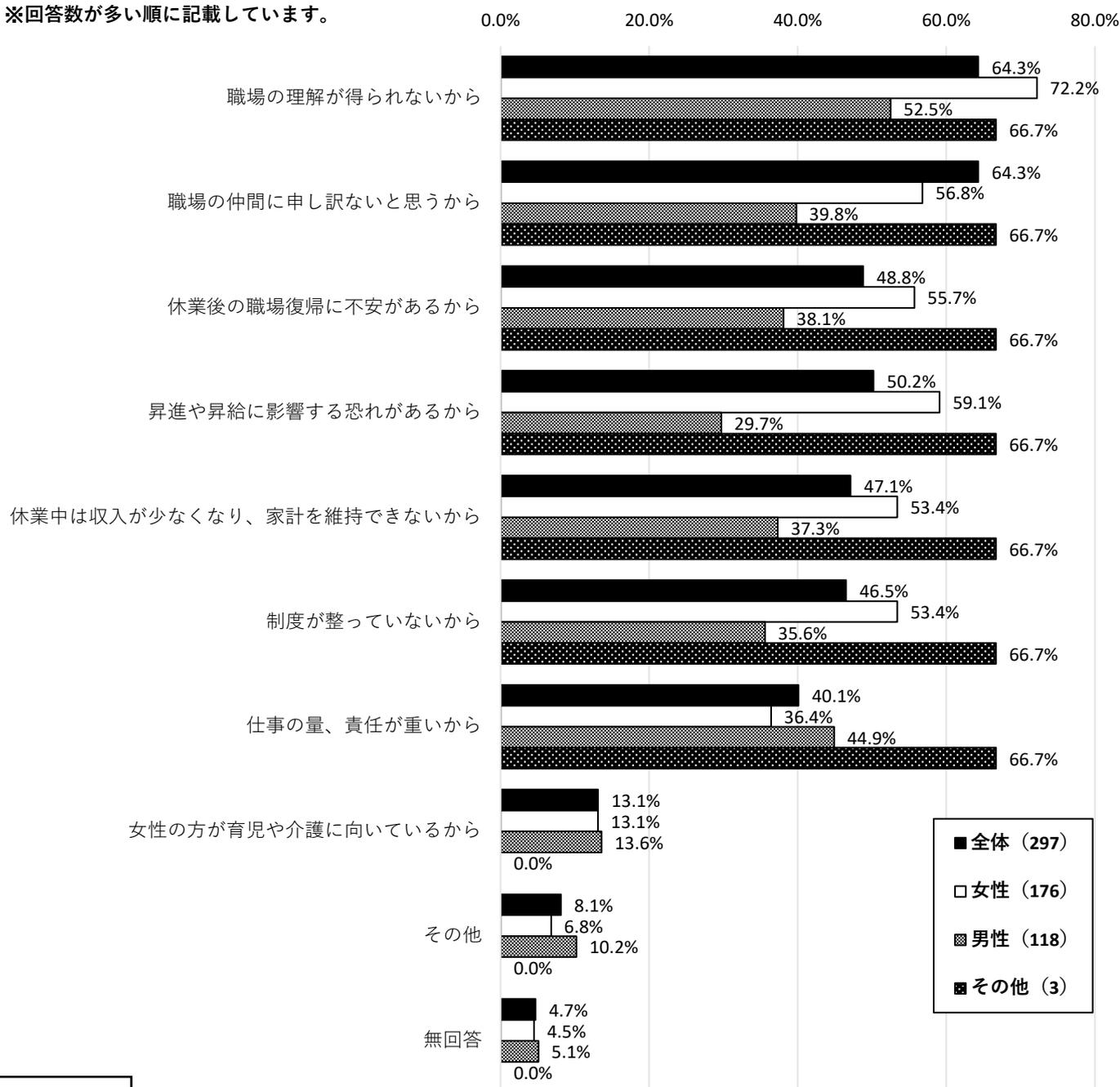
【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】

- 制度や取組みはあり、活用したことがある
- 制度や取組みはあるが、活用したことはない
- ▨ 制度や取組みはあるが、詳しくは知らない
- 制度や取組みはない
- ▨ 無回答・分からない



問 9 育児休業や介護休業をとる男性は、女性に比べて少ないのが現状です。この理由についてどのようにお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(MA)

※回答数が多い順に記載しています。



その他回答

【男性】

- ・ 幹部が積極的に制度を利用するように普段から教養していないから。
- ・ 育児休業、介護休業は社会的な理解が低すぎる。強制する仕組み。休業補償についても考慮すべき。
- ・ そもそも個人で介護をするべきでないから。
- ・ 自営業のため。
- ・ まだ浸透していないから。
- ・ 面倒だから。
- ・ ”女性に代わって”という意識が無いから？
- ・ 職場では、男性優位のため、経済的にこの分担となります。
- ・ 職場だけでなく、社会全体の理解が得られないから。
- ・ 制度としてはありますが、まだまだ考えや理解が広がっていないように感じます。
- ・ 制度が整っている企業に勤めているので問題なし。男性も取得しています。

【女性】

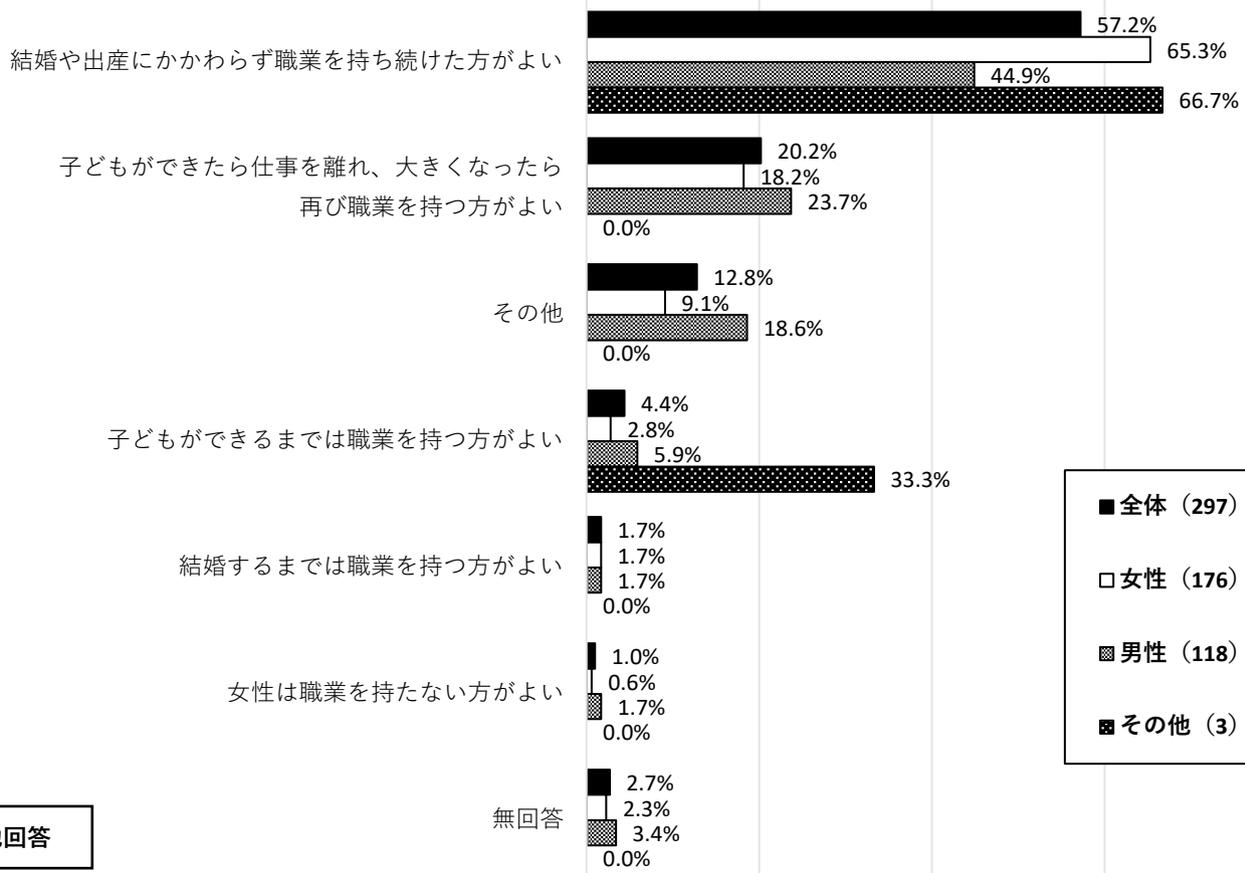
- ・ 周囲で取っている人が少なく、取れる環境が無いから。
- ・ 本人にやる気が無いから。
- ・ 本人の考え方から。
- ・ 男性は育児・介護を面倒でやりたくないから。
- ・ 制度があっても使わない。又は、1～2日しか取っていない。
- ・ 地域の人から理解されない。
- ・ 私の職場は女性のみ。オートクチュールの仕事。
- ・ 出来ない、やりたくないのでは。
- ・ 取れたとしても必ずどこかに不満が生まれるから。
- ・ 人による。意志の問題では？

4 女性の活躍推進に関する意識について

問 10 あなたは、女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(S A)

※回答数が多い順に記載しています。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



その他回答

【男性】

- ・人それぞれ、男性と同様な社会になってほしい。
- ・本人の意思を尊重するべきだ。職業を持った持たないは本人の判断。
- ・子どもの年齢に合わせ、勤務時間を調整できればよい。
- ・女性個人の考えを尊重します。
- ・本人の意思次第。
- ・個人の性向や能力によるので、どうした方がよいとは言えない。
- ・女性に限らず、その人個人がどう思うかでよいと思う。
- ・状況に合わせて働けるのが一番良いと思う。
- ・その人の都合に合わせて頑張ってもらいたい。
- ・職業の選択肢は男性と同様にあるのが当然だと思います。
- ・女性の意志次第でよい。
- ・その人が決めればよいと思う。
- ・その人の意思に合わせる方がよい。
- ・好きにすればよい。
- ・本人の意欲次第。
- ・自由に選択できるのがよい。
- ・状況による。
- ・個人の自由なのでどれとは選べない。
- ・職業の種類による。例えば、作家、画家、作曲家などであれば④(結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい)が可能。
- ・結婚や出産にかかわらず職業を持ち続けてもよい。
- ・それぞれの生活環境によって決めた方がよい。
- ・結婚や出産にかかわらず職業を持ち続けてもよい。

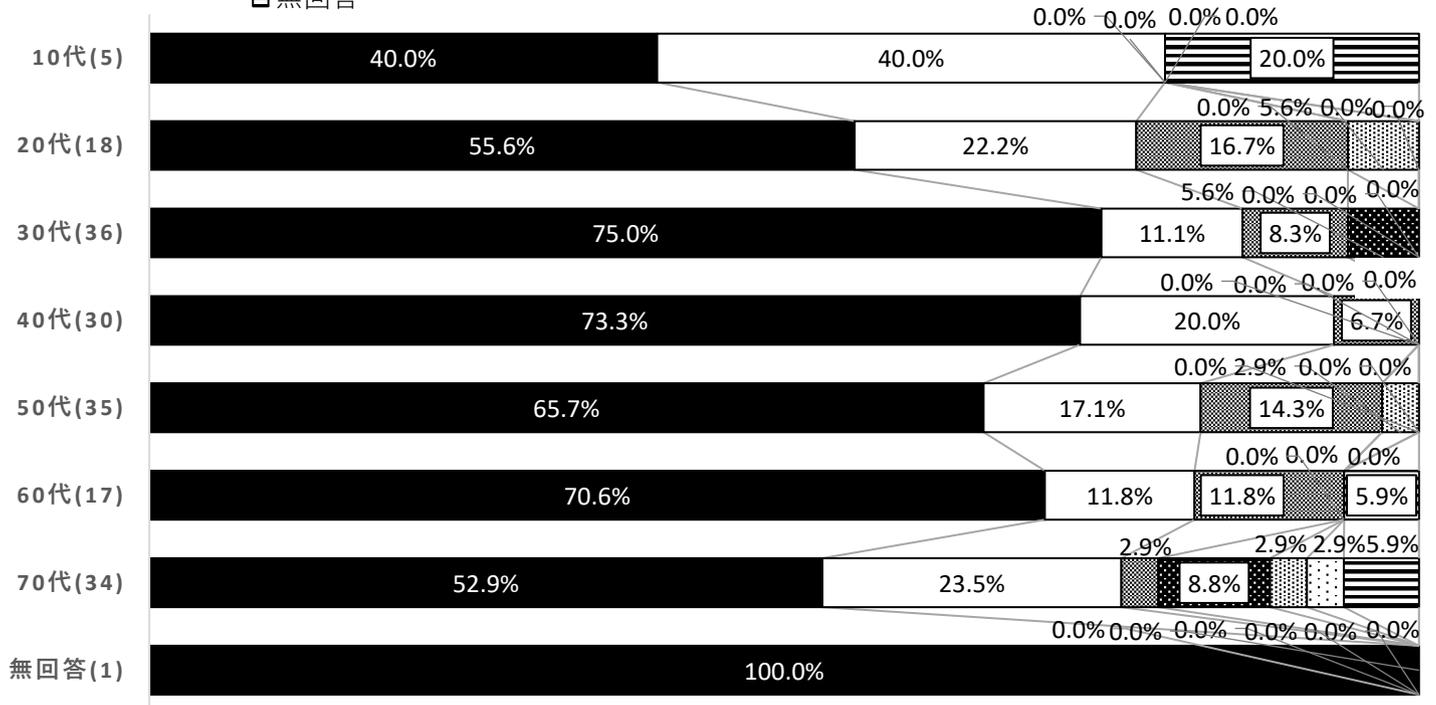
【女性】

- ・性別に関係なく一個人として労働は当たり前と考えるから。
- ・その時その時で本人が選択すればよい。
- ・本人の意思の通りになることが一番重要。どちらが良いかはわからない。
- ・自分のやりたいことを行うべき。
- ・生産人口が減っているのだから、有能な女性が働き、かつ働きやすい環境を整えるのは当たり前。
- ・個人、家庭の自由。したいようにすればよい。
- ・人それぞれで良いと思います。
- ・人によりけり。
- ・個人の自由。
- ・個人が自由に決めればよい。
- ・それぞれの仕事により違うと思います。
- ・どんな選択もしやすい社会がいい。
- ・個人の考え方による。
- ・人それぞれ。ただ、収入源が多いにこしたことはない。
- ・仕事をしたい人はすればよい。したくなければしなければよい。

(問 10 あなたは、女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。)

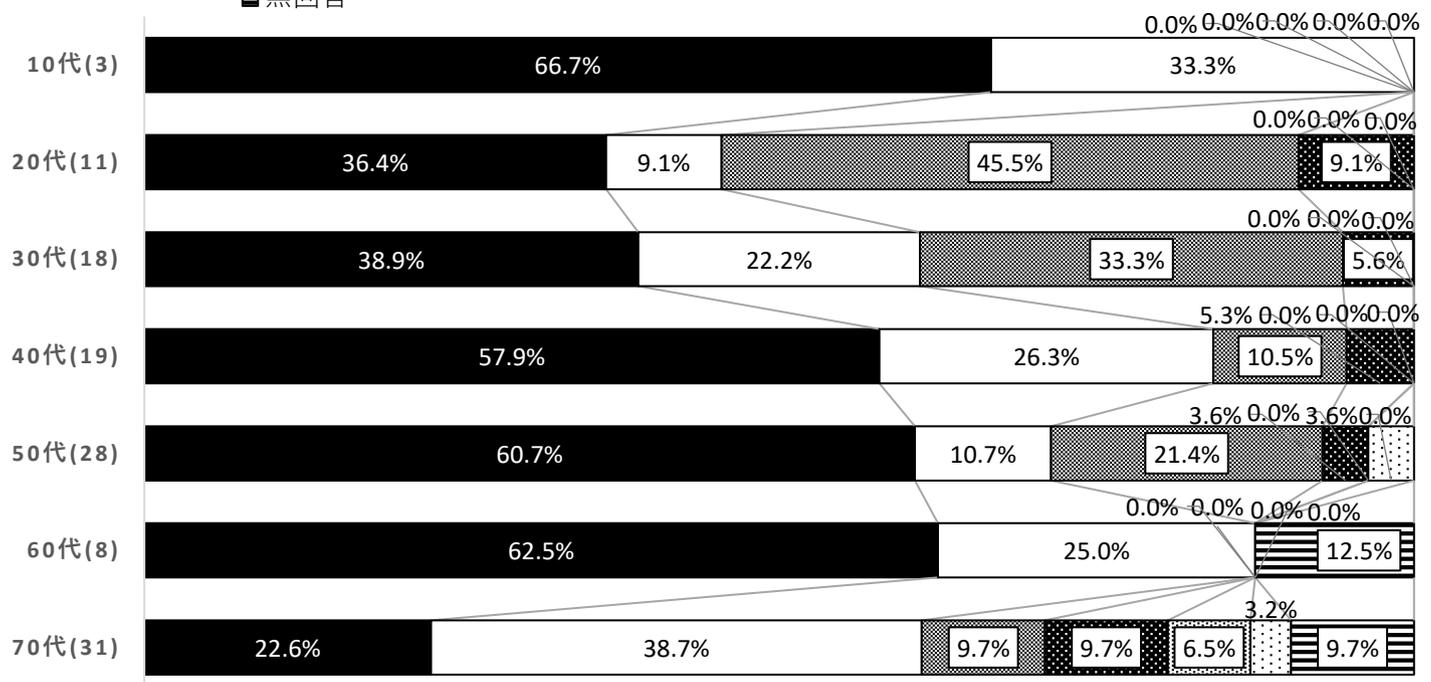
【女性・年代別】

- 結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい
- 子どもができたなら仕事を離れ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
- ▨ その他
- 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- ▨ 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 女性は職業を持たない方がよい
- 無回答



【男性・年代別】

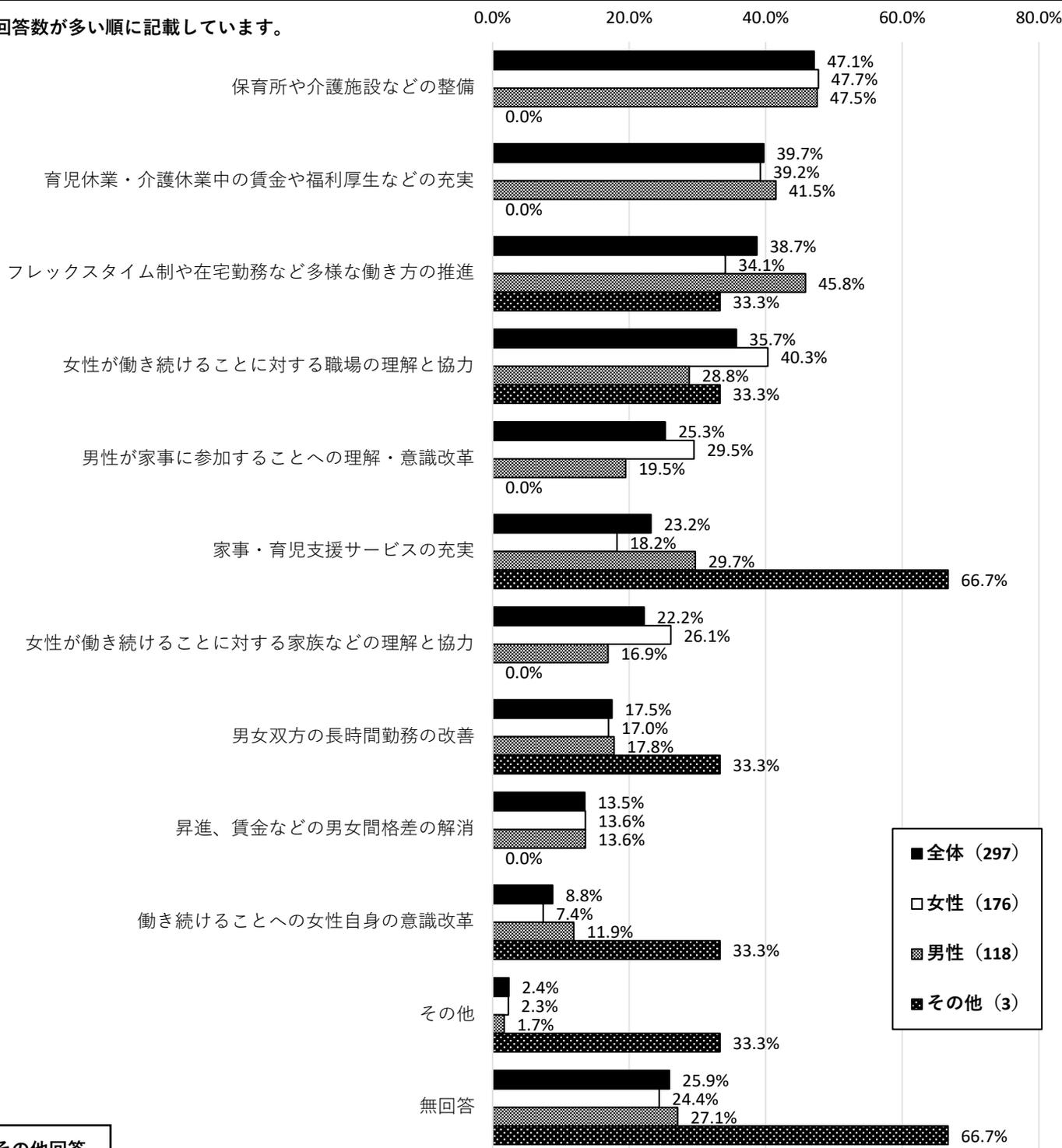
- 結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい
- 子どもができたなら仕事を離れ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
- ▨ その他
- 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- ▨ 結婚するまで持つ方がよい
- 女性は職業を持たない方がよい
- 無回答



問 11 女性は男性に比べ、就職しても途中で離職する割合が高いですが、女性が働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近い番号3つに○をつけてください。

(MA)

※回答数が多い順に記載しています。



その他回答

【女性】

- ・女性側のマインドセットの改革。
- ・出産による心身のダメージ、休業期間は本人にはどうにもならないものなので、賃金や待遇などは男性以上に優遇されるべきです。同等ではダメだと思います。回答の選択肢に、すでに男女のへだたりを感じます。
- ・40代～の正社員に再就職しやすい社会づくり。
- ・会社のシステム 職場復帰に向けての体制作り。

【男性】

- ・男女間格差ではなく両方の賃金・所得のアップ。
- ・所得のため、自己の充実のため、社会の貢献のため等、働く目的は多様である。問いは単純すぎる。

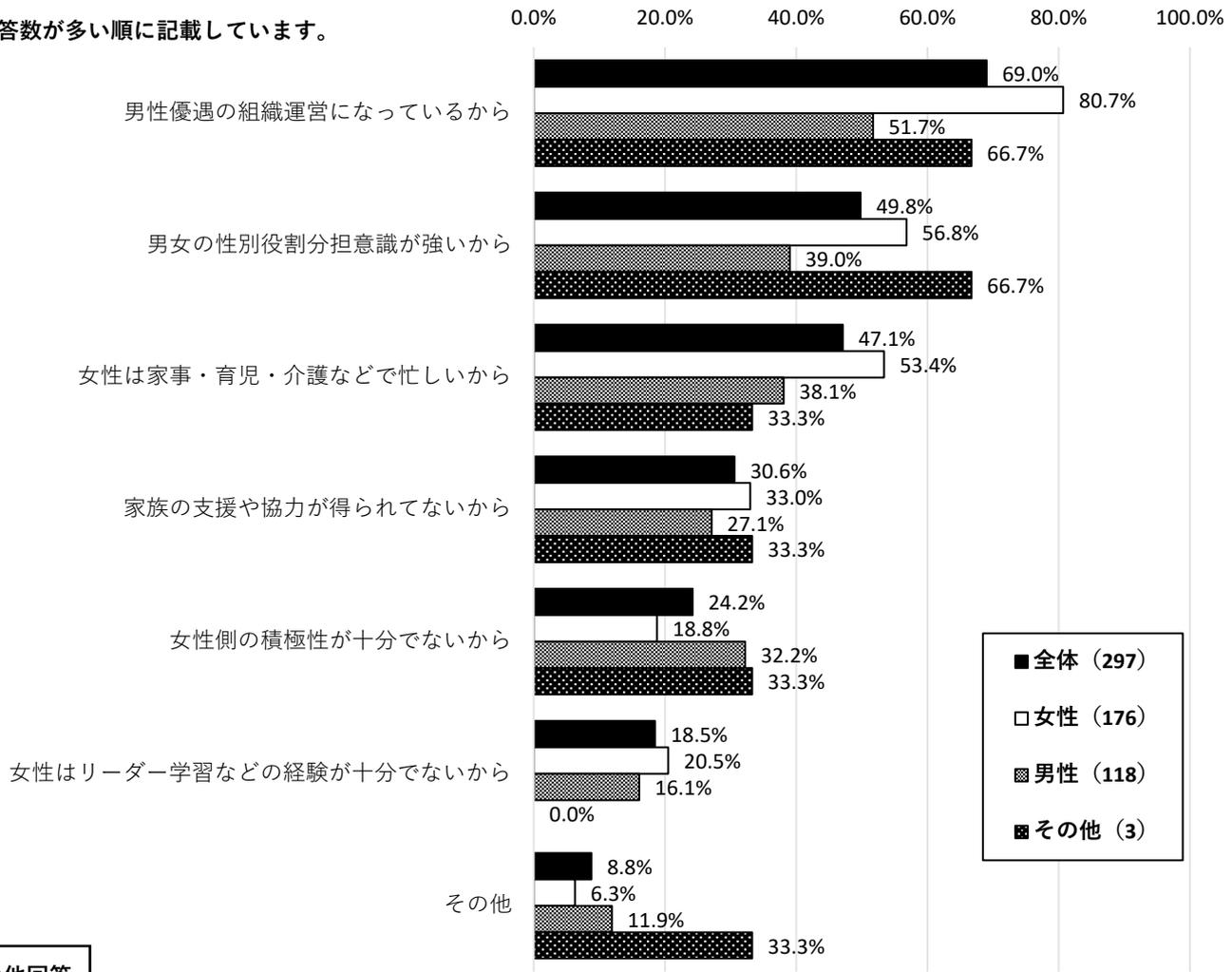
【その他】

- ・働き方の意識の改革、必要な時に仕事をせず、ダラダラ時間をかける人が多いので。

問 12 職場や地域活動の場において、女性の管理職や役員は男性に比べて少ないのが現状です。

このような決定の場に女性が少ない理由について、どのように思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(MA)

※回答数が多い順に記載しています。



その他回答

【女性】

- ・家庭のことなどで休むことの可能性が高いのが女性だから。
- ・社会全体キャリアパスがそもそもない。1~6全てが揃っても、キャリアパスが無ければ、なれないのでは？
- ・現在、上に立つ方が男性が占めるため。
- ・育休などで休職期間が影響。
- ・男女に関わらず、古い考えの老人が権限を握っているから。
- ・出産、育休取得により降格・減給させられる現状があるから。
- ・それが当たり前になっているから。
- ・女性がもっと学び、明確に男性の分野を超える事。
- ・そもそも管理職になれる職について割合が低いから。事務職、パートなど。
- ・その女性の方も男性がやれば良いという意識が高い。
- ・上に加えて女性がやりたいかが問題。

【その他】

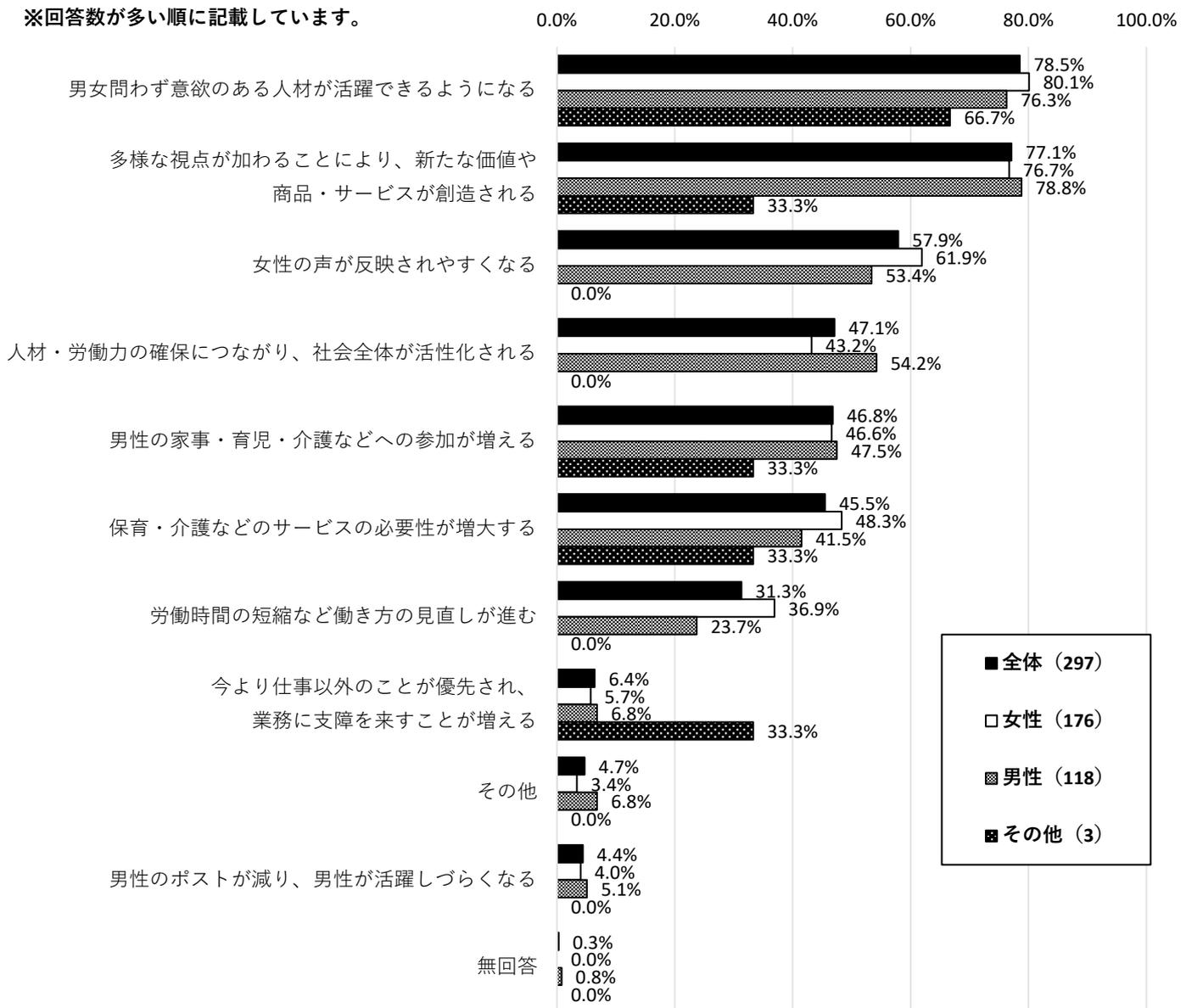
- ・現職場は女性管理職が多いです。職種によるのでは？

【男性】

- ・65才~45才までの方は、自分の時代は男社会だったから、女性には幹部が不適合との考えが少なからずあると思う。
- ・女性は結婚などで退社してしまう人が多いから。
- ・女性は...という固定観念。
- ・家事・育児などは女性の方が、積極的な面はある。ただし、男性の意識そのものが低いと言える。また、男性は仕事を言い訳にして逃げる傾向がある。社会は男性が言い訳しやすい様に成り立っている。
- ・少ないとは思わない。
- ・まだ問題として社会が十分に認識していない。
- ・経験上、女性はサポートをするのが好き・得意である人が多いと思う。自ら引っ張っていきたい人は、そうできる環境は既にあると思う。
- ・時期により気持ちの上下の動きが大きく周りに影響を及ぼすため。
- ・"管理職+役員"に人生の本質的な価値を見出していないから。
- ・女性の比率が少ない組織が変わらない男女比率で運営しているため。
- ・若い世代の時の研修や意識付けを行う必要がある。

問 13 あなたは、政治・経済・地域など各分野で女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのようになるとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（MA）

※回答数が多い順に記載しています。



その他回答

【女性】

- ・ムダな権力争いがなくなる。男性のプレッシャーが減り、DVやモラハラが減る。
- ・女性の収入が増え、消費も増える分、経済が活性化する。
- ・いいことばかりではないと思う。
- ・女性・男性の仕事の参加などと言っている事自体が世界の中で遅れている。

【男性】

- ・〇〇さん（国会議員）を見ているとがっかりする。
- ・争いが減る。
- ・長時間労働が当たり前の社会が改善し、テレワークなど多様な働き方が当たり前の世の中になる（なってほしい）。
- ・女尊男卑が進む可能性がある。
- ・幸せな女性が増えれば素敵である。
- ・母親と一緒に過ごす時間が少ない子どもが増える。
- ・旧態意識を持つ男性の妬み、ひがみの増。

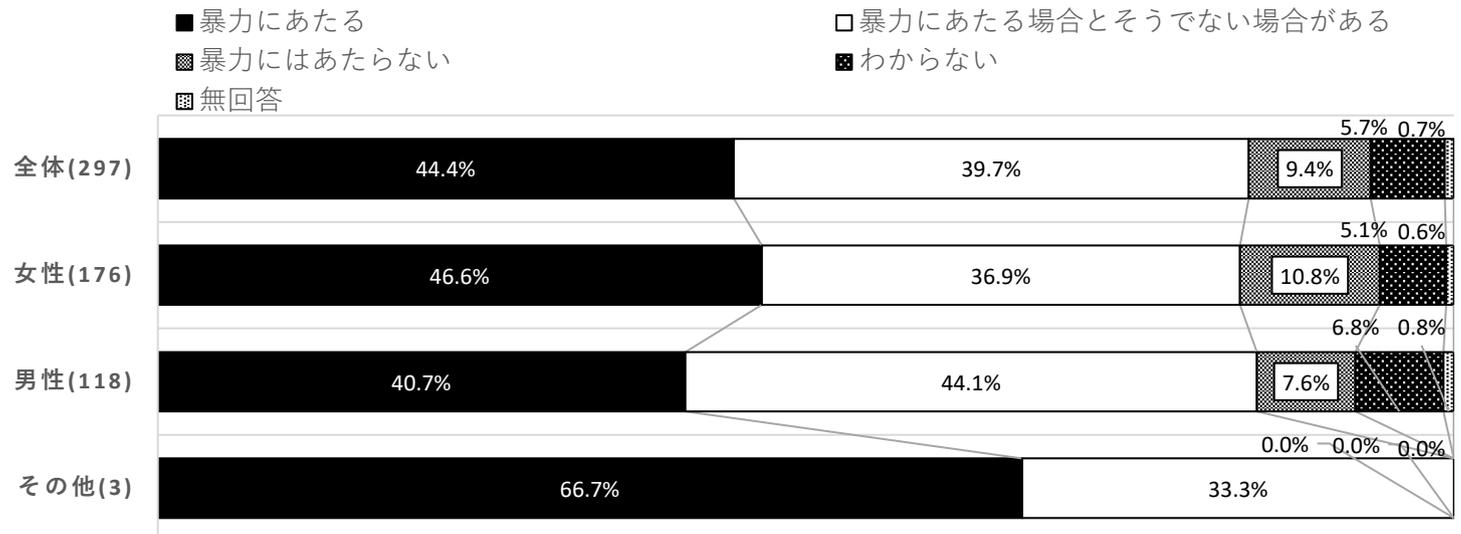
5 DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する意識について

問 14 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。（各SA）

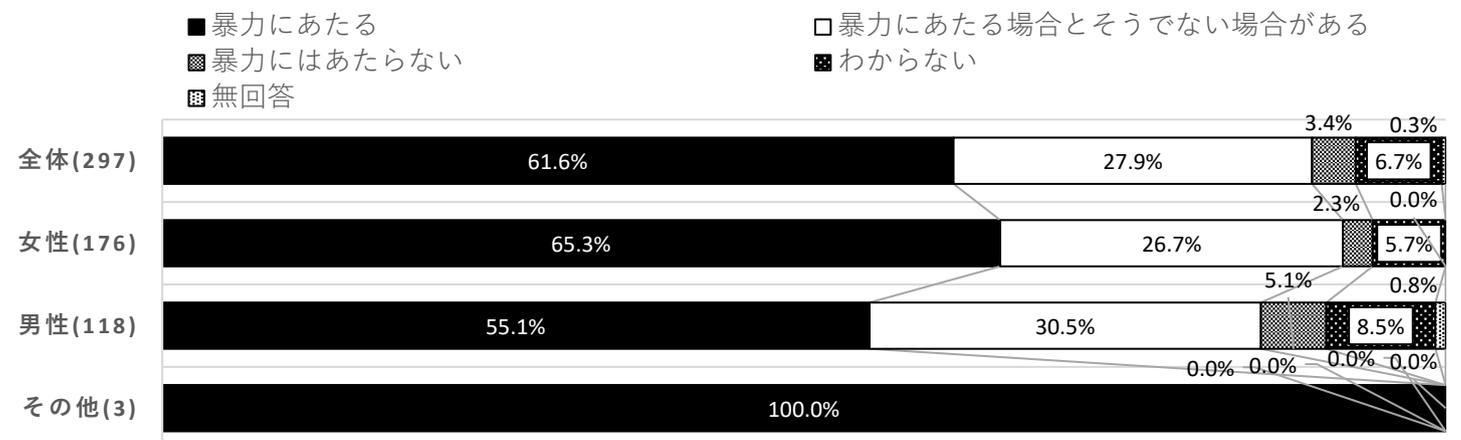
全ての項目において、「暴力にあたる」の割合が最も多く、次いで「暴力にあたる場合とそうでない場合がある」が続いている。

性別にみても、全体的な傾向と同様になっているが、女性より男性の方が、「わからない」の割合が多い傾向となっている。

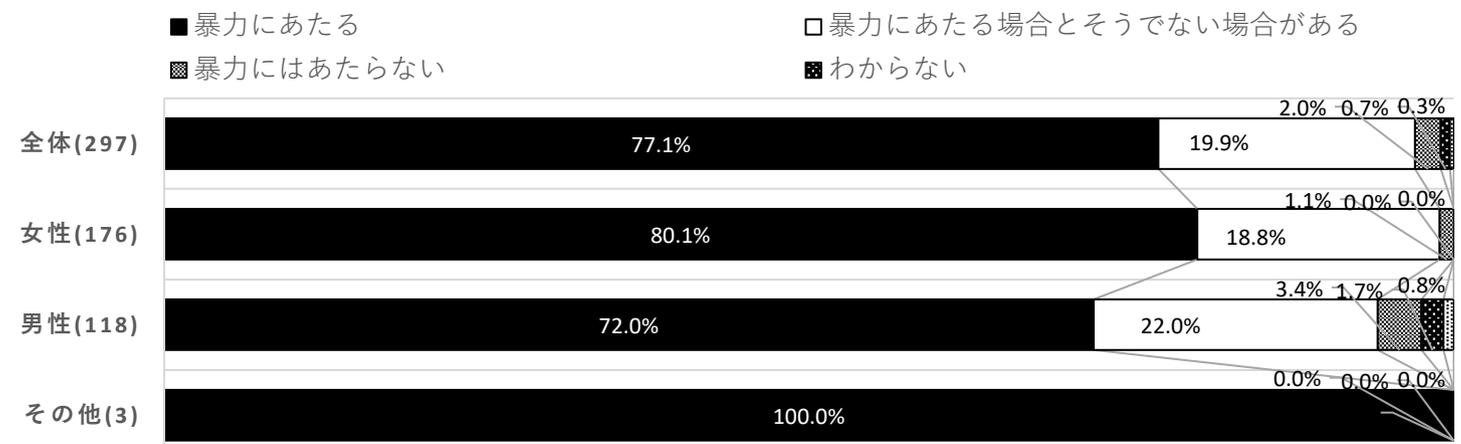
① 相手の交友関係や電話などを必要以上に監視する



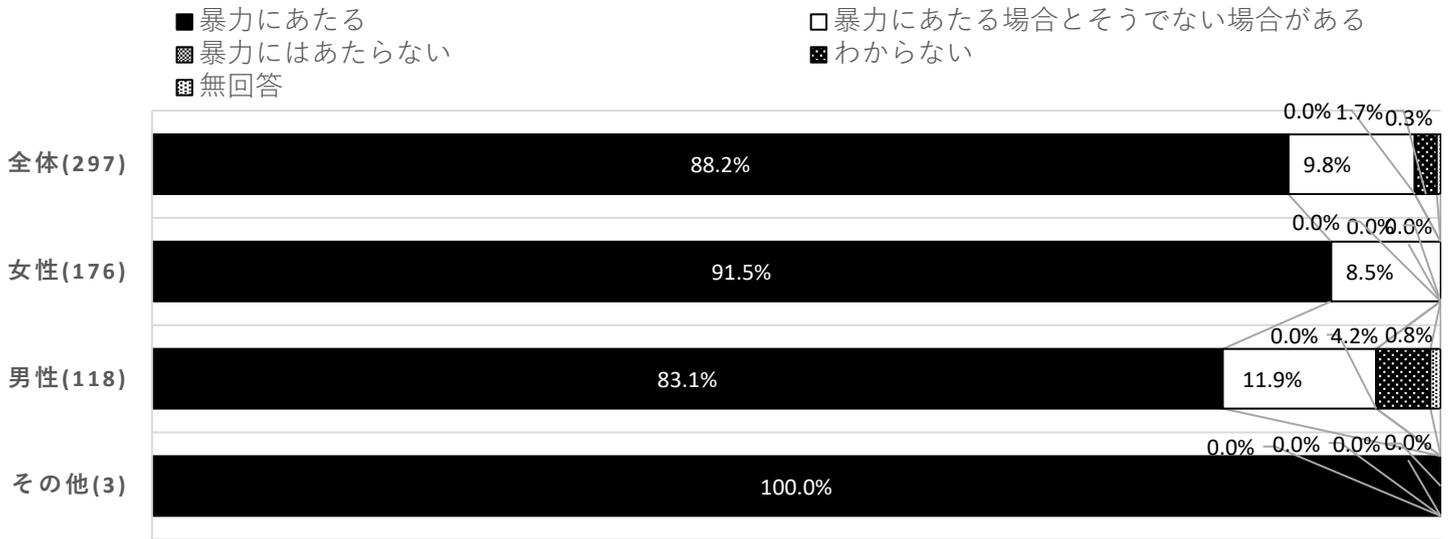
② 何を言っても無視を続ける



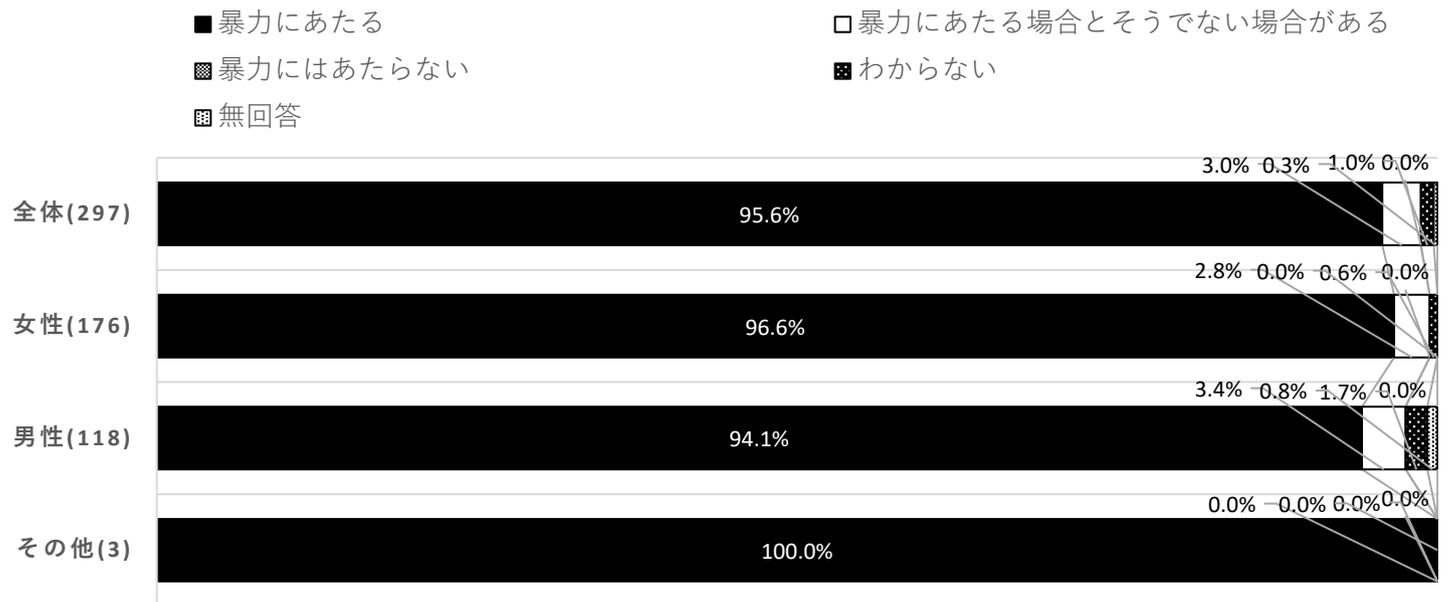
③ 大声でどなる



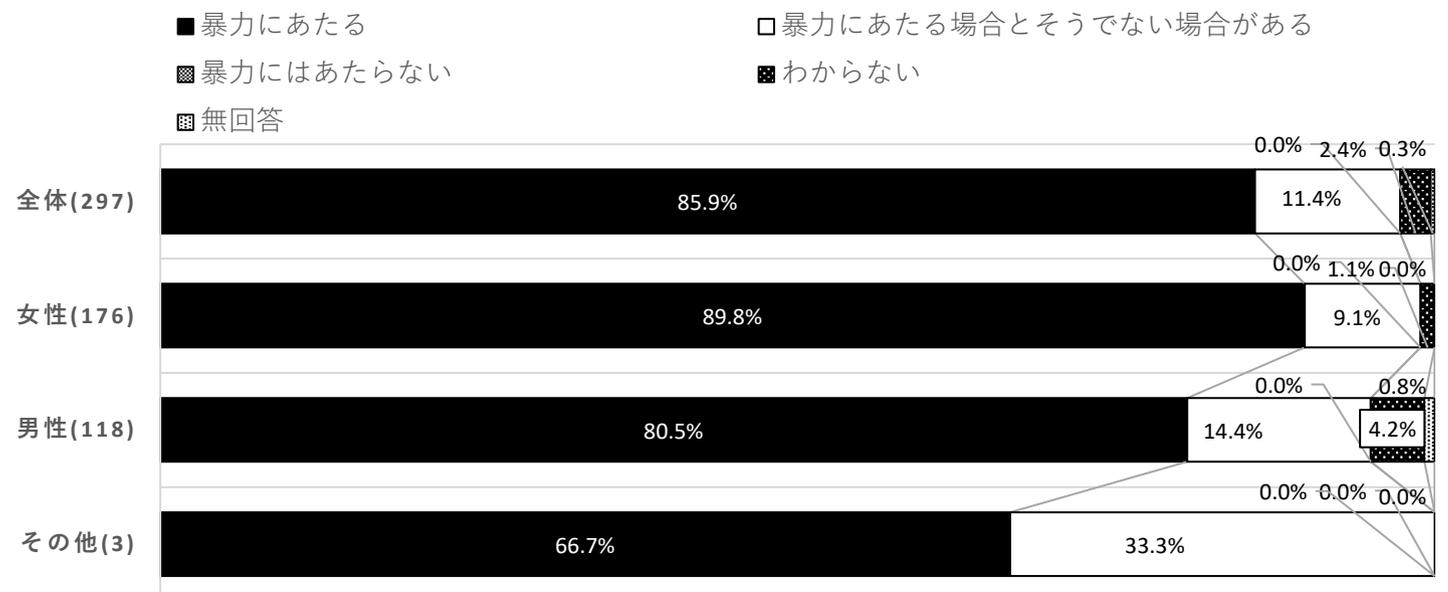
④ なぐるふりをして、おどす



⑤ 平手で打つ

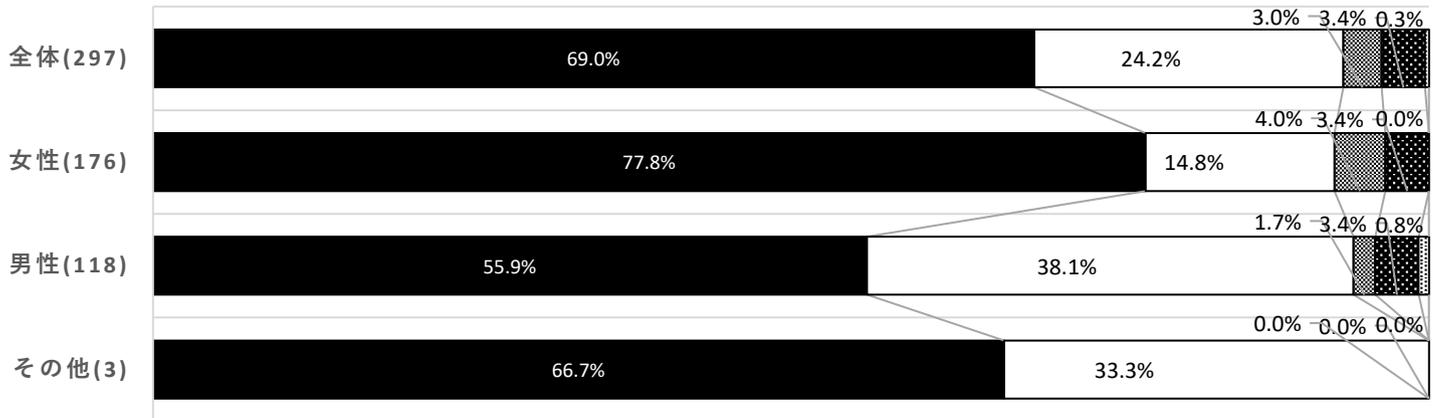


⑥ 性的な行為を強要する



⑦ 生活費を渡さない

■ 暴力にあたる
 □ 暴力にあたる場合とそうでない場合がある
 ▨ 暴力にはあたらない
 ▩ わからない
 ▩ 無回答



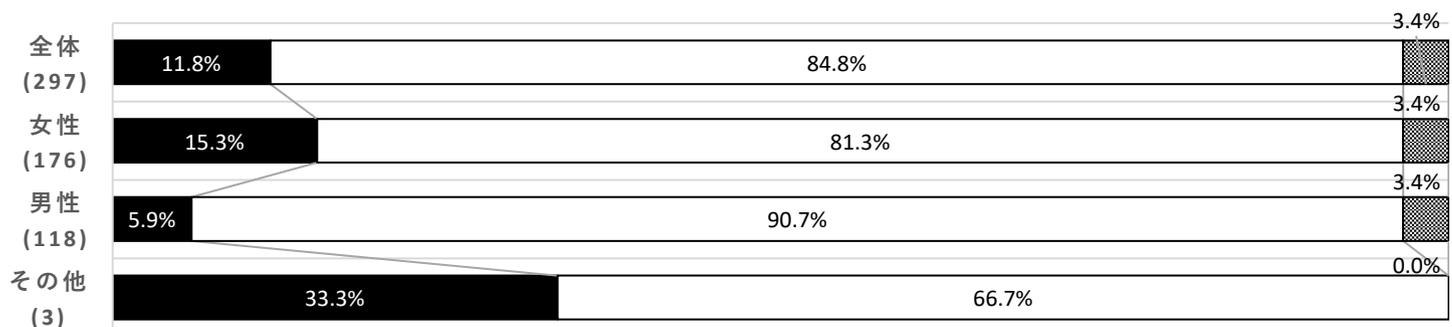
⑧ 外出を制限する

■ 暴力にあたる
 □ 暴力にあたる場合とそうでない場合がある
 ▨ 暴力にはあたらない
 ▩ わからない
 ▩ 無回答

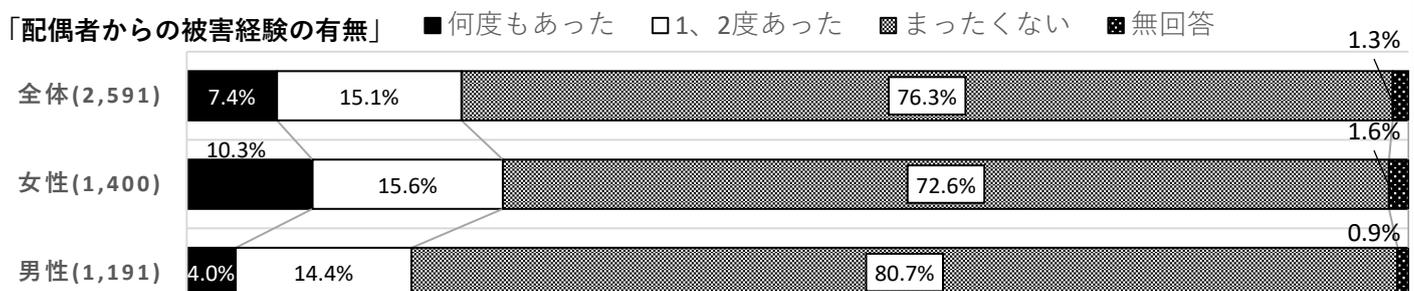


問15 問14の①から⑧のような(DV)行為を受けた経験はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

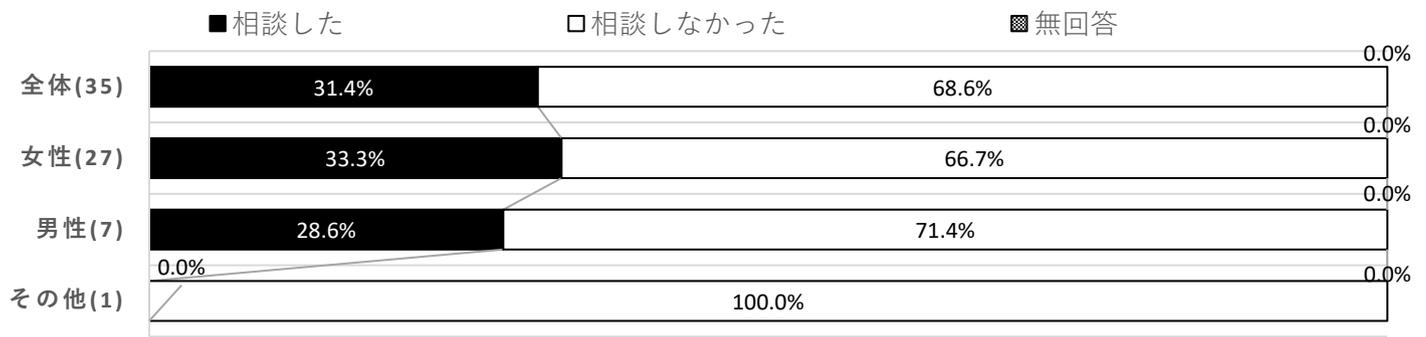
■ 経験がある
 □ 経験はない
 ▩ 無回答



【参考：内閣府「男女間における暴力に関する調査」(令和3年3月)】

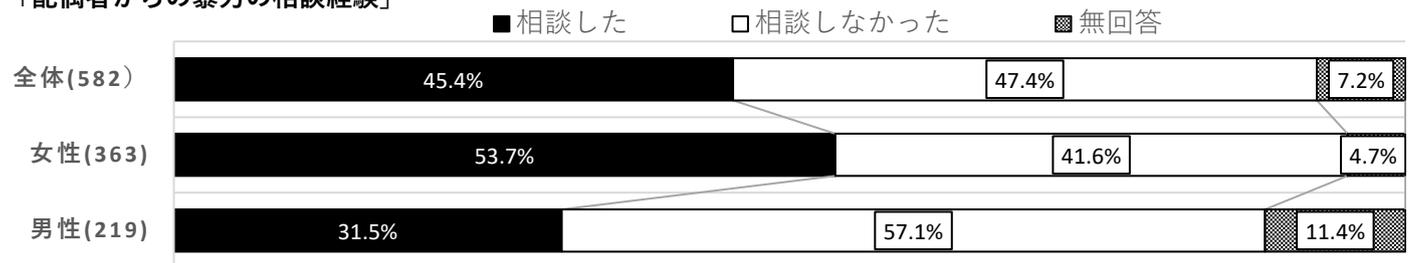


問 15-1 問14の①から⑧のような（DV）行為を受けたことをだれ（どこ）かに相談しましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。（SA）



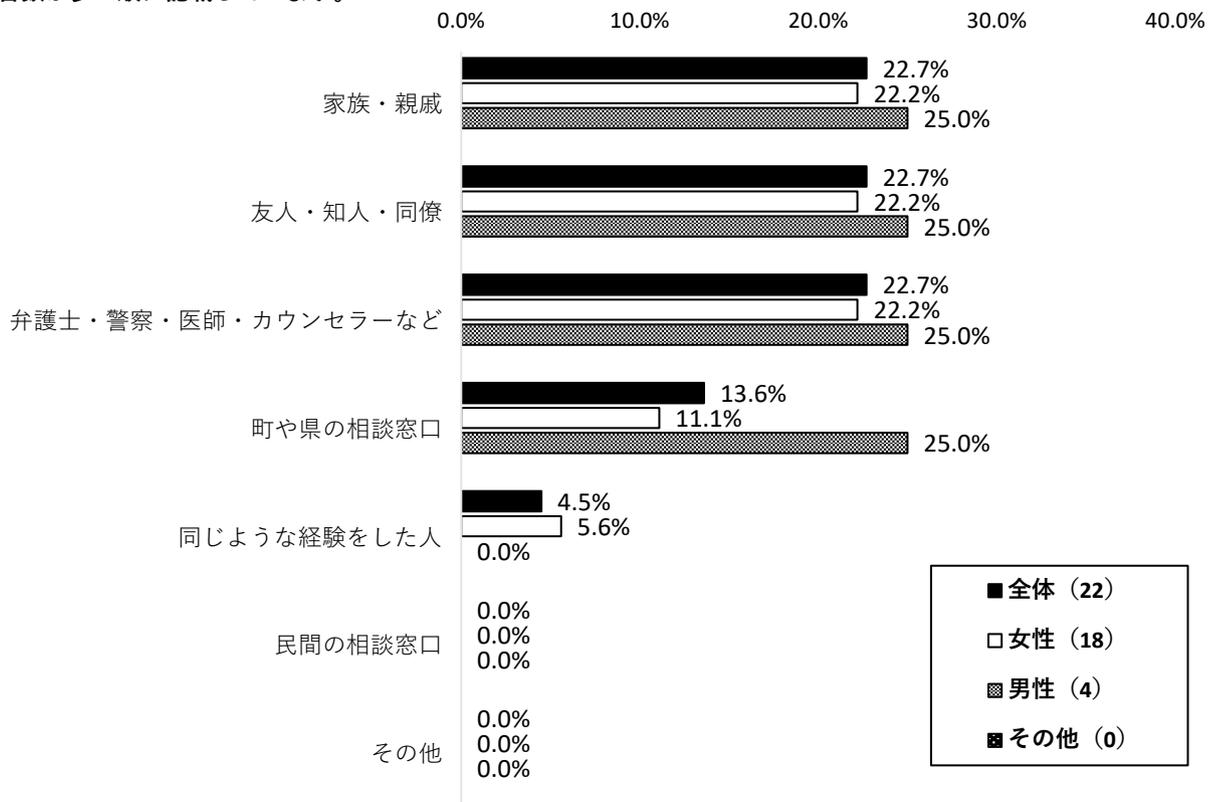
【参考：内閣府「男女間における暴力に関する調査」（令和3年3月）】

「配偶者からの暴力の相談経験」



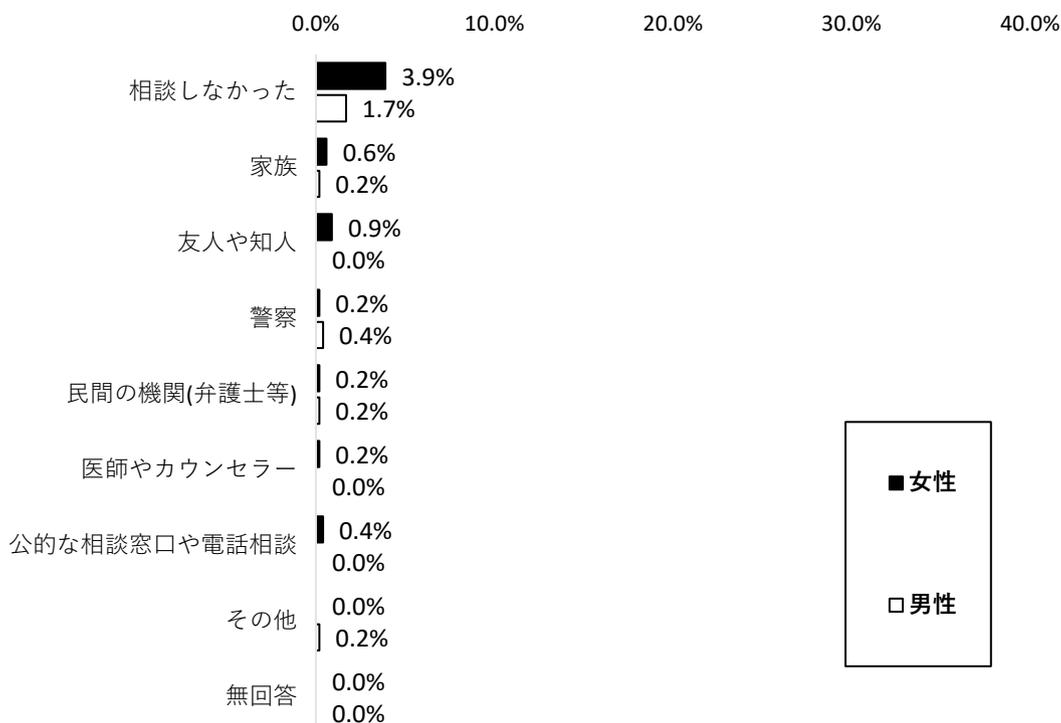
問 15-2 問14の①から⑧のような行為を受けたことをだれ（どこ）に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（MA）

※回答数が多い順に記載しています。



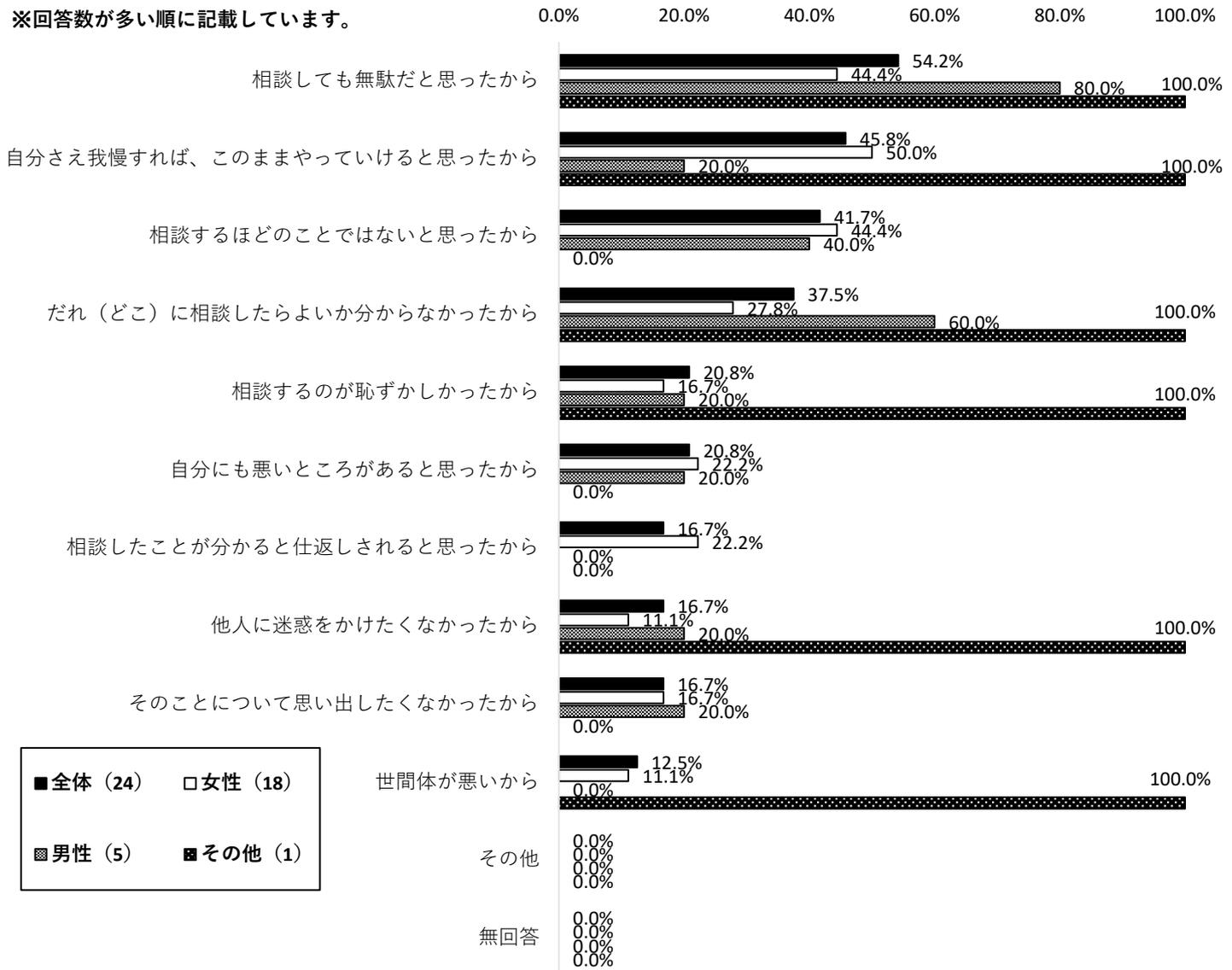
【参考：経年比較（平成23年度実施調査）】

「暴力被害を受けた際の対応（※暴力被害を受けた方のみ）」



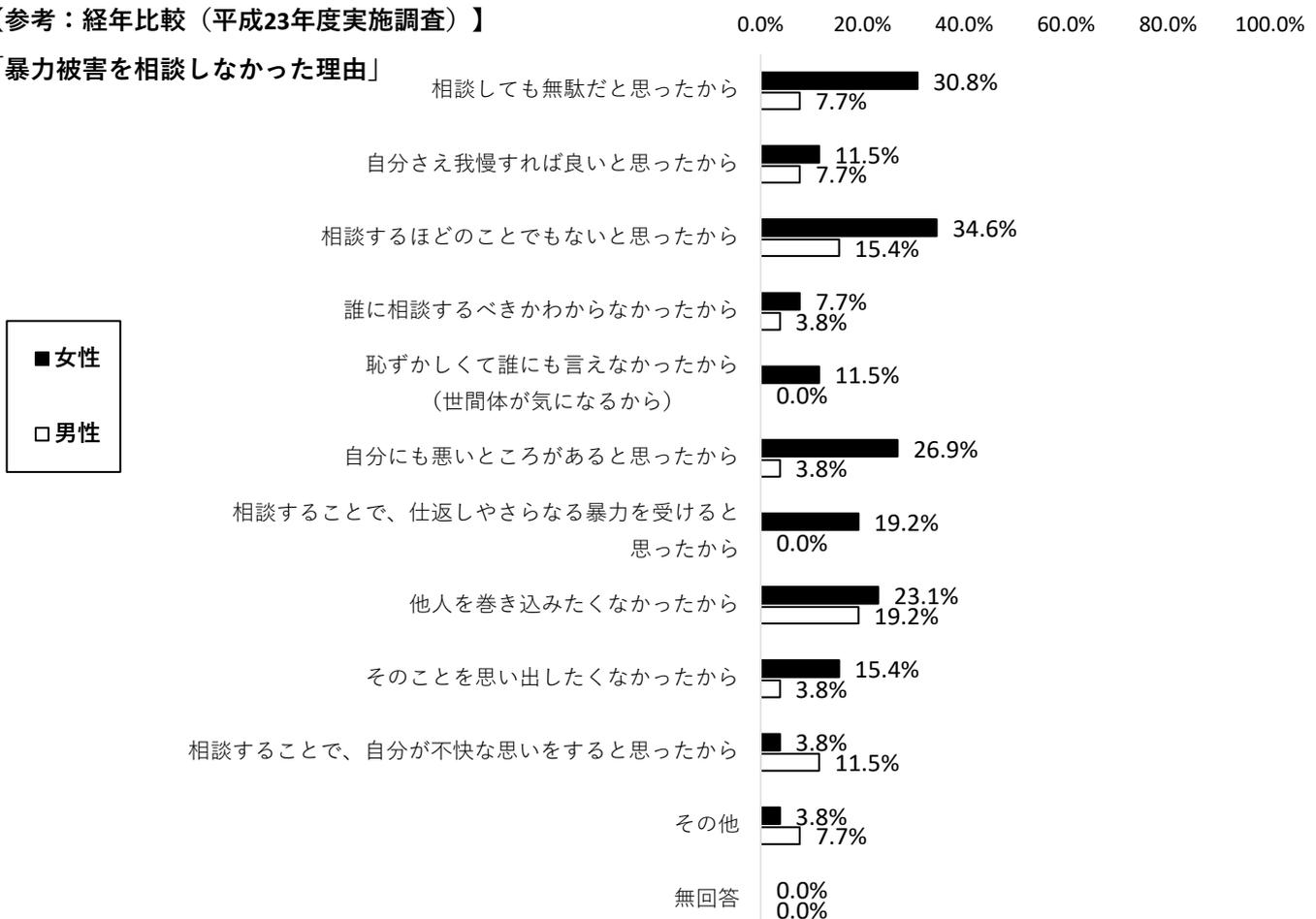
問 16 相談しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(MA)

※回答数が多い順に記載しています。



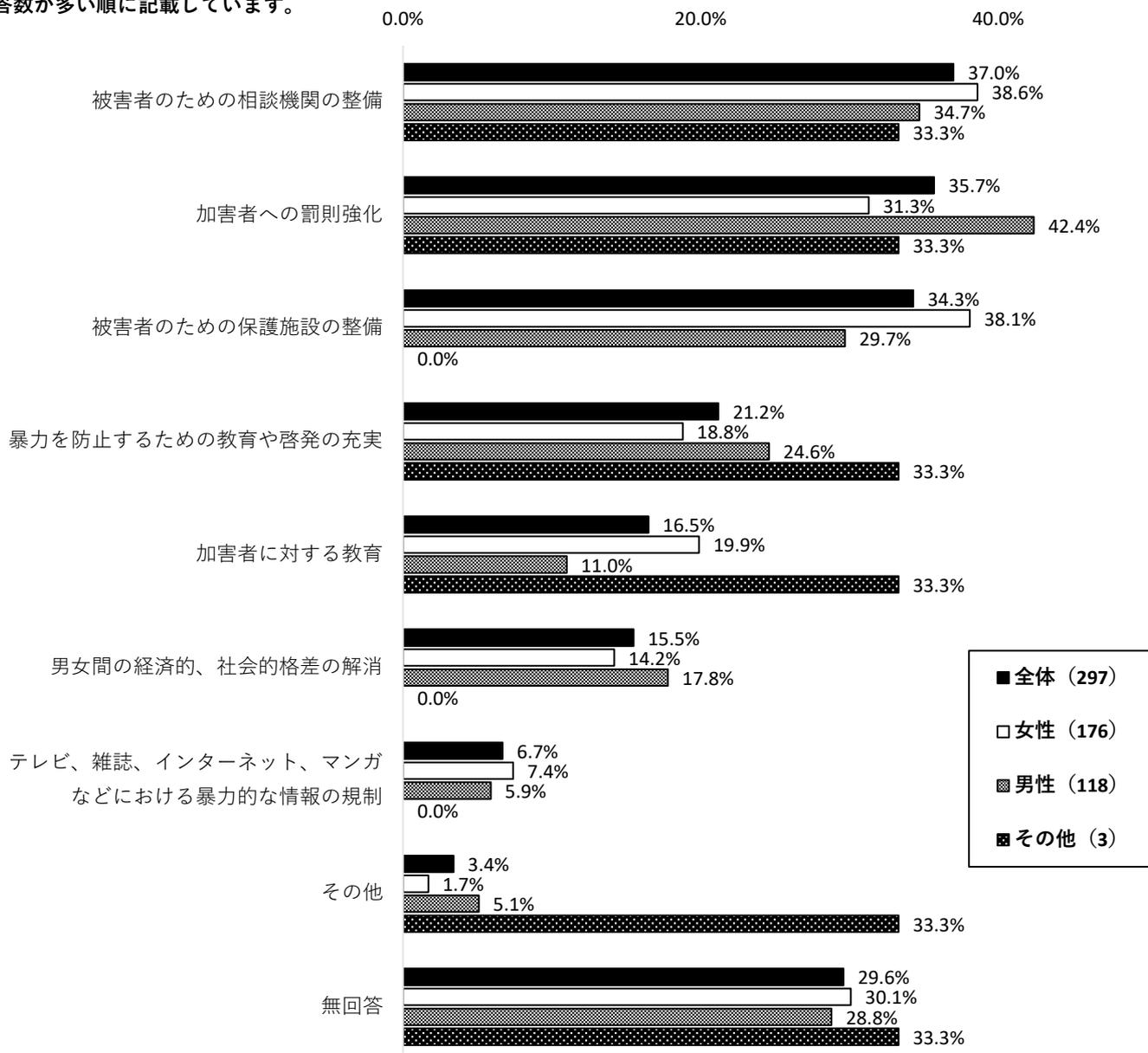
【参考：経年比較（平成23年度実施調査）】

「暴力被害を相談しなかった理由」



問 17 DVの被害をなくすためにどのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近い番号2つに○をつけてください。(MA)

※回答数が多い順に記載しています。



その他回答

【男性】

- ・相談を受けた側が記録化と第三者関与の徹底。
- ・警察の親身になった初動。
- ・心のケアを聞いてみる。
- ・社会にある問題として提起して状況を改善できるということ、方法があることを訴え続けることは必要。
- ・罰則の一環として、加害者に対する教育（強制力がある）が必要。
- ・とにかく離れること。

【女性】

- ・被害者に対する教育。
- ・幼少期から教育。

【その他】

- ・別になるための仕組み。とにかく別れることが必要。別にする施設等。

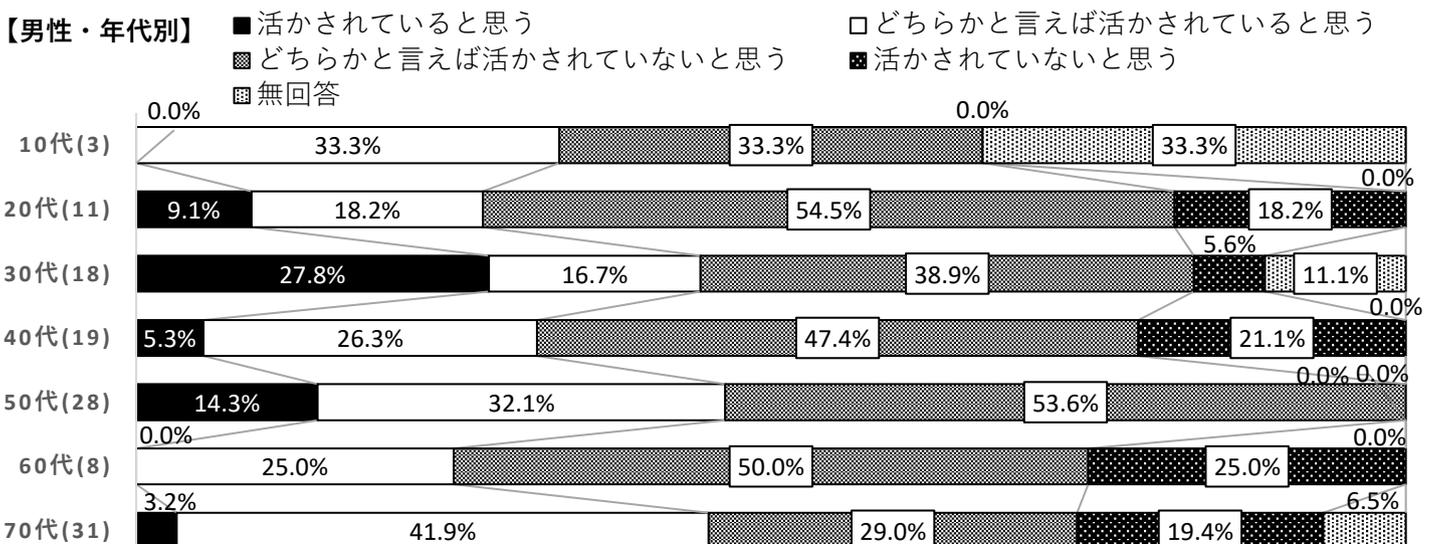
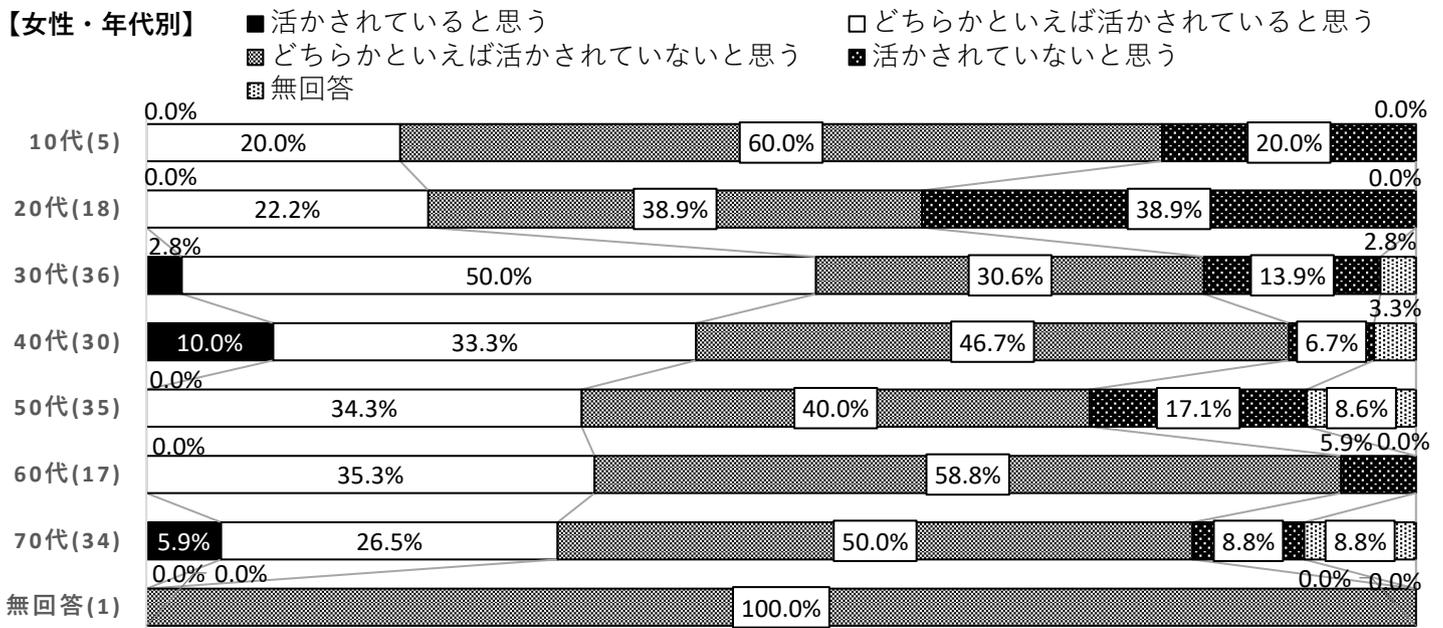
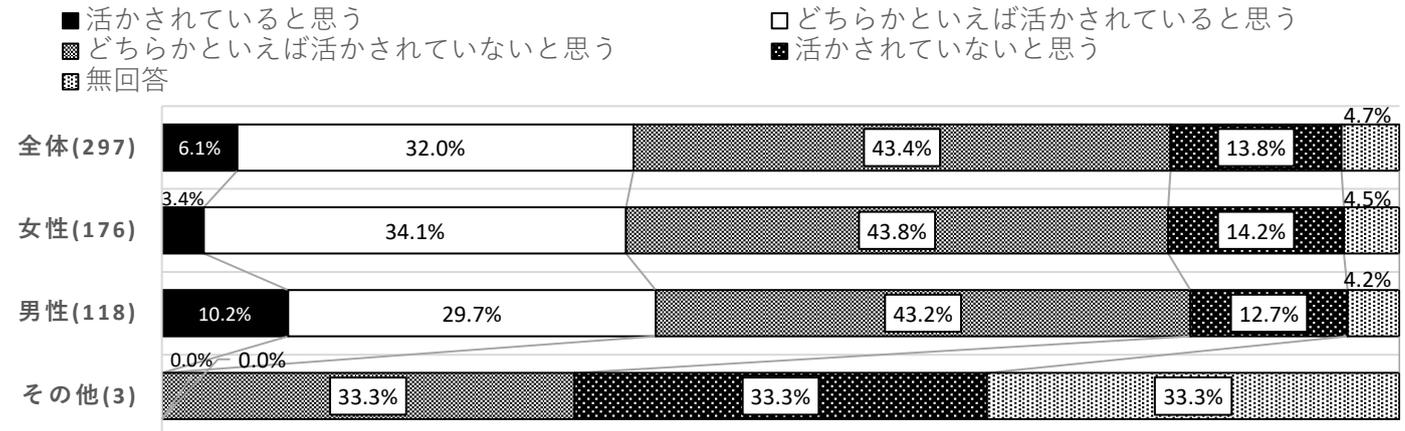
6 防災に関する意識について

問 18 災害はいつ私たちの身にふりかかるかわかりません。あなたは、防災（災害復興も含む）活動※に関して、女性の視点が活かされていると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※「物資の備蓄、防災訓練、避難所の運営計画などの防災対策」（各SA）

防災活動に女性の視点が”活かされている”（「活かされていると思う」「どちらかといえば活かされていると思う」）は38.1%であり、”活かされていない”（「活かされていない」「どちらかといえば活かされていないと思う」）が57.2%と19.1ポイント上回っている。

性別にみても、全体的な傾向と同様となっている。

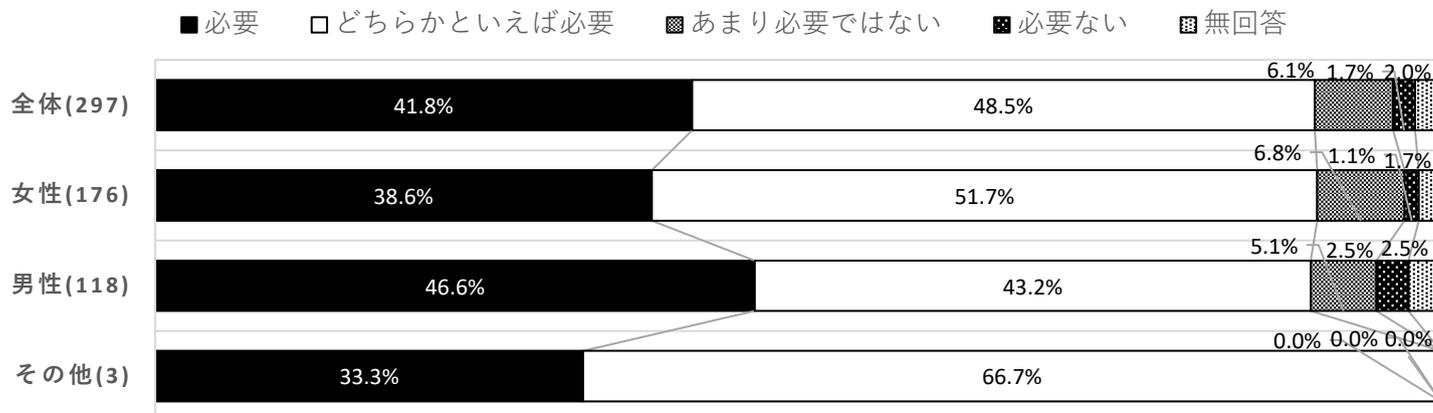


問 19 あなたは、防災（災害復興も含む）活動に関して女性の視点を活かしていくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。（各S A）

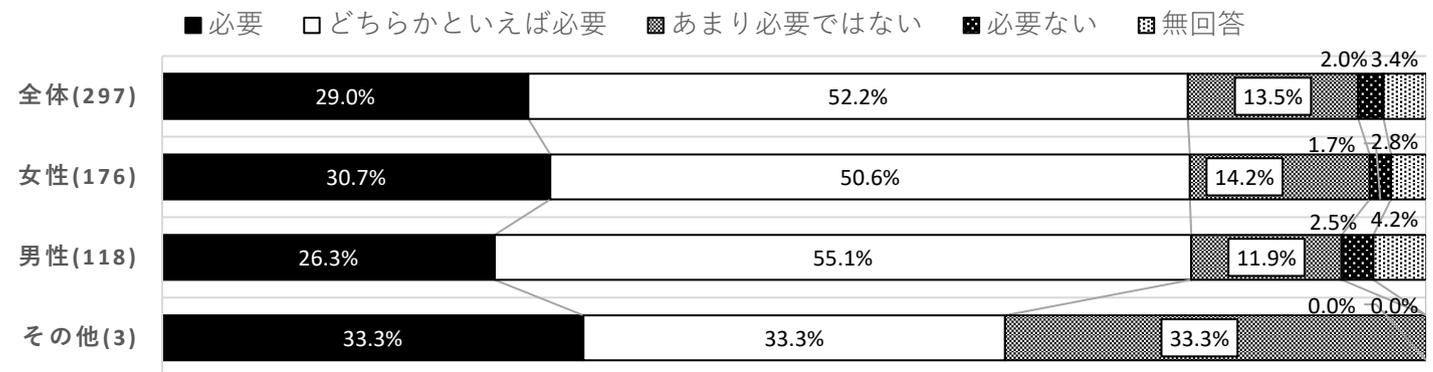
全ての項目において、“必要”（「必要」「どちらかといえば必要」）が、“不要”（「必要ない」「あまり必要ではない」）が上回っている。

性別にみると、女性の“必要”の割合が高い傾向にあるが、「②母親教室、乳幼児教室、PTA活動など、女性が多く集まる団体への研修・訓練」「④女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進」については、男性の割合が上回っている。

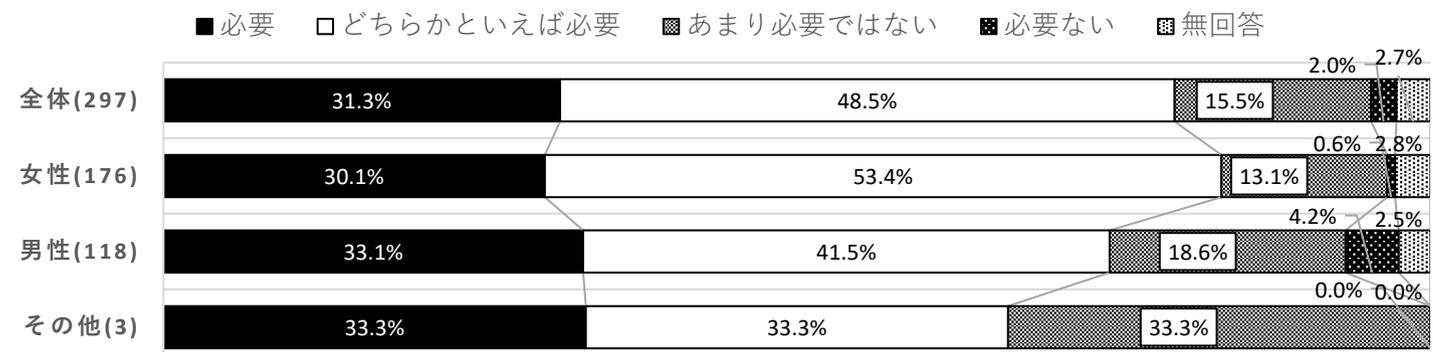
① 防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加



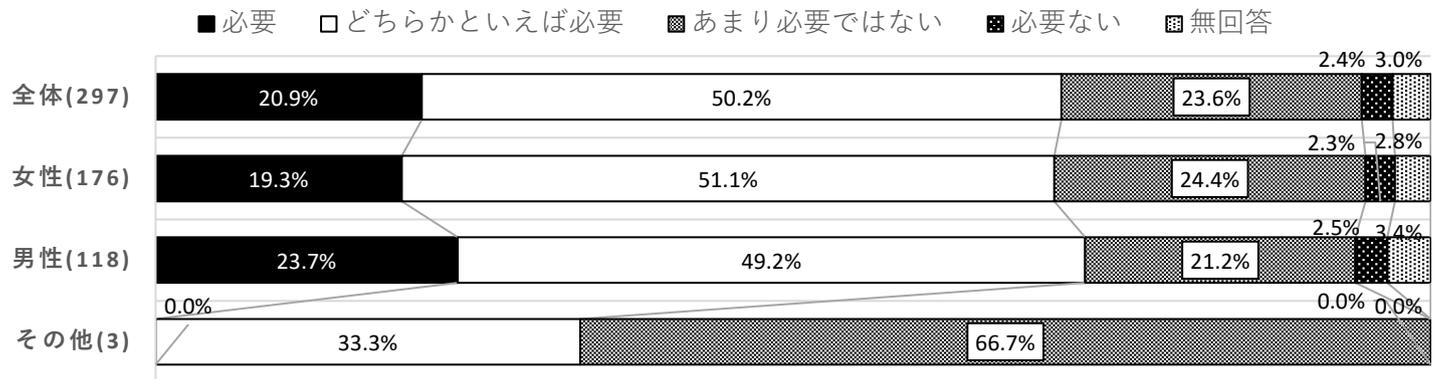
② 母親教室、乳幼児教室、PTA活動など、女性が多く集まる団体への研修・訓練



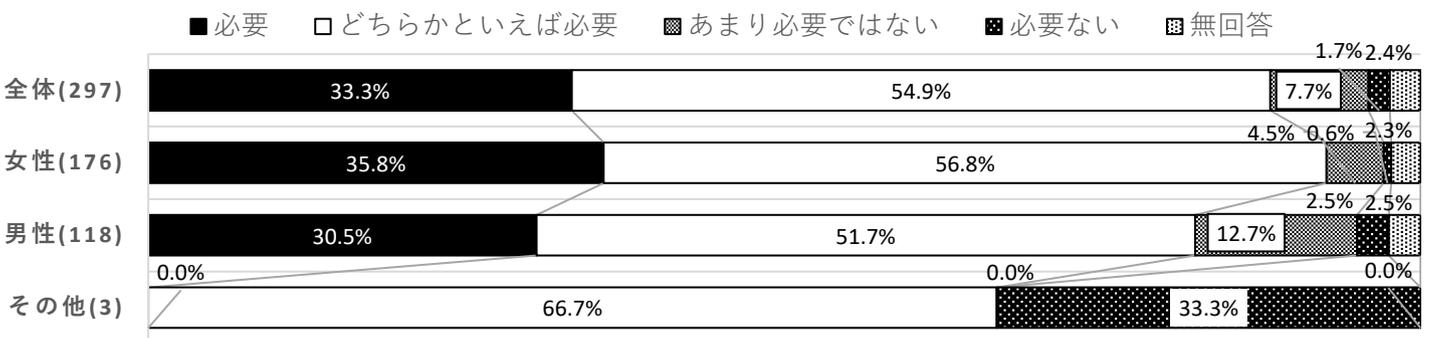
③ 女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用



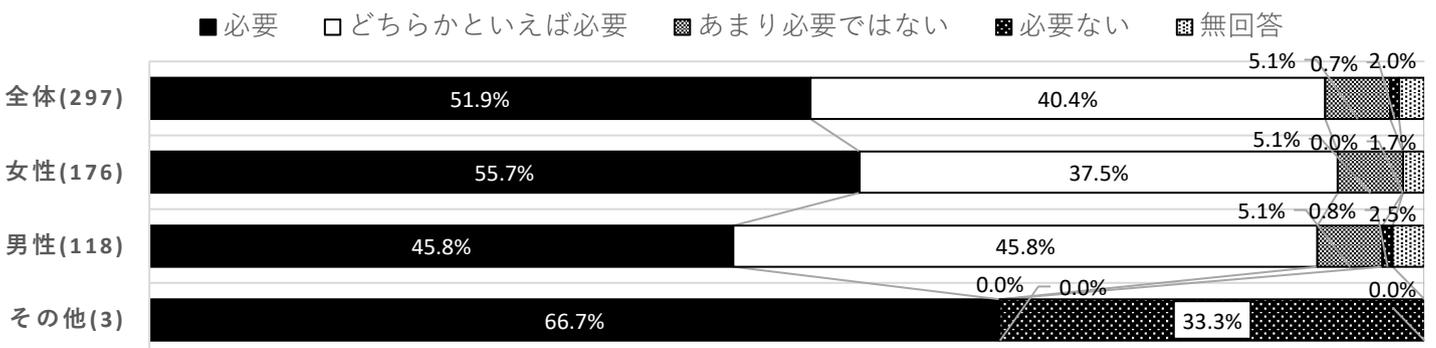
④ 女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進



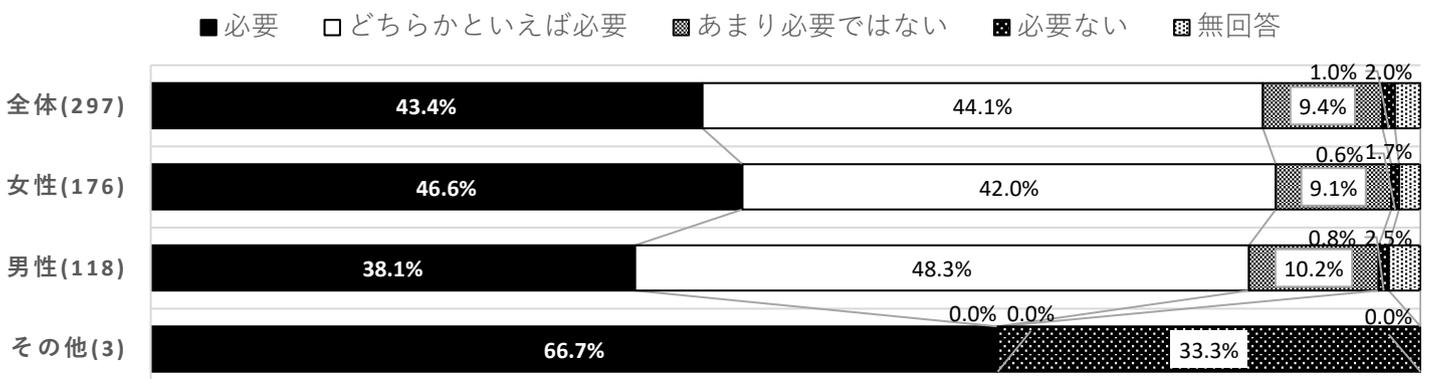
⑤ 災害時ボランティア登録など多様な人材の確保



⑥ 男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルの充実



⑦ 避難所運営の際の女性リーダーの配置

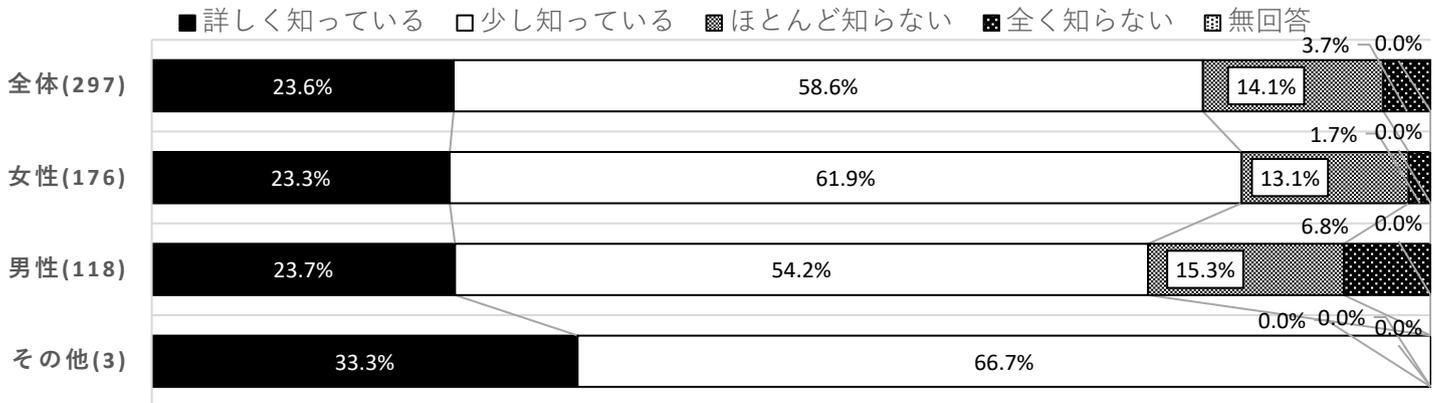


7 「性の多様性」について

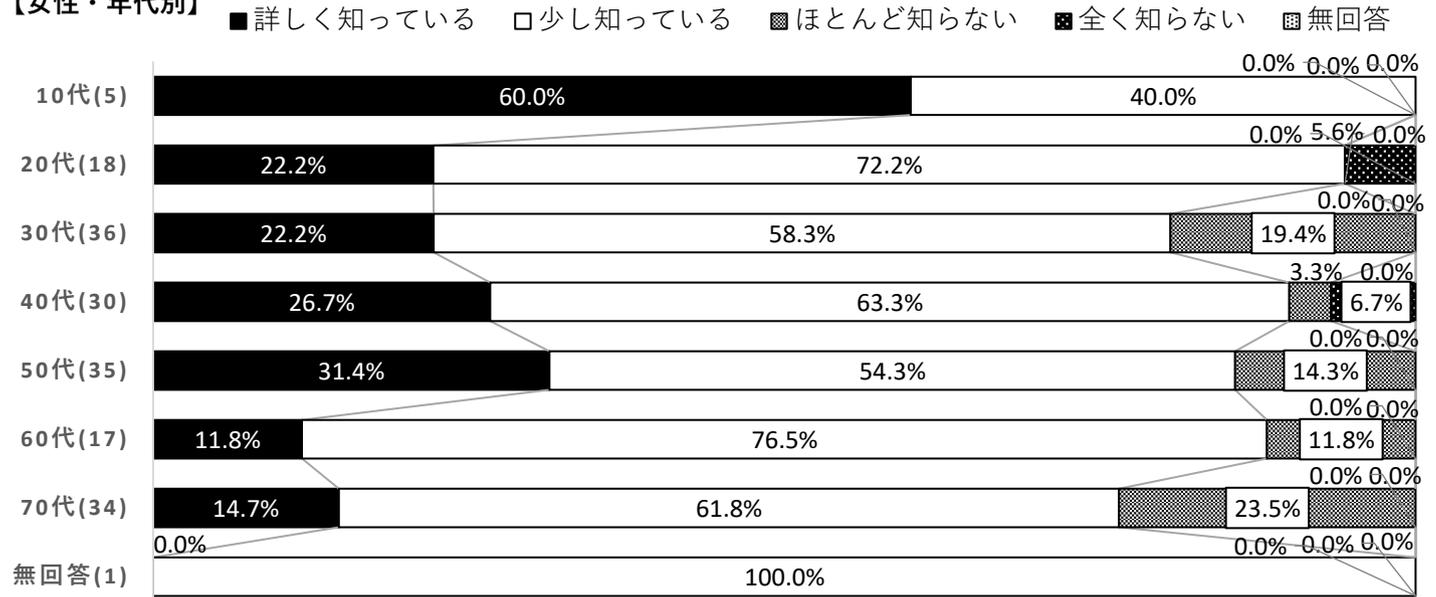
問 20 あなたは、セクシュアル・マイノリティ（LGBTなど）という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（SA）

「少し知っている」が58.6%と最も多く、次いで「詳しく知っている」が23.6%となり、「セクシュアル・マイノリティ」という言葉を知っているとの割合は全体の82.2%となっている。

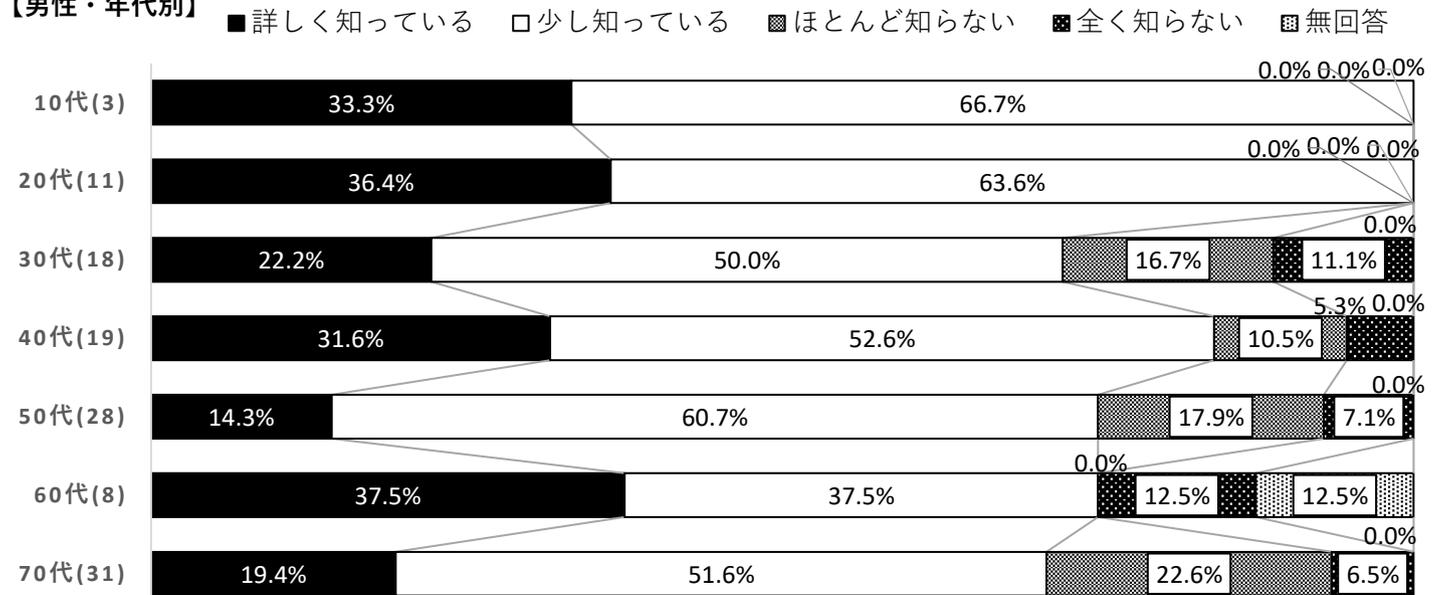
性別にみても、全体の傾向と同様となっている。



【女性・年代別】



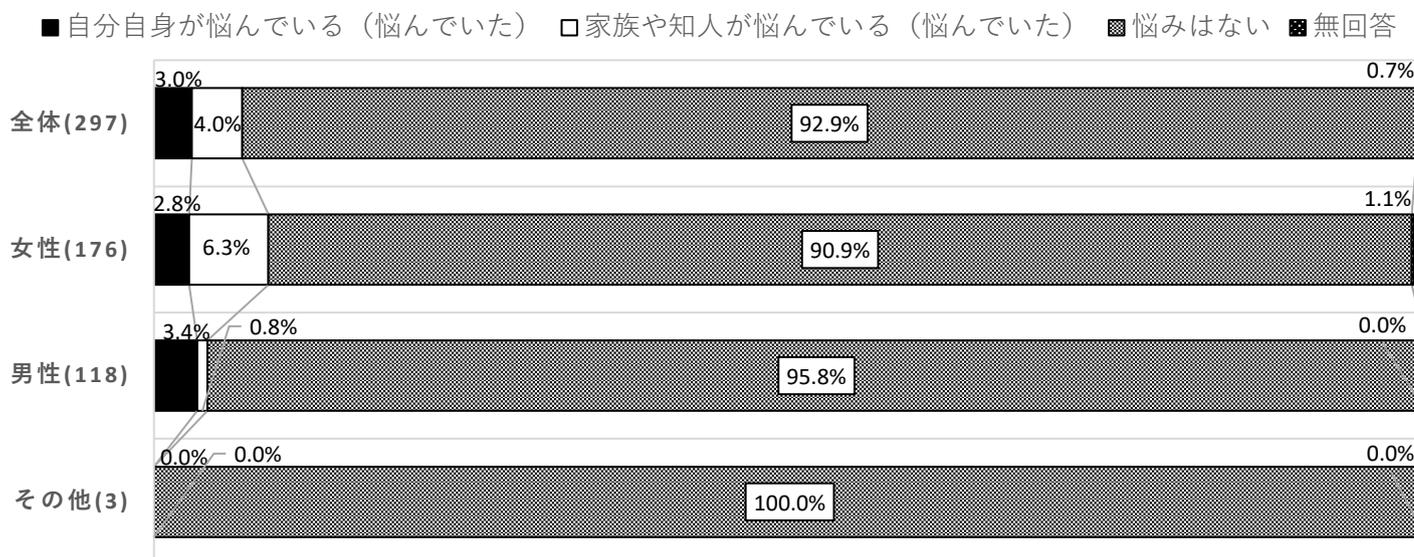
【男性・年代別】



問 21 あなたは、今までに自分の身体の性、心の性または性的指向に悩んだことはありますか。または、身近に悩んでいる人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（MA）

「自分自身が悩んでいる（悩んでいた）」「家族や知人が悩んでいる（悩んでいた）」が7%、「悩みはない」が92.9%となっている。

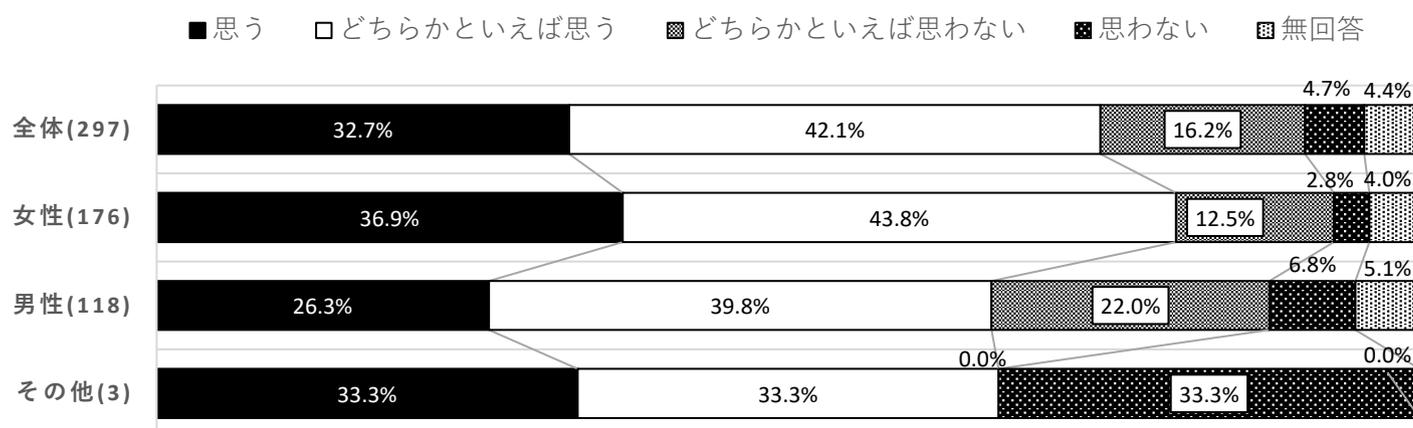
性別にみても、全体の傾向と同様となっている。



問 22 セクシュアル・マイノリティ（LGBTなど）の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などにより、生活しづらいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（SA）

「どちらかといえば思う」が42.1%と最も多く、次いで「思う」が32.7%と、「思う」の割合は74.8%となっている。

性別にみると、女性の「思う」の割合は80.7%となり、男性の割合を14.6ポイント上回っている。

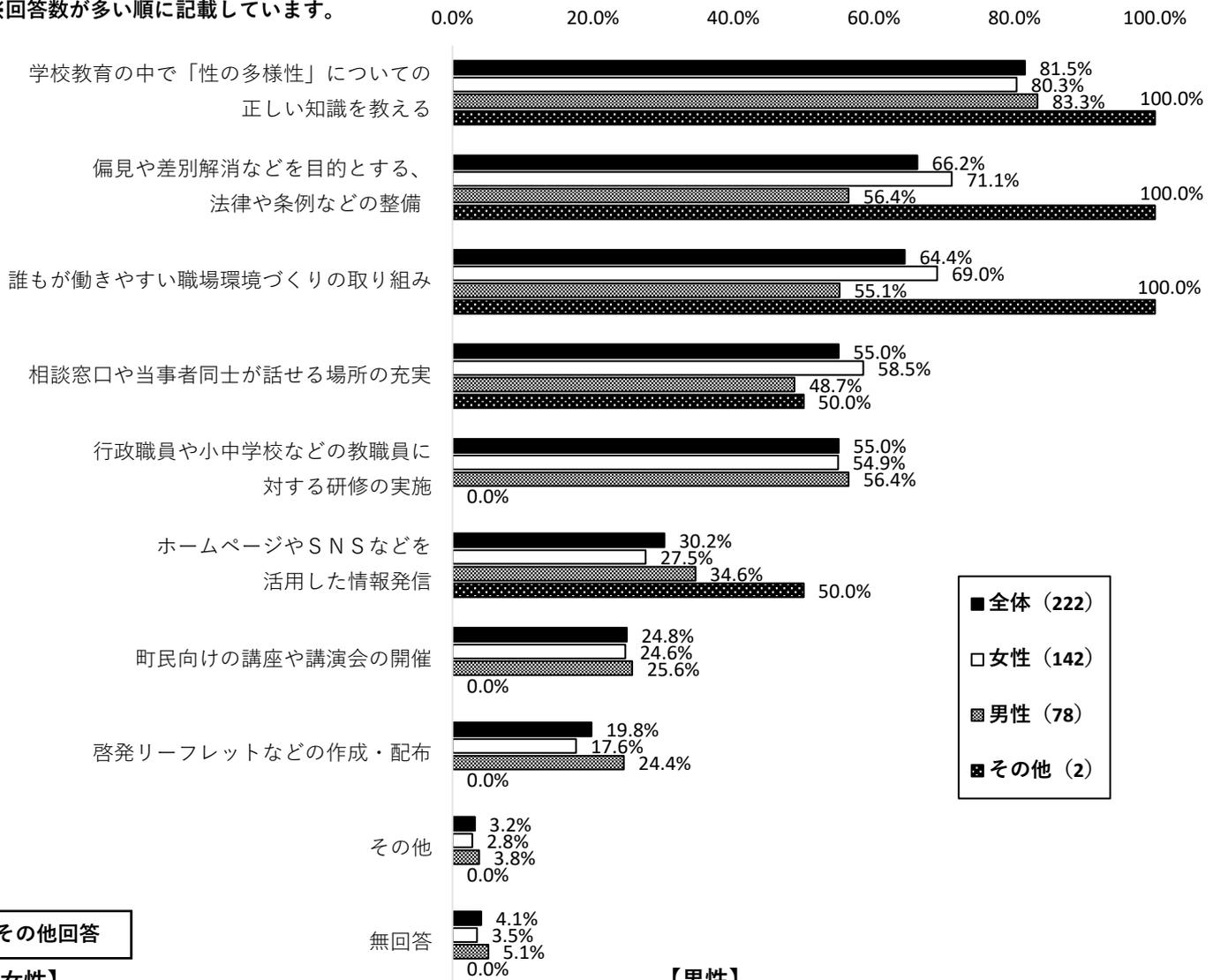


(問22で「思う」「どちらかといえば思う」を選択した方にお聞きします)

問 22-1 あなたは、セクシュアル・マイノリティ（LGBTなど）の方々や、性の多様性に対する理解の促進や支援のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(MA)

※回答数が多い順に記載しています。



その他回答

【女性】

- ・結婚の自由を認めるべきです。元々持っている人間の権利なので。法律が差別的だから、ずっと差別的な考えが消えないのです。
- ・家庭での教育、公的刊行物など、すべてのメディアにおける表現。(男と女しか存在しないような表現にならないように)
- ・実体を知らない。

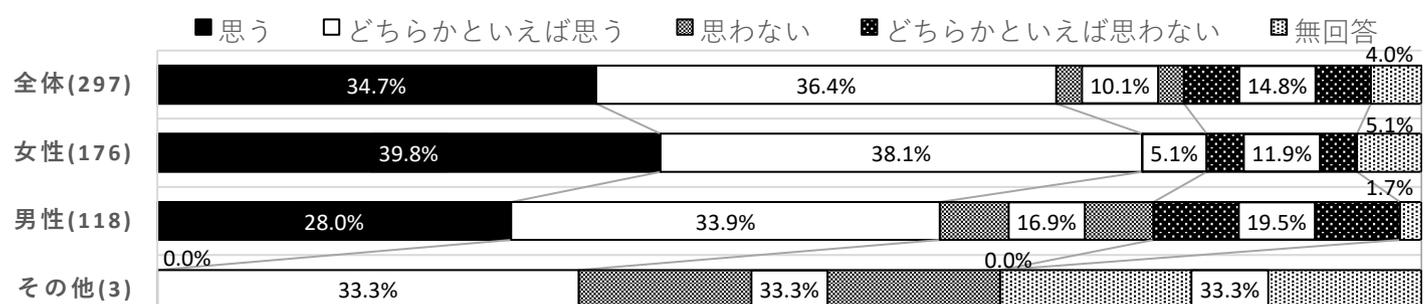
【男性】

- ・理解や支援は必要ない。
- ・差別をした企業への罰則強化。
- ・あまり大袈裟過ぎるのも生きづらいと聞いたことがある。

問 23 現在、「パートナーシップ宣誓制度」を導入している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

「どちらかといえば思う」が36.4%と最も多く、次いで「思う」が34.7%となっており、全体の71.1%が”思う”と回答している。

性別にみると、女性の”思う”の割合が77.9%と、男性の割合を16ポイント上回っている。

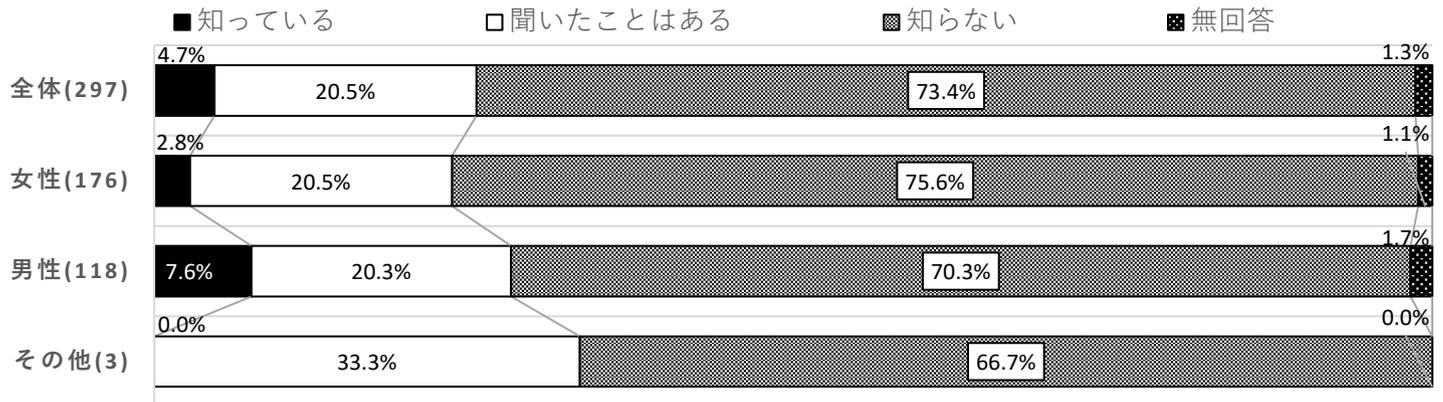


8 男女共同参画に関する取組について

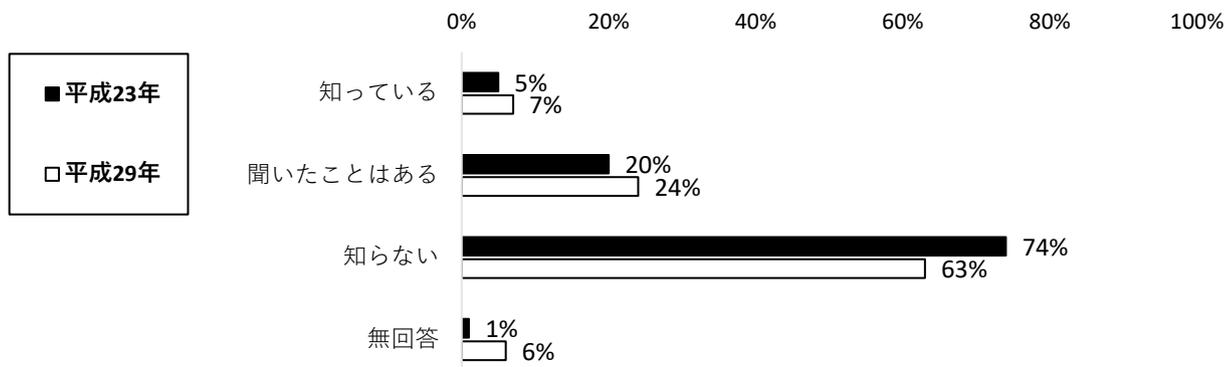
問 24 あなたは、二宮町の実施している男女共同参画に関する各種取り組み（例：講演会（フォーラム）の実施、男女共同参画について学べる図書の紹介など）についてご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（SA）

「知っている」は4.7%、「聞いたことはある」は20.5%となり、町の取り組みについて「知っている、聞いたことはある」は全体の25.2%となっている。

性別にみると、女性より、男性の割合が4.6ポイント上回っている。

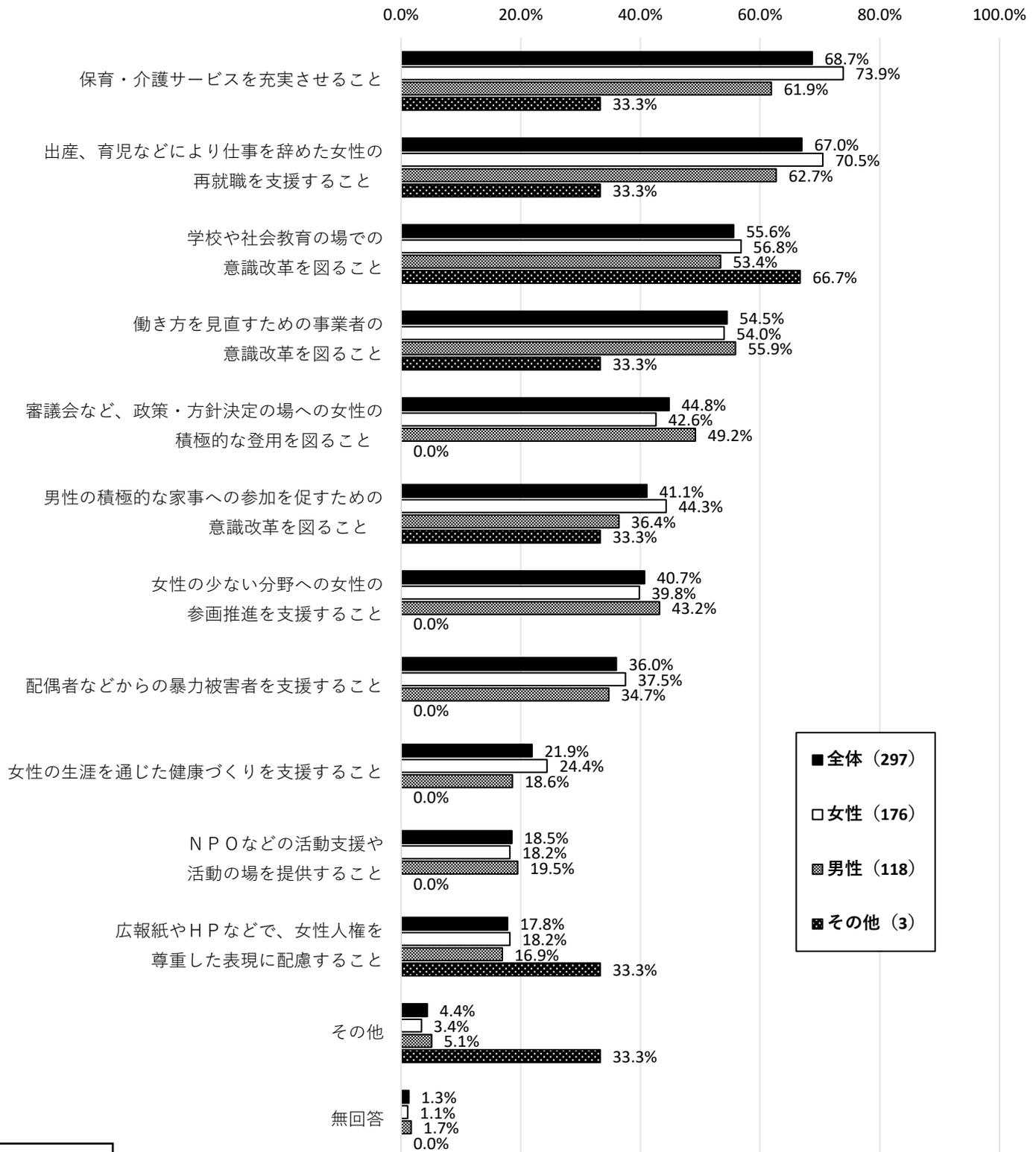


【参考：経年比較（平成23年実施調査・平成29年実施調査）】



問 25 あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（MA）

※回答数が多い順に記載しています。



その他の回答

【男性】

- ・ 偏見を無くした見識を作る、環境を作ること。
- ・ 女性を女性をと強調することは男性への逆差別になることもある。
- ・ そもそも役割が違うので無理に進める必要がない。
- ・ ケースバイケース。柔軟な対応が必要。
- ・ 選択的夫婦別姓制度の設立。
- ・ "パパ友の会"みたいなことが一切ない。大磯にはイクメン講座があった。

【女性】

- ・ 法律を正すべき。人権をきちんと法律が守ること。それが最初になされるべきだと思います。
- ・ 最初から性別を考えたものごとを進めていかないこと。
- ・ 町が何に取り組んでいるか知らない。
- ・ もっと二宮以外の進んだ市町村で正しい知識を学び、理性のある方々で話し合わなければ意味がない。

【その他】

- ・ 働き方の質の見直し。働く女性の意識改革。効率的な働き方の教養。

問23 【自由記述】（現在、「パートナーシップ宣誓制度」を導入している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。） 選択理由やご意見などがありましたらご記入ください。（F A）

【自由記述】 選択理由やご意見など	
1. 思う	
1	子どもを産む、育てる、家庭をつくるだけが「結婚」ではないと思うから。好きな人と一緒に支え合える、それを認める環境があることで救われる人もたくさんいると思う。（女性・20代）
2	全国の自治体で導入した方がよいと思う。（女性・20代）
3	ただでさえ、生活のしにくい社会だと思うので、この制度を導入している自治体があるだけで、救われる人々もたくさん出てくると思うので。（女性・20代）
4	他人に迷惑のかからない愛であれば受け入れられるべき。（男性・20代）
5	血のつながりや、婚姻関係がなければ、大切な人に何かあったとき、他人に分類されてしまうのはとても悲しいことだと思います。この制度によって少しでも改善できればと思うので、必要だと思います。（女性・20代）
6	各人の幸せを大切にするのは当然。むしろ導入しないことは、人権侵害に当たると考える。（女性・20代）
7	制度が導入されると、周囲に周知されると共に多様性社会の実現にもなるから。（男性・30代）
8	お互いがパートナーとして認め合うのであれば、それを社会がサポートするのは必要なことだという理解です。里親になっていただくなど、不幸な子どもたちを支援いただくなど、可能であればそのような社会的広がりにつながるとよりよい社会になるのでは？と考えています。（男性・30代）
9	本来は、憲法が結婚の自由を万人に認めるべきです。ですので、憲法が間違っている間は自治体はその欠点を補完するべきです。そういう理由で「①思う」ですし、これは議論の余地は本来は無いはずです。どの自治体も早く決断してほしいです。（女性・30代）
10	パートナーシップ宣誓制度に留まらず、同性でも法律婚ができるように制度を変えていくべきだと思います。（男性・30代）
11	認めない理由が理解できない。（女性・30代）
12	本人たちの意向を認めない理由はない。生活に不都合が生じることは改善が必要でしょう。（男性・30代）
13	どこに住むのも平等に選ぶ権利がある。自分、その人が好きになった「人」だから。ただそれだけ。そういう人たちの里親制度も必要。（女性・40代）
14	必要としている人がいるなら導入してほしい。（女性・40代）
15	何かあった時に活用できるから。（女性・40代）
16	尊重し合うことでお互いが一緒に時間を過ごせるようになると思います。全然普通だと思います。（男性・50代）
17	パートナーシップ宣誓制度を希望する方から相談があった時に制度を導入。（女性・50代）
18	「①思う」。条件付きで「他の自治体もやっているから」という理由で検討するならやめた方がいい。二宮は外から若い様々な価値観を持った人が居住し始めている。それを多様な価値観で町政が本当に後押ししたいと思うなら、条例等を整えた上でやれば良いと思う。（女性・50代）
19	現在、マイノリティのカップルだと財産分与や病院での面会などが出来ないなど、不自由なことが多いから、少しでも助けになる制度はあった方が良くと思う。将来的には同性間でも婚姻を認めるようになるのが理想的。（女性・50代）
20	法律上の婚姻に向かう一歩になればと思います。（女性・50代）
21	誰と結婚しても本人の自由だから、性にこだわる事はない。（女性・70代）

問23 【自由記述】（現在、「パートナーシップ宣誓制度」を導入している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。） 選択理由やご意見などがありましたらご記入ください。（F A）

【自由記述】 選択理由やご意見など	
1. 思う	
22	誰もが平等。人間はどんな人もみな同じと言う精神は、子どもの頃から教育されるべき。それでないと幸せにはなれない。ぜひ、行政がリードしてほしい。（女性・70代）
2. どちらかと言えば思う	
1	他の事を差し置いて、あまりに優先しすぎるのは違和感がある。（男性・10代）
2	本人同士の繋がりを大切にしたい方々に良いのでは？（女性・20代）
3	普通は結婚だが『パートナーシップ』によって結婚の代わりに家族になったという証が欲しいと思う人たちもいると考えたから。（女性・20代）
4	生き方が多様化している中で、LGBTとそうでない方が生きづらさに違いが生じるのは不平等に感じる。もし、自分の家族・身内にLGBTで生きづらさを感じている人がいたら、その人が少しでも幸せを感じられる様な制度、世の中になることを望むと思う。（女性・20代）
5	「②どちらかと言えば思う」だが、本来は必要無いと思う。（男性・30代）
6	この制度があることによって、当事者達が堂々と生活が出来るようになるのではないかと思うから。（女性・30代）
7	本人の意思を尊重する環境整備は問題の解消のために必須。（男性・40代）
8	どんなパートナー同士にも子どもを育てる機会があると良いと思う。（自分たちが産まなくても）（男性・40代）
9	二宮町に移住者が増えています。更なる移住者の確保に努めるためには、あれば促進される（税金・人力・更なる町の発展が見込めます。）と思います。（女性・40代）
10	個人のアイデンティティを社会的に阻害する必要はないと考える。平等な権利が保障されるべきだが、過度な保護も不要であり、多様性のひとつとして認識されれば良いと思う。（男性・50代）
11	生きていくために必要ならば、考え取り入れていけば良いと思う。（女性・50代）
12	本人たちが住みやすくなると思う。（女性・50代）
13	そのような制度が導入されていると、セクシュアル・マイノリティなどのカップルなどが幸せを感じる事が出来ると思います。（女性・50代）
14	多様性の時代だから。（男性・50代）
15	個人を尊重し認める必要があると思う。（男性・60代）
16	同じ人生を送るため、日常生活、経済的に支障が無いように、せめて安心した日々を送れるようにできたらと思います。（女性・60代）
3. 思わない	
1	そもそもそんなものが生まれているこの国がおかしい。早く同性婚なりを認めてしまえばいいのに。（男性・20代）
2	婚姻と同等の法的効力が伴う、法の導入が実現すれば良いと思う。（男性・30代）
3	社会が認めなければ考えが広まらない。（男性・60代）

問23 【自由記述】（現在、「パートナーシップ宣誓制度」を導入している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。）選択理由やご意見などがありましたらご記入ください。（F A）

【自由記述】選択理由やご意見など	
3. 思わない	
4	人間の意識の変化には長い時間が必要だ。（女性・70代）
5	行政がLGBTに寛容になると、社会制度、文化の破壊に繋がっていく可能性が内包される。古来、宗教も習慣、文化もLGBTには不寛容であり、社会制度、法律もその上に成立している。（男性・70代）
6	法的効力が伴わないものであるのなら、必要性を感じない。個人間の問題であることに関して、公的証明書というものに意味があると思えない。（女性・70代）
7	国内の法整備等、必要事項が整っていない状況において、各自治体の努力が無になるため。（男性・70代）
4. どちらかと言えば思わない	
1	制度は良いものであると思う。しかし、この制度には法的効力が無いため、不十分であると思う。国が性的指向の多様性を認め、法律から変えていく必要があると思う。（男性・10代）
2	周りのセクシュアル・マイノリティの理解が深まれば、必要ないと思う。（男性・30代）
3	自治体の制度なので、引っ越しの時に使えない。しかも法的効力も無いのでは、無駄な制度だと思う。できれば法的効力のある制度を国が作るべきだと思う。（女性・50代）
4	なかなか難しい取り組みですね。何故ならLGBTの方々を理解できる、基本的な精神・感情等を持ってない方々が多数だから。将来、教育や情報が充実しベースが育った段階でもよいのではないか？（男性・70代）
5. 無回答	
1	どちらでも…。やっていけば行く人もいるのでは？！（女性・30代）
2	法律が変われば良い。（女性・60代）

問31 男女共同参画についてのご意見や感想などがありましたら、ご記入ください。(FA)

1. 男女共同参画に関する意見	
1	出産率が上がる支援とセットで進めていきたい。(男性・10代)
2	積極性のある女性は受け入れていくべきだが、積極性のない女性に強要させるような状態にならないようにすべき。(男性・10代)
3	教育に力を入れてほしい。(男性・20代)
4	「差別」と「区別」の違いの理解や、「平等」という名の「強要(同調圧力)」が無い事を願います。(男性・20代)
5	年配の人の『女は女らしく、男は男らしく』などの考えが未だに強く根付いている。いくら意見をしても聞く耳をもととしないことが問題であり、特に仕事などの上司など勉強をする機会をつくり、対等な立場で接することが出来るようになってほしい。(女性・20代)
6	町全体で見てもご高齢の方が多いため、理解を得られるかどうか難しいところではあるかと思いますが、ぜひ「パートナーシップ宣誓制度」を導入してほしいなと思います。性別を理由に婚姻ができない…というのは平等ではないと感じます。だれもが幸せになる権利があると思います。(女性・20代)
7	女性が社会で活躍するには、男女共に権利を主張するだけでなく、互いに謙虚になる事が前提だと思います。現状、「女性だから守られて当たり前」と思う方が増えています。その様な方が増えると平等でなくなるだけでなく、女性の働き方改革に関わる男性陣の考えも硬化し、改革が上手く進まなくなると思います。男女は共に良い所があるので、権利のみを主張しない事、共に自分の性を武器になる時のみ前に出すことを避けることが本来の「男女平等」「男女共同参画」になると考えます。まずは町議会の方から、実際に行動してください。(男性・20代)
8	職場では女性が子育てをしながら働くことへの理解はあるが、それでも雇用面では男女の不平等さを感じる。制度を整える必要とともに、整える側の(制度を作る人)の男女平等に対する意識を変える必要があると感じる。また、今後は家庭でも教育の場面でも男性の家事、子育て参加が“普通のこと”“当たり前のこと”であるという意識を共有していくことが大切だと思う。“普通のこと”“当たり前のこと”⇒強要するのではなく、夫婦が納得する形が理想だと思う。(女性・20代)
9	私自身、現在子育てが少し落ち着き、いつか働きたいと思うようになりました。しかし、夫は仕事が多忙で家事・育児の面で手助けが少ないので、この先働けるようになるのはいつなのか、その時に本当に再就職できるのだろうか不安があります。家庭とは別に自分の居場所が欲しいと思う人は、多いと思います。今は、子育てが終わってしまった時を考えるとこのままではいけない、社会に出ておけば良かったと思うようになってしまいたくないので、これから考えていこうと思っています。女性の生き方がもっと自由な社会になって欲しいです。(女性・30代)
10	男女共にお互いのことをよく知って、理解することが必要。そのためには学校教育が必要！！自己肯定する授業も必要！(女性・30代)
11	防災に関してですが、先日避難所を利用した際も、仕切りがなくプライバシーが無い状態だったので、女性の視点が活かされていないと感じました。また、防災に関して女性の視点を活かすにあたって、現状の消防団等の活動に女性を取り入れることよりも、避難所の仕切り等、インフラの整備を先に進めるべきだと思います。改姓の手続きが非常に煩雑なのと、自分と配偶者も自身の苗字を屋号にしている仕事であることもあり、不本意ながら現状、事実婚にしている状態です。そもそも結婚にあたって二者どちらかが、特にほぼ女性が改姓しなければならない状況は、男女平等に著しく反していると思います。選択的夫婦別性の制度成立を強く望みます。(男性・30代)
12	二宮町は、全体的に町独自の決断というものが無いように感じます。この調査から得たことを町独自の施策としてどれだけ実効されるか、そういったことが頭にちらつきながら回答させて頂きました。他の市町村と足並みを揃えれば、神奈川県決定に右ならえにするなら、こういった調査を行うこと自体が工数(時間やお金)のムダではないでしょうか？実りある調査となることを祈っております。(女性・30代)
13	男女共同参画がもっと社会に広まったら、男性だから、女性だからという考えではなく、一個人としての考えがもっと参考にされやすくなると思う。性別に関係なく、自分がしたいことがスムーズに出来るようになると思う。(女性・30代)

問31 男女共同参画についてのご意見や感想などがありましたら、ご記入ください。(FA)

1. 男女共同参画に関する意見	
14	このアンケートは「男性」「女性」の対立という構造になっていると感じる。個人的には「男性」だから「女性」だから」という考え方は好きになれない。現状、女性が不便を受けることが多いことは事実だが、女性を優遇することが、男女共同参画になるとは思っていない。一人一人の不自由を無くすことが必要だと思う。その上で、女性の社会進出が進むかは、個人の意思によれば良いと思う。家庭に入りたければ、仕事をしたらければ…それらを自由に選べることや、良い環境だと思う。(男性・30代)
15	おもしろいイクメン・イクジイ推進のイベントをぜひやってください！(男性・30代)
16	育休中も賃金が変わらず全額出るようになると、男性は育休が取りやすくなるし、女性も安心して子育てに専念できると思う。子育て支援の政策を、もっと充実させてほしい。(男性・30代)
17	LGBTに限らず、障害者の方がもっと広く社会活動ができる環境や仕組みづくりをしていく必要があると思います。上記のような取り組みを自治体が積極的にサポートしていただけると、子どもや老人だけでなく、全ての人々がすみやすくなり、もっと二宮町は素敵な町になると思っています。(女性・40代)
18	男女が共に支え合う心豊かなまちになるようお願い申し上げます。(女性・40代)
19	ジェンダーの事をもっと子どもたちに教えてくれると嬉しい。(小学生のうちに)(女性・40代)
20	教育(意識改革)と社会の仕組みの改善。日本古来の軌跡を徐々に変えていく中長期的な考えが必要。(男性・40代)
21	場当たりの対応を推進するだけでなく、例えば女性側のマインドセットのUPDATEも必要。男・女というより、すべての人、すべての個人を尊重する姿勢で行政に取り組んでいただけたらと思います。(女性・50代)
22	女性が含まれていればダイバーシティという考えは単純過ぎると思う。世代、国籍、性的マイノリティなど、様々な要素が混在しているのが社会であり、本人の意思によって機会が平等に与えられる状況が望ましいと考える。但し、努力や成果により個人差はあり得るため、生活や収入が均一ということはありません。自分の努力機会についての平等が担保されている事は必要だが、過度な行政の介入は財源的にも無理があると思う。(男性・50代)
23	女性も社会へ活躍してほしい。男性だから、女性だからと言う事ではなく、男性も女性も同じ人間なのだから、お互いを尊重しながら働いてほしい。(男性・50代)
24	難しい言葉でなく、「男と女といった性別に関係なく、みんな平等にチャンスがあって何でもチャレンジできるって事です」ってアピールしてほしい。子どもにもご年配にもわかりやすく広めてほしい。(女性・50代)
25	計画を実行するアクションが大切だと思います。計画後の実践に期待します。(女性・50代)
26	男女共同と言いながらも、役割分担は明確に「この仕事は男のもの、この仕事は女のもの」と昔からの習慣で分けられるものが多い。町の行事、PTAなど。仕事を持っている女性への理解がとても低いと思う。お年寄りにその辺の教育が必要！(女性・50代)
27	特に二宮町の風土や地域特性として、保守傾向が強く感じる事が多く、また、高齢者人口も多いことから、新しい取り組み、制度を理解してもらうことは苦勞が多いと思います。反面、都心や県外からの移住者も多く(?)なのであれば、そのような若い世代の方を取り込んだ取り組みの充実により、変化が生まれる可能性も高いと感じます。(男性・50代)
28	多様性の時代のため、いろいろな意見があります。いろいろな方々が参画して、意見交換することが望ましいと思われます。(男性・50代)
29	差別のない社会を求め、相手の痛みを解る社会にすべきであると思います。(男性・50代)
30	こういうアンケートにお金を使うのではなく、生の言葉を言えたり、聞けたりする場を設けてほしい。自治会館(憩いの家や公会堂など)の使い方を改善してほしい。役員の人選や期間も考えてほしい。(女性・60代)
31	アンケートをとるだけでなく、目にみえる変化を期待します。保育園にもいつでも入れるような環境づくりが欲しい。(女性・60代)

問31 男女共同参画についてのご意見や感想などがありましたら、ご記入ください。(FA)

1. 男女共同参画に関する意見	
32	女性だからや男性だからといった性別で登用をするのではなく、能力によって判断するべき。(男性・60代)
33	男性、女性という性の分別でなく、その人が持っている能力、積極性、知識を尊重(評価)する世の中であって欲しい。(男性・70代)
34	女性議員は50%を保つ。組織の長も50%を保つ(校長など)。DVに関しては男女共に取り組む(女性からのDVもあるので)。(男性・70代)
35	中学、高校での学校教育で「男女共同参画社会」の考え方を教える事が重要である。(男性・70代)
36	二宮町は小さな地方自治体ですが、女性活動の歴史は長く、文化活動も盛んな町で、住み良い所と思います。女性や若い人が参加しやすい活動体を町全体で支援し、外へアピールすれば若い家族の移入が増える可能性が高い地理的条件を持っていると考える。(女性・70代)
37	二宮町の活動を現状より尚一層の発展を図る事により、神奈川県内の見本となるよう努力される事を望む。(男性・70代)
38	多種多様な現代、考え方や進路が一方通行とは限らないのは当たり前ですが、現代の考え方がゆるいのでは。一つ決まった事を少々違う方向に向くと少しずつ決まったことが崩れ始め、最後は收拾がつかなくなります。オリンピックが良い例だと思います。人として何が大切で必要なのか?もう一度、議員の方々に考えてみてはいかがでしょうか。(女性・70代)
39	「男尊女卑」的風潮がみられることがあると思われる。この風潮がなくなる限り、「男女共同参画」はスムーズには進まないと思います。(男性・70代)
40	我が国の数百年に亘る男性上位の社会制度から考えて、一朝一夕にこれを改善することは容易ではないと思う。地道な取り組みと努力で推進することが大切と考えます。(男性・70代)
41	1950年代、1960年代(もしかすると以降も)企業は管理職に女性を採用・登用しなかった。新入社員の定員を男女別に定めていた。高校・大学も入学者の定員を男女別に定めていた。大手企業は今も男性中心なのか、経団連は男性ばかり。(男性・70代)
42	70代の人にとっては男女平等は夢でした。今の若い世代ではだいぶ平等になってはきているようですが、まだまだ子育ては女の仕事の考える男性が多いように思います。男女平等とはいっても男性でなければ出来ないこと、女性でなければ出来ないことはあると思います。全てに平等ではないと思いますが、お互いに理解協力し合うことが大切のように思います。それぞれがもっている能力を認め合い、協力することで男女共同参画が成り立っていくのではないかと考えています。(女性・70代)
2. 感想	
1	職員の皆様へは、町民のために働いてくださり感謝の気持ちでいっぱいです。先月、町役場へ課税証明書を取りに行った際、窓口ではクレームを言われている方の対応をしていたり、休み時間と思われる時間にも対応していたりと職員の皆様には頭が下がります。先日、私は自分の子どもと2歳児歯科検診に行きました。その際、保健センター職員から、「あら今日はパパと来たんだね。お母さんはどうしたの?仕事?」と聞かれました。母親が連れてきている方には質問せず、父親が連れてきた方には質問することに対し、母親が育児をするのが当たり前という職員の考えが伝わってきました。「男女共同参画社会に関する町民意識調査」も大切ですが、まずは職員(特に重臣となる幹部であろう4~50才代)への教養の徹底をお願いしたいです。(男性・30代)
2	(「男女共同参画」に関するキーワード)の「リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ」)ここくらいにしか興味がなかった。あとはよくわからない…。(女性・30代)
3	「女が家事・育児はやるべき」という考え方が、いまだに根強い気がします。男性と同等の仕事をし、収入があってもそれでもそのような考え方に振り回され、結局、家事・育児を一生懸命ほとんど自分でやっている、そんな自分が悲しくなる時があります。男の人が家事や育児を少しでもやると「すばらしい」「できた夫」みたいに言われて、ほめそやされるのは変だなと思うし、腹立たしくなることもあります。娘や息子が大人になる時には、男女関係なく当たり前前に協力し合う世の中になりますように。(女性・40代)
4	このアンケートを回答するにあたり、真剣に考えることができました。ありがとうございます。全ての方が尊重され、お互いを理解し合えるようになったらいいと思いました。(女性・50代)

問31 男女共同参画についてのご意見や感想などがありましたら、ご記入ください。(FA)

2. 感想	
5	学生である年代から二宮に住んで家庭を築き、子育てをしていきたいと思える魅力ある(子育て、老後、自然)町を望みます。(女性・60代)
6	かつて仕事をしていた時、楽しそうなやりがいのある創造的な仕事は、すべて男性がしていました。いつも留守番かお茶汲みでした。職場の仕事分担表にも「来客接待(お茶入れ)」と書かれた事がありました。50才を過ぎて異動した先の仕事は、新入職員との入れ替えで、そのまま仕事も引き継がされました。どんなに悔しかった事か。仕事の出来ない軽い男性が役職についた時は、女性皆がビックリしました。(今の二宮町役場をみたり、提出したりする時思います。住民に対する態度ではないと。他の女性もそう言って「あの男の名前を覚えた!」と言っていました。)追記、カタカナ語が多くて分からない事がたくさんあります。役場の通信手段は日本語でお願いしたいです。アンケートと違うことを書いてしまいました。すみません。役場に対する要望のアンケートがあればと思います。(女性・70代)
7	いろいろ考えるきっかけになりました。(女性・70代)
8	二宮町が問題意識を持っているということに希望を感じる。(女性・70代)
9	日常、あまり意識した事のないテーマで回答に苦慮したのが現実です。この私自身レベルでのアンケートが適切かどうか疑問です。これらの課題(テーマ)は新聞・TV等で時々知らされる程度で、知識も考え方も極めて少ないのが実情です。(男性・70代)
10	自然が豊かな二宮町、難しいことは分かりませんが、住む人々がみんな幸せになって欲しいです。(男性・70代)
3. その他	
1	生活保護に関して家族に負担が重い。(女性・50代)
2	数少ない子ども(小学生、中高生)を守るべく、町に街灯、防犯カメラ設置。パトロールカーの細目な見守りをお願いしたい。住宅地は車が結構なスピードで往来することしばしば。子どもを守る手段を細かく願う。(女性・70代)
3	話は少しずれるかもしれませんが、妊娠中絶薬を、海外の様に自由に薬局で購入できるようにすべきだと思います。(女性・70代)

**「男女共同参画に関する町民意識調査」
調査票**

「男女共同参画に関する町民意識調査」ご協力のお願い

町民の皆さまにおかれましては、日頃より町政に対しましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

二宮町では、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現に向けて、平成25年に「第2次にのみや男女共同参画プラン」を策定し、町の将来像のスローガンとして

「男女が共に支え合う心ゆたかなまち 湘南にのみや」



二宮町男女共同参画シンボルマーク
p.5

を掲げ、取り組みを行ってきました。(p.2)

現在、令和5年度を初年度とする「第3次にのみや男女共同参画プラン」の策定に向け、準備を進めております。

そこで、町民の皆さまの男女共同参画に関する家庭、地域、職場など様々な場における意識や実態などを把握し、次期プラン策定の基礎資料とするため、皆さまのお考えなどをお伺いしたいと考えております。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年（2021年）7月

二宮町長 村田邦子

対象者

- ・町内にお住まいの18才以上（令和3年6月1日現在のデータに基づく）の各世代より、年代を均等に1,000名の方を無作為に選ばせていただきました。
- ・ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、ご回答いただいた方が特定されたり、他の目的に使用されたりすることはありません。

回答にあたって

- ・回答は原則として、あて名の方ご自身のお考えでご回答ください。
あて名の方をご回答できない場合は、ご家族の方をご回答いただいても構いません。
- ・ご回答は、当てはまる番号に○をつけてください。「その他」に○をつけた場合は、（ ）内にその内容をご記入ください。
- ・アンケートは無記名回答方式ですので、調査票及び返信用封筒にお名前を記入していただく必要はありません。また、調査結果は統計的に処理し、個人に係る情報を公開することはありませんので、ありのままをご回答ください。

提出について

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**8月16日（月）まで**にご返送（**切手不要・郵便ポスト投函**）をお願いいたします。

◆お問い合わせ◆

二宮町 政策総務部 地域政策課 地域支援班

電話 0463-71-3313（直通）

FAX 0463-73-0134

（月曜日から金曜日（祝日除く）8:30～17:15）

E-mail kyodou@town.ninomiya.kanagawa.jp



© 2021 ハイジ/ニ宮町

男女共同参画（社会）に関する意識についてお聞きします。

問1 男女共同参画に関する次の言葉のうち、あなたが知っている、または聞いたことがある言葉はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 男女共同参画社会
- 2 ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）
- 3 男女雇用機会均等法
- 4 女性活躍推進法
- 5 育児・介護休業法
- 6 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
- 7 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）
- 8 ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者やパートナーなどから振るわれる暴力）
- 9 ポジティブ・アクション（男女間の格差を解消するための積極的取り組み）
- 10 デートDV（交際相手からふるわれる暴力）
- 11 JKビジネス（若年層の性を利用してお金を稼ぐビジネス）
- 12 マタニティ・ハラスメント（職場などでの妊娠・出産に関するいやがらせ）
- 13 イクメン、イクジイ（積極的に育児参加する男性）
- 14 ダブルケア（子育てと介護などを同時にすること）

問2 次の①から⑧の各分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。

	男性の方が優遇	男性の方が優遇 どちらかという	平等である	女性の方が優遇 どちらかという	女性の方が優遇
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 学校教育	1	2	3	4	5
④ 政治の場	1	2	3	4	5
⑤ 法律や制度	1	2	3	4	5
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5
⑦ 地域活動（自治会、PTA、ボランティア活動など）	1	2	3	4	5
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5



町ホームページ

「第2次にのみや男女共同参画プラン」

平成25年3月に策定された「第2次にのみや男女共同参画プラン」は10年計画となっています。策定から5年後の平成29年3月に中間見直しを行い、現在、「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」に沿って取り組みを行っています。

問3 あなたの家庭では、次の①～④のことを誰が主に担っていますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。該当しない場合は、あなたならどうするか想定してお答えください。
 なお、配偶者には事実婚などのパートナーも含まれます。

	主に自分	主に配偶者	夫婦（自分と配偶者）が同じくらい	その他の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6	7
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7
④ 地域活動	1	2	3	4	5		7

問4 次の①～④について、家庭における役割は誰が望ましいと思いますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。

	主に夫	主に妻	夫と妻が同じくらい	その他の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6	7
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7
④ 地域活動	1	2	3	4	5		7

問5 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 賛成 | 3 どちらかという反対 |
| 2 どちらかという賛成 | 4 反対 |

問5-1 そのように思った理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自分の両親もそうだったから
- 2 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- 3 女性が家庭を守った方が、子どもの成長に良いと思うから
- 4 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
- 5 日本の伝統的なあり方だと思うから
- 6 その他 ()

問6 あなたは、自らの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域活動または個人の生活」をどのように位置づけることが望ましいと思いますか。また、望ましいと思う位置づけを実現できていますか。①～⑦のうち、「現状」「理想」それぞれ当てはまる箇所1つに○を入れてください。

	現状	理想
① 「仕事」を優先		
② 「家庭生活」を優先		
③ 「地域活動または個人の生活」を優先		
④ 「仕事」と「家庭生活」を優先		
⑤ 「仕事」と「地域活動または個人の生活」を優先		
⑥ 「家庭生活」と「地域活動または個人の生活」を優先		
⑦ 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動または個人の生活」全て大切		

それぞれ当てはまる箇所1つに○を入れてください。

出産・育児に関する意識についてお聞きします。

問7 出産・育児についてどのようにお考えですか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。

	賛成	反対	どちらとも いえない
① 子どもを産む、産まない、いつ何人産むかは女性本人の意思を尊重した方がよい	1	2	3
② 子どもの保育を人に任せてまで仕事はしない方がよい	1	2	3
③ 3才までは母親の手で育てた方がよい（3才児神話）	1	2	3
④ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい	1	2	3

問8 現在、仕事をされている方にお聞きします。

あなたの職場では、育児休業・介護休業を実際に取得できそうですか。または、取得できましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業	1 取得できる・できた	2 取得できるが、取得しなかった
	3 取得できない・できなかった	4 わからない
介護休業	1 取得できる・できた	2 取得できるが、取得しなかった
	3 取得できない・できなかった	4 わからない

問 9 育児休業や介護休業をとる男性は、女性に比べて少ないのが現状です。この理由についてどのようにお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 職場の理解が得られないから
- 2 職場の仲間に申し訳ないと思うから
- 3 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
- 4 休業後の職場復帰に不安があるから
- 5 仕事の量、責任が重いから
- 6 休業中は収入が少なくなり、家計を維持できないから
- 7 女性の方が育児や介護に向いているから
- 8 制度が整っていないから
- 9 その他 ()

女性の活躍推進に関する意識についてお聞きします。

問 10 あなたは、女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- 1 女性は職業を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- 4 結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい
- 5 子どもができたなら仕事を離れ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
- 6 その他 ()

問 11 女性は男性に比べ、就職しても途中で離職する割合が高いですが、女性が働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近い番号 3つ に○をつけてください。

- 1 保育所や介護施設などの整備
- 2 家事・育児支援サービスの充実
- 3 育児休業・介護休業中の賃金や福利厚生などの充実
- 4 男女双方の長時間勤務の改善
- 5 フレックスタイム制や在宅勤務など多様な働き方の推進
- 6 昇進、賃金などの男女間格差の解消
- 7 女性が働き続けることに対する家族などの理解と協力
- 8 女性が働き続けることに対する職場の理解と協力
- 9 働き続けることへの女性自身の意識改革
- 10 男性が家事に参加することへの理解・意識改革
- 11 その他 ()

二宮町男女共同参画シンボルマーク



平成 19 年に一般公募によりデザインが選考され、平成 20 年 4 月より、講演会や啓発で活用開始。

赤一色で作られたこのデザインは「燦然と輝く希望の太陽」と、認め合い、助け合い、分かち合う「男女の平等」を表したもので、力強く羽ばたき発展していく勇姿を象徴しています。

「男女共同参画」という言葉のかたいイメージをやわらげることで、男女共同参画をより身近なものとして、多くの方々の関心と理解を深めることを目的に作成されました。

問 12 職場や地域活動の場において、女性の管理職や役員は男性に比べて少ないのが現状です。
 このような決定の場に女性が少ない理由について、どのように思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 男性優遇の組織運営になっているから |
| 2 | 女性は家事・育児・介護などで忙しいから |
| 3 | 男女の性別役割分担意識が強いから |
| 4 | 家族の支援や協力が得られないから |
| 5 | 女性側の積極性が十分でないから |
| 6 | 女性はリーダー学習などの経験が十分でないから |
| 7 | その他 () |

問 13 あなたは、政治・経済・地域など各分野で女性の参加が進み、女性のリーダーが増えると思うようになりますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される |
| 2 | 人材・労働力の確保につながり、社会全体が活性化する |
| 3 | 女性の声が反映されやすくなる |
| 4 | 男女問わず意欲のある人材が活躍できるようになる |
| 5 | 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む |
| 6 | 男性の家事・育児・介護などへの参加が増える |
| 7 | 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが増える |
| 8 | 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる |
| 9 | 保育・介護などのサービスの必要性が増大する |
| 10 | その他 () |

DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する意識についてお聞きします。

問 14 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。

	暴力にあたる	る ない 場合 もあ	暴力にあたる 場合とそうで	らない 暴力にはあ	わからない
① 相手の交友関係や電話などを必要以上に監視する	1	2	3	4	
② 何を言っても無視を続ける	1	2	3	4	
③ 大声でどなる	1	2	3	4	
④ なぐるふりをして、おどす	1	2	3	4	
⑤ 平手で打つ	1	2	3	4	

	暴力にあたる	暴力にあたる場合とそうでない場合もある	暴力にはあたら ない	わからない
⑥ 性的な行為を強要する	1	2	3	4
⑦ 生活費を渡さない	1	2	3	4
⑧ 外出を制限する	1	2	3	4

問 15 問 14 の①から⑧のような行為を受けた経験はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 経験がある	2 経験はない	➡	次ページ 問 17 へ
---------	---------	---	----------------

問 15-1 問 14 の①から⑧のような行為を受けたことをだれ（どこ）かに相談しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 相談した	2 相談しなかった	➡	問 16 へ
--------	-----------	---	--------

問 15-2 問 14 の①から⑧のような行為を受けたことをだれ（どこ）に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 家族・親戚	2 友人・知人・同僚	3 同じような経験をした人
4 弁護士・警察・医師・カウンセラーなど	5 町や県の相談窓口	
6 民間の相談窓口	7 その他（	）

（問 15-1 で「2 相談しなかった」と回答した方にお聞きします。）

問 16 相談しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 だれ（どこ）に相談したらよいか分からなかったから
2 相談するのが恥ずかしかったから
3 世間体が悪いから
4 相談しても無駄だと思ったから
5 相談したことが分かると思われられると思ったから
6 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから
7 他人に迷惑をかけたくなかったから
8 自分にも悪いところがあると思ったから
9 相談するほどのことではないと思ったから
10 そのことについて思い出したくなかったから
11 その他（
）

問 17 DVの被害をなくすためにどのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近い番号2つに○をつけてください。

- 1 被害者のための保護施設の整備
- 2 被害者のための相談機関の整備
- 3 加害者に対する教育
- 4 加害者への罰則強化
- 5 暴力を防止するための教育や啓発の充実
- 6 男女間の経済的、社会的格差の解消
- 7 テレビ、雑誌、インターネット、マンガなどにおける暴力的な情報の規制
- 8 その他 ()

防災に関する意識についてお聞きします。

問 18 災害はいつ私たちの身にふりかかるかわかりません。あなたは、防災（災害復興も含む）活動※に関して、女性の視点が活かされていると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 ※「物資の備蓄、防災訓練、避難所の運営計画などの防災対策」

- 1 活かされていると思う
- 2 どちらかといえば活かされていると思う
- 3 どちらかといえば活かされていないと思う
- 4 活かされていないと思う

問 19 あなたは、防災（災害復興も含む）活動に関して女性の視点を活かしていくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。項目ごとに1つずつ○をつけてください。

	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない
① 防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加	1	2	3	4
② 母親教室、乳幼児教室、PTA活動など、女性が多く集まる団体への研修・訓練	1	2	3	4
③ 女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用	1	2	3	4
④ 女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進	1	2	3	4
⑤ 災害時ボランティア登録など多様な人材の確保	1	2	3	4
⑥ 男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルの充実	1	2	3	4
⑦ 避難所運営の際の女性リーダーの配置	1	2	3	4

「性の多様性」についてお聞きします。

問 20 あなたは、セクシュアル・マイノリティ（LGBT など）という言葉を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 詳しく知っている | 3 ほとんど知らない |
| 2 少し知っている | 4 全く知らない |

👉 「セクシュアル・マイノリティ」とは？

自分の性に違和感がある人や同性が好きの人、セクシュアリティ（性のあり方）において少数派とされる人々のこと。

👉 「LGBT」とは？

次の言葉の頭文字を組み合わせたもので、セクシュアリティ（性のあり方）の総称の一つ。

L：レズビアン ・ ・ ・ ・ ・ 性自認が女性で恋愛対象も女性である人

G：ゲイ ・ ・ ・ ・ ・ 性自認が男性で恋愛対象も男性である人

B：バイセクシュアル ・ ・ ・ ・ 恋愛対象が女性にも男性にも向いている人

T：トランスジェンダー ・ ・ ・ ・ 身体と性が一致せず、身体の性に違和感を持つ人

問 21 あなたは、今までに自分の身体の性、心の性または性的指向に悩んだことはありますか。または、身近に悩んでいる人はいますか。当てはまる番号 す べてに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 自分自身が悩んでいる（悩んでいた） |
| 2 家族や知人が悩んでいる（悩んでいた） |
| 3 悩みはない |

問 22 セクシュアル・マイノリティ（LGBT など）の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などにより、生活しづらいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| 1 思う | 3 どちらかといえば思わない | } 次ページ
問23へ |
| 2 どちらかといえば思う | 4 思わない | |

問 22-1 あなたは、セクシュアル・マイノリティ（LGBT など）の方々や、性の多様性に対する理解の促進や支援のために、どのような取り組みが必要だと思えますか。当てはまる番号 す べてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 町民向けの講座や講演会の開催 |
| 2 啓発リーフレットなどの作成・配布 |
| 3 ホームページや SNS を活用した情報発信 |
| 4 相談窓口や当事者同士が話せる場所の充実 |
| 5 行政職員や小中学校などの教職員に対する研修の実施 |
| 6 学校教育の中で「性の多様性」についての正しい知識を教える |
| 7 偏見や差別解消などを目的とする、法律や条例などの整備 |
| 8 誰もが働きやすい職場環境づくりの取り組み |
| 9 その他（ ） |

問 23 現在、「パートナーシップ宣誓制度」を導入している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 思う | 3 思わない |
| 2 どちらかと言えば思う | 4 どちらかと言えば思わない |

【自由記述】 選択理由やご意見などがありましたらご記入ください。

👉 「パートナーシップ宣誓制度」とは？

セクシュアル・マイノリティなどのカップルを、お互いを人生のパートナーとして、日常生活、経済的、精神的に相互に支え合い、協力し合うことなどを約束した関係にあることを自治体が条例や要綱などに基づき証明する制度。（法律上の婚姻とは異なり、法的効力が伴うものではありません）

男女共同参画に関する取組についてお聞きします。

問 24 あなたは、二宮町の実施している男女共同参画に関する各種取り組み（例：講演会（フォーラム）の実施、男女共同参画について学べる図書の紹介など）についてご存知ですか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1 知っている | 2 聞いたことはある | 3 知らない |
|---------|------------|--------|

問 25 あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- 1 審議会など、政策・方針決定の場への女性の積極的な登用を図ること
- 2 女性の少ない分野への女性の参画推進を支援すること
- 3 出産、育児などにより仕事を辞めた女性の再就職を支援すること
- 4 働き方を見直すための事業者の意識改革をはかること
- 5 保育・介護サービスを充実させること
- 6 配偶者などからの暴力被害者を支援すること
- 7 広報紙やHPなどで、女性人権を尊重した表現に配慮すること
- 8 女性の生涯を通じた健康づくりを支援すること
- 9 男性の積極的な家事への参加を促すための意識改革を図ること
- 10 学校や社会教育の場での意識改革を図ること
- 11 NPO などの活動支援や活動の場を提供すること
- 12 その他（ ）

あなた自身のことについてお聞きします。

行政上の基礎資料として活用することを目的としており、この目的以外に使用することはありません。
ご回答にご協力くださいますようお願いいたします。



問 26 あなたの性別は？

- 1 男性 2 女性 3 その他※

※「3 その他」とは、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の方を考慮した選択肢です。戸籍上の性別とは関係なく、ご自身の主観でご記入ください。

問 27 あなたの年齢は？

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70代以上

問 28 あなたの就業形態は？

※仕事を一時的に休業している方（育児・介護休業等）は、休業・休暇前の就業形態をお答えください。

- 1 正規の社員・職員 2 契約・派遣社員 3 パート・アルバイト
4 自営業主 5 会社などの役員 6 学生
7 専業主婦・専業主夫 8 無職 9 その他（ ）

問 29 あなたは結婚していますか？

- 1 している（事実婚・パートナーを含む）
2 していない（離別・死別を含む） ➡ 問 30 へ

問 29-1 配偶者・パートナーの方の就業形態は？

- 1 正規の社員・職員 2 契約・派遣社員 3 パート・アルバイト
4 自営業主 5 会社などの役員 6 学生
7 専業主婦・専業主夫 8 無職 9 その他（ ）

問 30 あなたが現在一緒にお住まいの世帯構成は、次のどれにあたりますか？

- 1 単身
2 夫婦のみ（事実婚・パートナーを含む）
3 2世代世帯（親と子ども、夫婦と親 など）
4 3世代世帯（祖父母と親と子 など）
5 その他（ ）

問 30-1 中学生以下のお子さんはいらっしゃいますか？

- 1人 2人 3人以上 いない

裏面へ続きます 🐾

問 31 【自由記述】男女共同参画についてのご意見や感想などがありましたら、ご記入ください。



～ 質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。 ～
同封の返信用封筒に入れて、**8月16日（月）まで**にご返送ください。
(ポストに投函・切手不要)

「男女共同参画」に関するキーワード

時代とともに新しい言葉も出てきています。
「男女共同参画」について考えるきっかけになれば幸いです。

● 男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、あらゆる分野の活動に参画する機会が確保されることによって、男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を受けることができ、かつ共に責任を担うべき社会のこと。

● ジェンダー

ジェンダーとは「男・女」という生物学的な性別ではなく、長い歴史の中で社会的・文化的に作られてきた性差を示す概念。

● 固定的性別役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」というように、家庭、職場などあらゆる場面で性別によって役割を分業・分担することをいう。日本においては、こうした男女に対する固定的な役割分担意識が根深く残っており、男性・女性どちらにとっても負担を与える原因の一つとなっている。

● リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

「妊娠・出産・避妊などについて女性自らが決定権をもっているという考え」のこと。1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念。

● 女性活躍推進法

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」のこと。女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するための法律。平成27年に交付・施行。

● 女性のエンパワーメント

「女性が社会的に力をつけること」をいう。女性自身が自分の置かれた状況の中で問題を自覚し、その状況をもたらしめている社会の構造に気づき、構造を変えるための行動を開始し、単なる女性の地位の改善にとどまらず、新しい価値と文化を創る主体となることを意味する。